

XA40

4Kビデオカメラ

はじめに

準備

撮影

カメラメニュー

再生／編集

接続

保存

メニュー

その他

本機の特長

高画質4K 記録システム

829万画素、1/2.3型CMOSセンサーと映像エンジン「DIGIC DV 6」を搭載

有効画素数約829万画素（3840×2160）の1/2.3型CMOSイメージセンサーと映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 6」を搭載。4K（UHD）記録に対応するとともに、オーバーサンプリング処理による高画質なフルHD映像を記録できます。

高倍率ワイドズームレンズと8枚羽根円形絞り

35mm換算でワイド29.3mm *からのコンパクト光学20倍ズームレンズを搭載。5軸方向のブレを補正する手ブレ補正機能とともに、多様な撮影シーンに応えます。また、8枚羽根円形絞りを搭載することで美しいボケ形状を実現します。

* 解像度3840×2160で、手ブレ補正が「ダイナミック」以外のとき。ダイナミック使用時は、30.6mmになります。

4K（UHD）30P記録とFHD 60P記録に対応

3840×2160/30P記録や1920×1080/59.94P記録に対応。音声はリニアPCM方式（4ch）またはAAC方式（2ch）で記録できます。

長時間撮影とバックアップ機能

MP4形式の記録に対応。2つのカードスロットを搭載し、片方のSDカードの残量がなくなったら自動的に他方のSDカードへ記録したり（リレー記録）、同じ映像を同時に記録したり（同時記録）することができます。

優れた操作性と拡張性

機動力を発揮する小型ボディー

業務用ハンドヘルドカメラとして、高性能を小型、軽量ボディーに凝縮。グリップで構えたときに快適なボディーバランスを実現し、長時間撮影でも疲れにくく、機動力が求められる現場で活躍します。

液晶モニターとビューファインダー

静電容量方式のタッチパネルを備える3.0型 / 46万ドットの液晶モニターを搭載。クリアな画面表示と軽快な操作感覚を実現します。また、156万ドット相当のビューファインダーは、上方約45°までの角度調整ができ、ローアングル時の操作性を向上させています。

優れた操作性とカスタマイズ性

フォーカスとズームを切り換えて操作できるフォーカス／ズームリングを搭載。また、露出関連の基本機能を割り当てて露出調整に使えるカスタムボタンとカスタムダイヤルを搭載。さらに、よく使う機能を割り当てて使用できる5個のアサインボタンと1個のタッチアサインボタンを搭載することで操作性を柔軟にカスタマイズできます。

動いている被写体を逃さない

顔検出・追尾機能

横顔に近い状態でも、検出した顔を追尾してフォーカス調整する顔追尾機能。さらに、顔が検出されている間のみ顔にフォーカスするフェイスオンリー AF*機能など、充実した顔検出機能を搭載しました。

* 顔が検出されていないときはマニュアルフォーカスになります。

夜間での撮影に威力を発揮する

赤外撮影機能

スイッチの切り換えで素早く赤外撮影モードに移行が可能。別売のハンドルユニットを取り付けることで、夜間の動物の生態撮影などに効果的な赤外ライトを使って撮影できます。

制作意図に応える

多彩な表現力

さまざまな映像表現が可能なスロー&ファストモーション記録 (42)

記録速度を変更することにより、最低0.4倍のスローモーション記録や、最大1200倍のファストモーション記録ができます。選択できる記録速度は解像度とフレームレートによって異なります。

画質を調整できるルック

シャープネス、コントラスト、色の濃さを調整して、好みの画作りができます。

業務用途に対応する

柔軟性と拡張

別売ハンドルによるオーディオ仕様の拡張性

撮影シーンに合わせてスタイルが選べる着脱式ハンドルユニット（別売）を装着可能。装着することで、2chのINPUT端子（マイクのバランス入力）やマイクホルダーなど、オーディオ仕様も拡張できます。

プログレッシブ記録／再生時のFHD 60i出力

プログレッシブ記録／再生中でも、HDMI OUT端子からFHD 60iの信号を出力可能。インターレースだけに対応したモニタリング環境にも柔軟に対応できます。

リモートコントローラー RC-V100(別売)によるリモート撮影

REMOTE端子にリモートコントローラー RC-V100（別売）を接続すれば、リモートで本機を制御できます。

使いやすさを向上させる

さまざまな機能

- 正確な残量を確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリー。
- 撮影開始時点の約3秒前から記録することで、撮り逃がしを防ぐブレ記録。
- 映像にGPS情報を付加できるGPSレシーバー GP-E2(別売)に対応。

Contents

本機の特長	2
本書の読みかた	8

はじめに

商品を確認する	10
各部の名称	11
本体の名称	11
ハンドルユニットHDU-1(別売)の名称	15

準 備

電源を準備する	18
フェラライトコアを取り付ける	18
バッテリーを充電する	18
カメラを準備する	21
ハンドルユニット(別売)を取り付ける	21
レンズフードを取り付ける	22
液晶モニターを使う	23
ビューファインダーを使う	24
グリップベルトを調節する	25
ストラップを取り付ける	25
カメラを操作する	26
電源を入れる／切る	26
カメラモードを切り換える	26
日付／時刻を合わせる	27
メニュー／FUNCメニューで設定を変える	28
メニューで設定を変える	28
FUNCメニューで設定を変える	29

カードを準備する	31
使用可能なカード	31
カードを入れる／出す	32
カードを初期化する	33
記録先を選ぶ	33
カードスロット記録方式を選ぶ (同時記録／リレー記録)	34
クリップを修復する	35

撮 影

動画や静止画を撮影する	38
撮影する	38
レックレビューを確認する	40
映像の信号形式を選ぶ	41
スロー&ファストモーション記録を行う	42
撮影モードを選ぶ	43
選択可能な撮影モード	43
明るさを調整する	45
M (マニュアル露出)で調整する	45
オート(AE)で調整する	46
NDフィルターを使う	49
ゼブラパターンを使う	50
強制逆光補正を使う	50
AGCリミットを設定する	51
ホワイトバランスを調整する	52
好みの画質にする	54
ズームを操作する	55
フォーカス／ズームリングで操作する	55
グリップズームレバーで操作する	55
ハンドルズームレバーで操作する	57

ズーム画面で操作する	59
リモートコントローラー RC-V100 (別売)などで操作する	59
ズームの操作を滑らかにする (ソフトズームコントロール)	59
デジタルテレコンを使う	60
フォーカスを調整する	61
MF(マニュアルフォーカス)で調整する	61
AF(オートフォーカス)で調整する	65
顔を検出してAFやAEを合わせる (フェイスキャッチ&追尾)	67
手ブレ補正を使う	69
タイムコードを設定する	70
カウンタアップ方式を選ぶ	70
ドロップ/ノンドロップフレームを切り換える	71
ユーザービットを設定する	72
任意の16進数を設定する	72
時刻または日付を設定する	72
音声を記録する	73
記録音声と必要な設定	74
外部マイク/外部ライン入力機器を 本機に接続する	75
音声記録形式を選ぶ	76
外部マイク (INPUT端子) /外部ライン 入力 (INPUT端子)の音声を選択する	76
外部マイク (INPUT端子)の録音 レベルを調整する	77
内蔵マイク/外部マイク (MIC端子)の 音声を選択する	79
内蔵マイク/外部マイク (MIC端子)の 録音レベルを調整する	80
ヘッドホンを使う	83
ヘッドホンで音声を聞きながら撮影/ 再生する	83
再生中にヘッドホン音量を調整する	83

カラーバー/テストトーンを記録する	84
カラーバーを記録する	84
テストトーンを記録する	84
ブレ記録を行う	85
画面の表示を切り換える	86
赤外線撮影 (Infrared)を行う	87
RC-V100でリモート撮影する	88
GPSレシーバー GP-E2を使う	89
GPSレシーバーを接続する	89
GPSを有効にする	89

カスタマイズ

CUSTOMダイヤル/ボタンを使う	92
アサインボタンの機能を変更する	93
機能を変更する	94
アサインボタンを使う	94
設定データの保存と読み込み	95
設定データをカードBに保存する	95
設定データをカードから読み込む	95

再生／編集

クリップや静止画を再生する	98
クリップや静止画を消す	102
クリップ／静止画をまとめて消す	102
再生一時停止中のクリップを消す	103
再生中の静止画を消す	103
クリップを切り取る	104

接 続

出力信号形式	106
外部モニターを接続する	107
音声出力を選択する	109
⌚(ヘッドホン)端子／スピーカーの 出力チャンネルを選ぶ	109
HDMI OUT端子の出力チャンネルを選ぶ	109

撮影データの保存

クリップをパソコンに保存する	112
クリップ／静止画をカードにコピーする	113
クリップ／静止画をまとめてコピーする	113
再生中の静止画をコピーする	114

メニュー

FUNCメニューの紹介	116
撮影時に使うFUNCメニュー	116
再生時に使うFUNCメニュー	117
メニューの紹介	118

その他

画面の見かた	130
撮影時の画面表示	130
再生時の画面表示	132
トラブルシューティング	133
電源	133
撮影中	133
再生中	134
表示やランプ	135
画面や音	136
アクセサリー	137
他機	137
メッセージが出たら？	138
安全上のご注意	140
取り扱い上のご注意	142
ビデオカメラ本体	142
バッテリー	143
カード	144
充電式内蔵電池	144
その他のご注意	145
ビデオカメラ本体を清掃する (日常のお手入れ)	145
アクセサリー紹介	146

主な仕様..... 148

 XA40 148

 付属品..... 150

 動画の記録可能時間の目安 150

 バッテリーの充電時間の目安..... 151

 バッテリーの使用時間の目安 151

索引 153

修理対応について 157

本書の読みかた

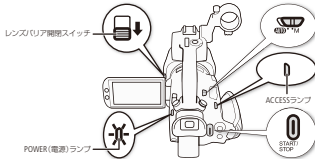
動画や静止画を撮影する

ここでは基本的な撮影について説明します。画像の記録については、73ページをご覧ください。

カメラモード (CAMERA/M)

■ 撮影する

ビデオカメラにすべておまかせで気軽に撮影できる**CAMERA**（オートモード）と、フォーカスや露出などの撮影設定を自分で設定して撮影できる**M**（マニュアル）モードがあり、用途に応じて切り換えることができます。



- 1 レンズリニアを開ける
① レンズリニア開閉スイッチを下げて、レンズリニアを開ける。
- 2 カメラモードを**CAMERA** または**M**にする (□26)
② カメラモードスイッチを**CAMERA** または**M**に設定する。
- 3 電源スイッチを**CAMERA**にする
● POWER(電源)ランプが緑色に点灯する。
- 4 START/STOP(スタート/ストップ)ボタンを押す
● 撮影が始まり、画面に●が表示される。
● ハンドルユニット (別売) を装着しているときは、タイルランプが点灯する。
● ハンドルユニット (別売) のSTART/STOPボタンを押して、撮影開始することもできる。

38

電源スイッチの位置を示すマーク

- CAMERA MEDIA CAMERAにする
- CAMERA MEDIA MEDIAにする
- CAMERA MEDIA CAMERAかMEDIAにする

カメラモードスイッチの位置を示すマーク

カメラモード **AUTO M**

撮影時に選択するモード。**AUTO**（オート）、**M**（マニュアル）がある。

コラムのマーク

ご注意 必ず守っていただきたいこと

MEMO 知っておいていただきたいこと

動画や静止画を撮影する

撮影

- 5 撮影を停止するとき もう一度START/STOP(スタート/ストップ)ボタンを押す
● 画面に●が表示される。
● クリップの範囲が記録され、撮影停止状態になる。
* 本機では、一回の撮影操作で記録された動画を「クリップ」と呼びます。
● ハンドルユニット (別売) のタリールームは消灯する。

- 6 静止画を撮るとき 動画の撮影停止中にPHOTOを押す
● 画面の右上に●(または●)が、画面の下部に●が表示される。

- 7 レンズリニアを開けて、電源を切る
① レンズリニア開閉スイッチを上げて、レンズリニアを閉じる。
② ACCESSランプが消えていることを確認する。
③ 電源スイッチをOFFにする。
● 液晶モニターを背面にしてから閉じる。ビューファインダーを引き出しているときは元の位置に戻す。

注意 カメラのデータ破壊に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破壊の場合、記録内容の消滅についてはご容赦ください。

- MEMO** ハンドルユニット (別売) のSTART/STOPボタンには、記録操作時のロックレバーがあります。使用しないときや撮影状態を保持したいときは、ロックレバーを●側にしてください。レバーを元の位置に戻すとロックは解除されます。
- 記録設定メニュー「記録コマンド」と「HDMI タイムコード」を「入」にして、本機のHDMI OUT端子にHDMIの記録コマンド対応機器をつなぐと、本機の撮影/撮影停止操作 (START/STOPボタンの操作) と連動して、映像の記録/記録停止を行うことができます。
- 1つのクリップには10分間まで記録できます。それを越えると、自動的に別のクリップを生成して記録します。

CAMERAモードについて
カメラモードが**CAMERA**（オート）のときは、シーンに応じて、フォーカスや露出（絞り、シャッタースピード、ゲイン）、ホワイトバランスなどを自動的に調整します。また、人物の顔を検出すると、検出した顔に合わせてフォーカス/露出を自動的に調整します。

39

次のページに続くことを示すマーク

本文中の表記

- 参照ページを示す
- 参考になるページなどを示す

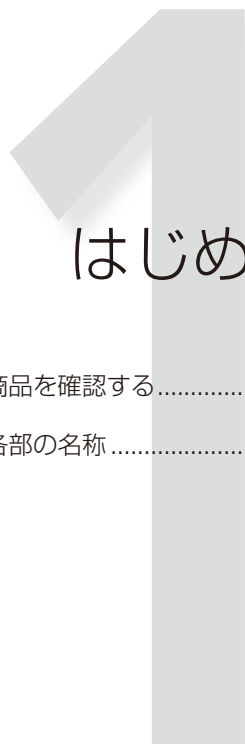
画面 ビューファインダーまたは液晶モニターの画面のこと

カード SD/SDHC/SDXCメモリーカードのこと

カメラモード 動画撮影モードのこと

メディアモード 再生モードのこと

- 本書で使用しているイラストは、ハンドルユニットHDU-1(別売)を取り付けた状態です。作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。



はじめに

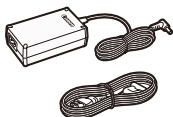
商品を確認する	10
各部の名称	11

商品を確認する

XA40には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。



ビデオカメラ本体



コンパクトパワーアダプター
(ACアダプター) CA-570



バッテリーパック
BP-820



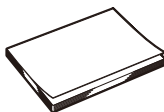
バリア付きレンズフード



フェライトコア



レンズキャップ



クイックガイド

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

映像を撮るときは、必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」(□ 133)をご確認ください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラやSDカードなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

ACCESS(アクセス)ランプについて

ACCESSランプ(□ 14)が赤色に点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- カードカバーを開けない。
- カメラモード切り換えスイッチを切り換えない。
- メディアモードに切り換えない。
- 本体にUSBケーブルをつないでいるときは、USBケーブルを抜かない。

液晶モニターやビューファインダーの画面について

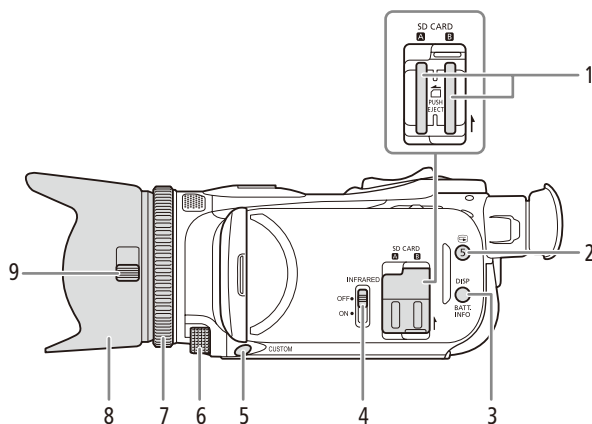
液晶モニターやビューファインダーの画面は非常に精密度の高い技術で作られています。

99.99%以上の有効画素がありますが、まれに常時点灯する画素や点灯しない画素が発生することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

各部の名称

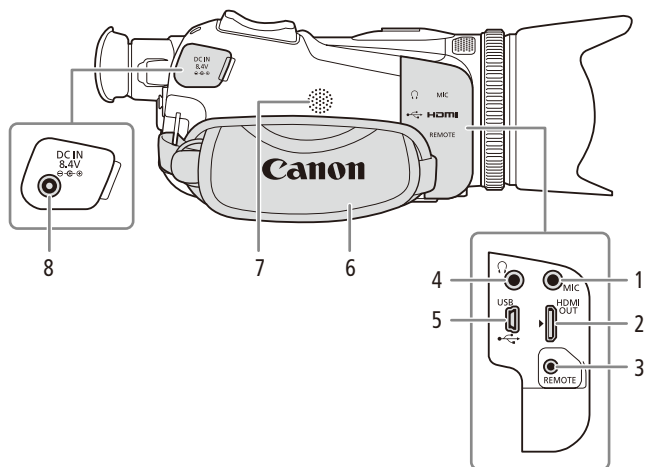
各部の機能と使いかたについては、▶▶に記載されているページをご覧ください。

■ 本体の名称



- 1 カードスロット ▶▶ **A** / **B** ▶▶ 32
- 2 (レックレビュー) / アサイン5ボタン
▶▶ 40
- 3 DISP(ディスプレイ) ▶▶ 86 / BATT. INFO
(バッテリー情報)ボタン ▶▶ 20
- 4 INFRARED(赤外線撮影)切り換えスイッチ
▶▶ 87

- 5 CUSTOM(カスタム)ボタン ▶▶ 92
- 6 CUSTOM(カスタム)ダイヤル ▶▶ 92
- 7 フォーカス/ズームリング ▶▶ 61、55
- 8 レンズフード ▶▶ 22
- 9 レンズバリア開閉スイッチ ▶▶ 38



1 MIC(マイク)端子 ▶▶ 73

2 HDMI OUT端子 ▶▶ 107

3 REMOTE(リモート)端子 ▶▶ 88

● 市販のリモコンなどを接続する。

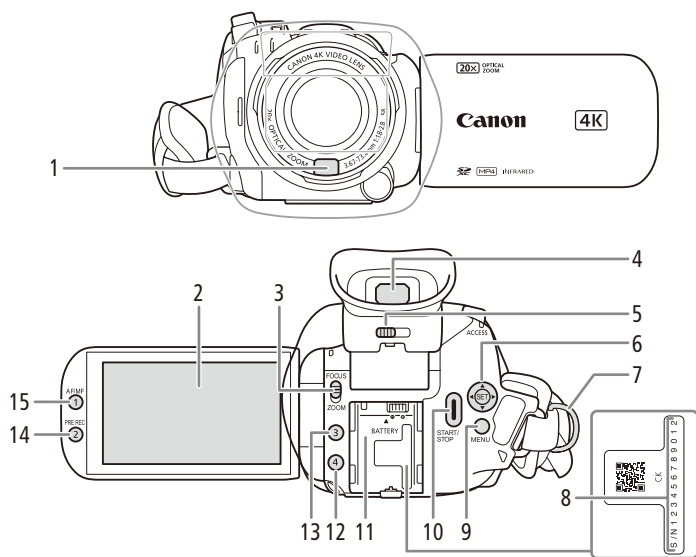
4 〇(ヘッドホン)端子 ▶▶ 83

5 USB端子 ▶▶ 89

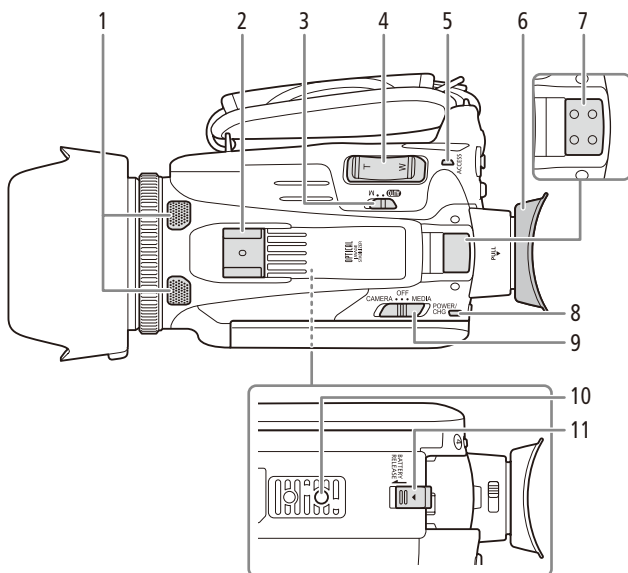
6 グリップベルト ▶▶ 25

7 内蔵スピーカー ▶▶ 101

8 DC IN端子 ▶▶ 18

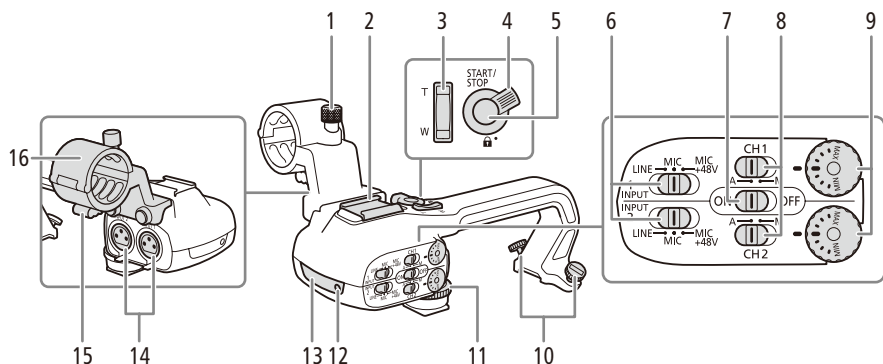


- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 ハイスピードAF用外部センサー ▶▶ 65 | 9 MENU(メニュー)ボタン ▶▶ 28 |
| 2 液晶モニター(タッチパネル) ▶▶ 23 | 10 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン
▶▶ 38 |
| 3 フォーカス/ズームリング切り換えスイッチ
▶▶ 61、55 | 11 バッテリー装着部 ▶▶ 18 |
| 4 ビューファインダー ▶▶ 24 | 12 アサイン4ボタン ▶▶ 93 |
| 5 視度調整レバー ▶▶ 24 | 13 アサイン3ボタン ▶▶ 93 |
| 6 ジョイスティック ▶▶ 27、28 | 14 PRE REC(プレ記録) / アサイン2ボタン
▶▶ 85、93 |
| 7 ストラップ取り付け部 ▶▶ 25 | 15 AF/MF切り換え / アサイン1ボタン ▶▶ 65、93 |
| 8 シリアル番号(機番) | |



- | | |
|---------------------------|--|
| 1 内蔵マイク ▶▶ 73 | 8 POWER(電源)ランプ／CHG(充電)ランプ
▶▶ 18 |
| 2 アクセサリーシュー ▶▶ 21 | 9 電源スイッチ ▶▶ 26 |
| 3 カメラモード切り換えスイッチ ▶▶ 26、38 | 10 三脚ねじ穴
● 取り付けネジの長さが6.5mm以下の三脚を
取り付け可能。 |
| 4 グリップズームレバー ▶▶ 55 | 11 BATTERY RELEASE(バッテリー取り外し)ス
イッチ ▶▶ 19 |
| 5 ACCESS(アクセス)ランプ ▶▶ 32 | |
| 6 アイカップ ▶▶ 24 | |
| 7 ハンドルユニット取り付け部 ▶▶ 21 | |

■ ハンドルユニットHDU-1(別売)の名称



- | | |
|--|--|
| 1 外部マイク固定ネジ ▶▶ 75 | 9 録音レベル調整つまみ (CH1/CH2) ▶▶ 77 |
| 2 アクセサリーシュー | 10 ハンドルユニット取り付けネジ ▶▶ 21 |
| 3 ハンドルズームレバー ▶▶ 57 | 11 ハンドルユニット固定ネジ ▶▶ 21 |
| 4 ロックレバー ▶▶ 39 | 12 タリールンプ ▶▶ 38 |
| 5 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン
▶▶ 38 | 13 赤外ライト ▶▶ 87 |
| 6 INPUT端子感度切り換えスイッチ (INPUT 1/
INPUT 2) ▶▶ 73、76 | 14 INPUT 1端子 / INPUT 2端子 ▶▶ 73
●以降、両端子に共通の説明では「INPUT端子」
と呼ぶ。 |
| 7 INPUT端子入力切り換えスイッチ ▶▶ 73、76 | 15 ケーブルクランプ ▶▶ 75 |
| 8 録音レベル切り換えスイッチ (CH1/CH2)
▶▶ 73、77 | 16 外部マイクホルダー ▶▶ 75 |

準備

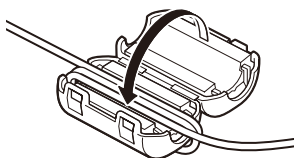
電源を準備する	18
カメラを準備する	21
カメラを操作する	26
日付／時刻を合わせる	27
メニュー／FUNCメニューで 設定を変える	28
カードを準備する	31

電源を準備する

本機はバッテリーパックを取り付けるか、コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）CA-570をつないで使用できます。はじめてお使いになるときは、バッテリーパックを充電してから使います。

■ フェライトコアを取り付ける

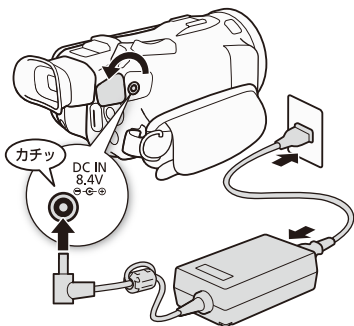
コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を使用する前に、フェライトコアを取り付けてください。フェライトコアを取り付けると、発生するノイズを低減できます。



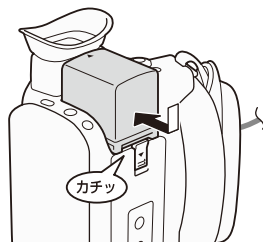
- 1 DCプラグ（DC IN端子に接続するプラグ）の端から約6cmの位置に、フェライトコアをあてる。
- 2 ケーブルをフェライトコアの中心に通して、1回巻きつけ、フェライトコアを閉じる。

■ バッテリーを充電する

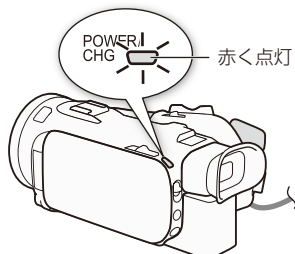
- 1 本機にコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を、コンセントに電源コードをつなぐ



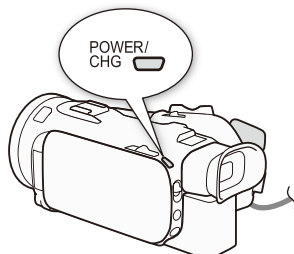
- 2 バッテリーを取り付ける



- 3 電源OFFで充電開始



- 4 点灯→消灯で充電完了

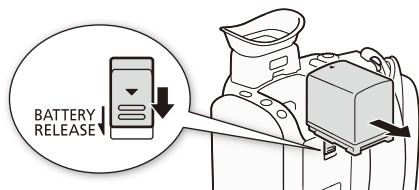


● 点滅しているときは、「トラブルシューティング」の「表示やランプ」(135)をご覧ください。

● 本機からコンパクトパワーアダプターを、コンセントから電源コードを抜く。

バッテリーを取り外すとき

バッテリー取り外しスイッチを矢印の方向に押しして取り外す。

**ご注意**

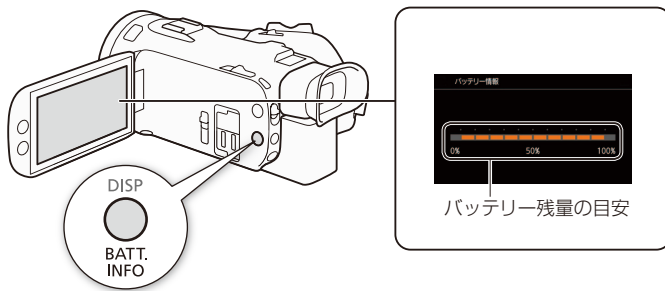
- コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) に指定された製品以外を接続しないでください。
- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、POWER (電源) ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。
- 故障の原因となりますので、コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) を固定して使用しないでください。

MEMO

- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が約0℃～40℃ (使用温度) の範囲外の場合は、充電できません。
- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- 充電中にコンセントまたはDC IN端子からプラグを抜いたときは、再び接続する前にCHG (充電) ランプの消灯を確認してください。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- 撮影可能時間をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。
- バッテリーの取り扱いについては143ページを、充電時間や使用時間については151ページをご覧ください。

バッテリーの残量を確認するには

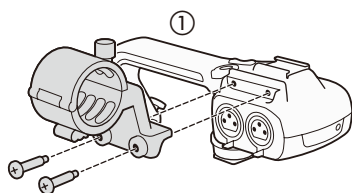
電源OFFのときにBATT.INFOボタンを押すと、バッテリーの残量（目安）が5秒間表示されます。ただしバッテリーが消耗していると表示されないことがあります。



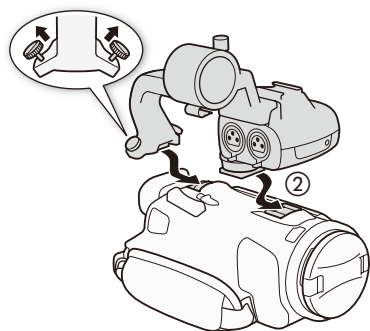
カメラを準備する

ここでは、ハンドルユニットHDU-1(別売)とレンズフードの取り付け、ビューファインダーや液晶モニターの調整、グリップベルトやストラップの調節など、はじめに行うカメラの準備について説明します。取り付ける際は、落下したりしないように、机などの安定した所で取り付けてください。

■ ハンドルユニット (別売)を取り付ける

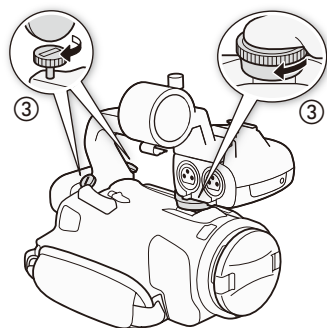


- 1 ハンドルユニットに付属のネジでマイクホルダーをハンドルユニットに取り付ける (①)



- 2 ハンドルユニットの前側の取り付け金具をアクセサリースューに差し込む (②)

- ハンドルユニット取り付けネジは、持ち上げた状態でスライドさせてください。



- 3 ハンドルユニットの固定ネジ (1箇所) と取り付けネジ (2箇所)を回して、固定する (③)

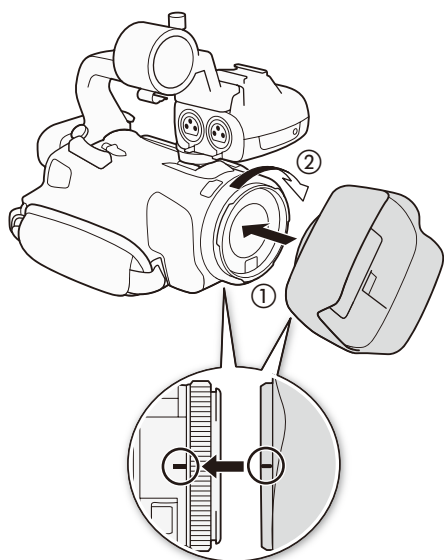
- 取り付けネジはコインなどでしっかり締めてください。

MEMO

- ハンドルユニットを装着しない場合、INPUT端子(□ 73)、赤外ライト(□ 87)、タリーランプ(□ 38)は使用できません。

■ レンズフードを取り付ける

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどの低減に効果的です。また、レンズフードのバリアを閉じることで、レンズに指紋などの汚れがつきにくくなります。



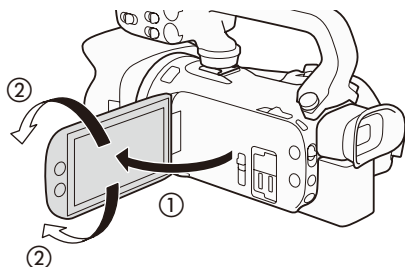
- 1 レンズキャップを取り外す
- 2 レンズフードと本体（底面）の目印を合わせて、レンズ先端部にレンズフードを取り付ける (①)
- 3 時計方向にカチッと音がして止まるまで回す (②)
 - レンズフードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して、取り付け／取り外しにくくなります。
 - 取り外すときは、レンズフードを矢印の反対方向に回してください。

MEMO

レンズキャップについて

- レンズキャップはビデオカメラの保管や持ち運びの際にご使用ください。
- レンズキャップが付いていると、フードを取り付けることができません。レンズキャップを外してから、レンズフードを取り付けてください。

■ 液晶モニターを使う



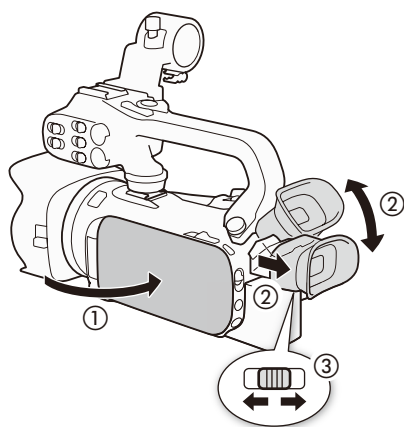
- 1 液晶モニターを手前に引き出し (①)、見やすい位置まで回転させる (②)

MEMO

- 液晶モニターの明るさは、表示設定メニュー ▶ 「液晶明るさ調整」または「液晶バックライト」(125)で調整できます。また、DISP/BATT. INFOボタン (11)を2秒以上押すと、「液晶バックライト」の「高輝度」と「通常」間、「低輝度」から「通常」を切り換えることができます。
- 画面の明るさを調整しても、記録される映像の明るさには影響しません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- 液晶モニターの画面を相手に見せながら撮影するときなどは、表示設定メニュー ▶ 「液晶対面ミラー」を「入」にすると、画面を左右に反転して表示させることができます。
- 液晶モニター／ビューファインダーの取り扱いについては142ページを、お手入れについては145ページをご覧ください。

■ ビューファインダーを使う

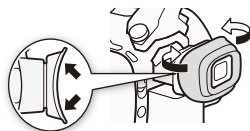
ビューファインダーの映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。



- 1 本機の電源を入れる (26)
- 2 液晶モニターを閉じる (①)
- 3 ビューファインダーを引き出して見やすい角度に調整する (②)
- 4 はっきり見えるように視度調整レバーを動かす (③)

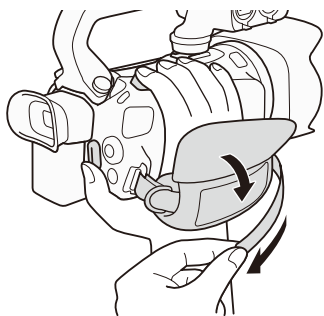
MEMO

- ビューファインダーの明るさは、☒表示設定メニュー ▶ 「VFバックライト」で調整できます。
- 画面の明るさを調整しても、記録される映像の明るさには影響しません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- ビューファインダーと液晶モニターは同時に使用できません。
- 必ずアイカップを装着した状態でご使用ください。眼鏡をかけている場合、アイカップのベロ部が邪魔になるときは、図のように折り返してご使用ください。



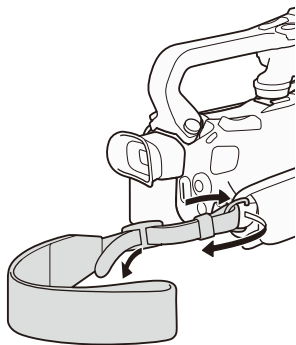
■ グリップベルトを調節する

親指がスタート/ストップボタンに、人さし指がグリップズームレバーに、ちょうど合うようにベルトの長さを調節します。

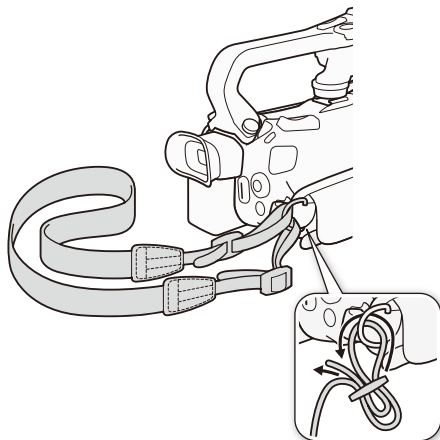


■ ストラップを取り付ける

リストストラップ (別売) のとき



ショルダーストラップ (別売) のとき

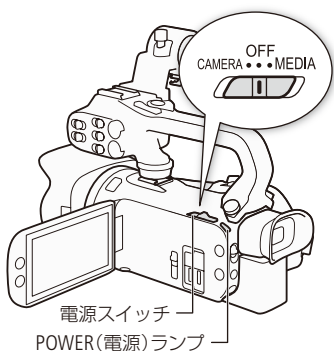


カメラを操作する

ここでは基本的なカメラの操作について説明します。

■ 電源を入れる／切る

本機には、撮影用のカメラモードと再生用のメディアモードとがあり、電源を入れるときに選択します。



カメラモードで起動するとき

電源スイッチをCAMERAにする

- POWER(電源)ランプが緑色に点灯する。

メディアモードで起動するとき

電源スイッチをMEDIAにする

- POWER(電源)ランプが緑色に点灯する。

電源を切るとき

電源スイッチをOFFにする

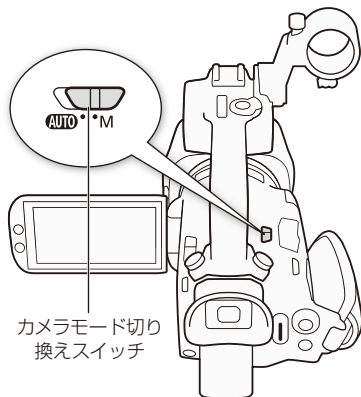
- POWER(電源)ランプが消灯する。

MEMO

- POWER(電源)ランプは、 システム設定メニュー ▶ 「POWER LED」で点灯しないようにすることもできます。

■ カメラモードを切り換える

カメラモード切り換えスイッチで撮影時のモードを切り換えます。



AUTO (オート)モード (📷 38)

ビデオカメラまかせで、撮りたい状況に合わせた動画を撮影できます。

M (マニュアル)モード (📷 38)

ピント(フォーカス)や露出など、調整したい機能を自分で設定して撮影できます。

日付／時刻を合わせる

CAMERA MEDIA

はじめてお使いになるときは、日付、時刻を設定する画面が表示されます。時刻は、お住まいの地域と旅先の地域の2か所を設定できます。海外旅行先の日時を指定しておく、現地時間で記録できます(125)。

準備

カメラモード **AUTO M**



1 電源を入れる (126)

- はじめて電源をいれると「日付/時刻」設定画面が出る。



2 日時を設定する

タッチパネルで操作するとき

- ① 項目(年月日時分)をタッチし、▲/▼をタッチして設定する。
 - この操作を繰り返して日時を設定する。
- ② 必要に応じて、日時スタイルを設定する。
 - 使用するスタイルをタッチして選ぶ。
- ③ 「OK」をタッチする。



ジョイスティックで操作するとき

- ① ジョイスティックを上下に押して「年」の数字を選ぶ。
 - ジョイスティックを右に押すと、カーソルが「月」に移動する。
- ② ①の操作を繰り返して日時を設定する。
 - ジョイスティックを左右に押して「OK」を選びSETを押す。

MEMO

日時設定や地域とサマータイムを変更するには

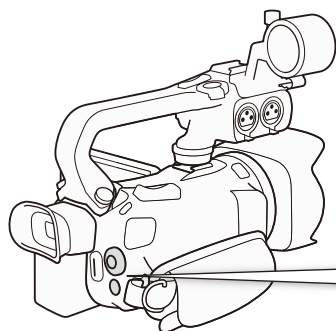
→ システム設定メニュー → 「日付／時刻」、「エリア／サマータイム」(125)

- 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください(144)。
- GPSレシーバー GP-E2(別売)を使用すれば、GPSから得られる時刻情報を本機に自動設定することもできます(89)。

メニュー／FUNCメニューで設定を変える

CAMERA MEDIA

本機さまざまな機能をご購入時の状態からメニュー／FUNCメニューで変更できます。ここではタッチパネルやジョイスティックを使って行うメニュー設定の基本操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニュー／FUNCメニューを操作するときの参考にしてください。メニュー／FUNCメニューの種類については「メニューの紹介」(P 118)または「FUNCメニューの紹介」(P 116)をご覧ください。



ジョイスティック

上下左右に押すと、画面上のカーソルが上下左右に移動して、項目を選択できます。選択した内容を決定するときはSETを押します。

MENU(メニュー)ボタン

メニュー操作を開始するときに押してメニューを表示し、設定が終わったら再度押してメニューを消します。

カメラモード **AUTO M**

メニューで設定を変える

例 「液晶バックライト」を設定する



1 メニューを表示させる

- ① MENU(メニュー)ボタン (P 13)を押す。
 - メニュー操作モードになり、画面にメニューが表示される。



2 項目を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

- ① (表示設定) をタッチしたあと、左右にドラッグして「1」のタブの画面にスクロールする。
- ② 「液晶バックライト」をタッチする。



ジョイスティックで操作するとき

- ① ジョイスティックを左右に押して (表示設定) を選ぶ。
- ② ジョイスティックを上下に押してタブの番号にカーソルを移動させる。
- ③ ジョイスティックを左右に押して「1」のタブの画面を表示する。
- ④ ジョイスティックを上下に押して「液晶バックライト」を選び、SETを押す。

- 以降、この操作を次のように記載する。「～を選ぶ」は、タッチパネル操作では「タッチする」、ジョイスティック操作では「上下左右に押して対象を選びSETを押す」操作を示す。
例：☑1 表示設定メニュー ▶ 「液晶バックライト」を選ぶ
- タブの番号はカメラモードとメディアモードで異なることがある。以降はカメラモードの番号で説明する。

3 設定内容を選ぶ

タッチパネルで操作するとき
いずれかをタッチする。

ジョイスティックで操作するとき
ジョイスティックを上下に押して、いずれかを選んでSETを押す。



4 メニューを終了する。

- ① MENU(メニュー)ボタンを押す。
 - ✕をタッチするか、ジョイスティックを上下左右に押して✕を選んだあとSETを押しても、メニューを終了できる。
 - 〻をタッチするか、ジョイスティックで選択してSETを押すと、前の画面に戻る。

MEMO

- ✕をタッチしたり、MENUボタンを押したりすると、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

FUNCメニューで設定を変える

FUNCメニューでは、露出設定やホワイトバランス、フォーカスなど撮影時によく使う設定を変更できます。

1 FUNCメニューを表示させる

タッチパネルで操作するとき
FUNC をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき
ジョイスティックを上下左右に押して [FUNC] を選び、SETを押す。



FUNC



2 画面の左側の項目を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

いずれかをタッチする。

- 必要に応じて、画面の左側を上下にドラッグするか、 $\wedge$ ／ $\vee$ をタッチして、項目を上下にスクロールする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下に押していずれかを選び、SETを押す。



3 画面の下側の設定内容を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

いずれかをタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを左右に押していずれかを選び、SETを押す。



4 FUNCメニューを終了する

×

タッチパネルで操作するとき

×をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下左右に押して×を選び、SETを押す。

- $\hookrightarrow$ をタッチするか、ジョイスティックで選択してSETを押すと、前の画面に戻る。



MEMO

- 選んだ項目や設定内容によっては、画面に上記と異なる操作ボタンや調整ダイヤルが表示されることがあります。それらの操作については、各機能の節で説明します。

カードを準備する

本機では、動画や静止画をSDカード*1に記録します。SDカードスロットは2つあり、2つのSDカード*2に同時に記録したり、自動的に切り換えて記録したりできます。

SDカードを使用するときは、はじめに本機で初期化してください（□33）。

*1 SDカードは、設定データの保存にも使用します。

*2 以降、カードスロット **A** / **B** に入れるSDカードを、それぞれ「カードA」、「カードB」と記載します。

使用可能なカード

動作確認済みのメモリーカードなどの詳細情報は、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

メモリーカードのタイプ	 SDメモリーカード、  SDHCメモリーカード、  SDXCメモリーカード
SDスピードクラス*1	CLASS  、CLASS 
UHSスピードクラス*1 *2	 、 
メーカー *3	Panasonic、TOSHIBA、SanDisk

*1 SDカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。

*2 解像度が3840x2160のときやスロー&ファストモーション記録を行うときは、UHSスピードクラス3のカードの使用をおすすめします。

*3 これらのメーカー製のメモリーカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2019年2月現在）。

ご注意

- 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画をバックアップしてから、本機でカードを初期化してください。特に、重要なシーンを記録する前には、本機でカードを初期化してください。

SDXCメモリーカードをお使いになるときは

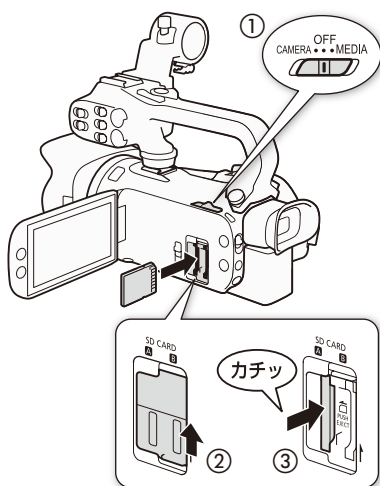
SDXCメモリーカードは、exFAT形式で初期化されます。

- exFAT形式に対応した機器でのみ使用できます。exFAT形式に対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。
- exFAT形式に対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。

MEMO

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

■ カードを入れる／出す



1 電源をOFFにする (①)

2 カードカバーを開ける (②)

3 カードのラベル面をレンズ側に向けて、奥までしっかり入れる (③)

- カードスロット **A** と **B** の両方または、いずれかのみに入れることもできる。

カードを出すとき

- ① ACCESSランプが消灯していることを確認する。
- ② カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

4 カードカバーを閉じる

- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

ご注意

- カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作3のような正しい向きで入れてください。

MEMO

誤ってデータを消さないために

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にあると、データを保護できます。

ACCESSランプの光りかた

点灯／点滅	カードにアクセス中
消灯	カードが入っていないか、カードにアクセスしていない



誤消去防止ツマミ

⚙️ システム設定メニュー ▶ 「ACCESS LED」で、ACCESSランプを点灯しないようにすることもできます (📖 126)。

■ カードを初期化する CAMERA MEDIA

カードをはじめて使用するときや、カードに記録した動画／静止画などすべての情報を消すときに初期化します。

カメラモード **AUTO M**



1 初期化するカードを選ぶ

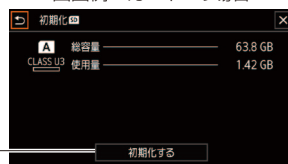
- ① 2 記録設定メニュー ▶ 「初期化」▶ 「[A]カードA」または「[B]カードB」を選ぶ。



2 初期化を実行する

- ① 「初期化する」▶ 「はい」を選ぶ。
- ② 「OK」▶ **X**を選ぶ。

画面例：カードAの場合



ご注意

- 初期化すると、すべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたい動画や静止画がある場合は、パソコンなどにバックアップ (112) してから初期化してください。
- 初期化は、カードによっては数分かかることがあります。

■ 記録先を選ぶ CAMERA MEDIA

動画や静止画の記録先を選びます。

カメラモード **AUTO M**



1 動画または静止画の記録先を選ぶ

- ① 1 記録設定メニュー ▶ 「記録先」を選ぶ。
- ② 「[🎥]動画記録先」と「[📷]静止画記録先」のそれぞれについて、「[A] カードA」または「[B] カードB」を選ぶ。
- ③ **X**を選ぶ。
 - 「[動画記録先]」で選択した記録先のアイコンが画面に表示される。



■ カードスロット記録方式を選ぶ（同時記録／リレー記録） CAMERA MEDIA

2つのカードスロットにカードを入れると、2枚のカードに同時に映像を記録（同時記録）したり、記録先に指定したカードがいっぱいになったら、もう一方のカードに自動的に切り換えて記録（リレー記録）したりすることができます。

カメラモード AUTO M



MENU



×

1 同時記録またはリレー記録を選ぶ

① 1 記録設定メニュー ▶ 「同時記録／リレー記録」 ▶ いずれかを選ぶ。

- 同時記録またはリレー記録を解除するときは、「通常記録」を選ぶ。

② ×を選ぶ。



MEMO

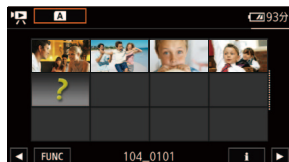
- リレー記録は、カードAからカードB、または、カードBからカードAの1回のみ切り換え可能です。
- リレー記録で分割されたファイルは、パソコンに取り込んだあと、ソフトウェアMP4 Join Tool (□ 112)を使用すれば、1つのファイルに結合できます。
- 同時記録中、一方のカードの空き容量がなくなると、両方のカードへの記録が停止します。なお、一方のカードに書き込みエラーが発生したときは、他方のカードへの記録を継続します。
- 同時記録とリレー記録は、スロー&ファストモーション記録と同時に使用することはできません。

■ クリップを修復する

CAMERA MEDIA

記録中に停電する、記録中にカードを取り出すなどの原因によって、カードに記録したクリップに異常が発生することがあります。異常が発生したクリップは、修復することによって正常な状態に戻すことができます。

1 クリップのインデックス画面を表示する (98)



2 クリップを修復する

- ① ?が表示されているサムネイルを選ぶ。
 - 「データの修復を試みますか？」が表示される。
- ② 「はい」を選ぶ。
 - 選んだクリップが修復される。
 - 「データの修復を終了しました。クリップを確認してください」が表示されたら終了。
- ③ 「OK」を選ぶ。

MEMO

修復したクリップについて

- インデックス画面では▶が表示される。
- 0.5秒未満のクリップは消去されることがある。
- 修復を行っても正常な状態に戻らないことがあります。特に、ファイルシステムが壊れているとき、またはカードが物理的に壊れているときは修復できません。
- 修復は、本機で撮影したクリップのみ行えます。また、静止画は修復できません。

撮 影

動画や静止画を撮影する	38	タイムコードを設定する	70
映像の信号形式を選ぶ	41	ユーザービットを設定する	72
スロー&ファスト モーション記録を行う	42	音声を記録する	73
撮影モードを選ぶ	43	ヘッドホンを使う	83
明るさを調整する	45	カラーバー／テストトーンを 記録する	84
AGCリミットを設定する	51	プレ記録を行う	85
ホワイトバランスを調整する	52	画面の表示を切り換える	86
好みの画質にする	54	赤外撮影 (Infrared)を行う	87
ズームを操作する	55	RC-V100でリモート撮影する	88
フォーカスを調整する	61	GPSレシーバー GP-E2を使う	89
手ブレ補正を使う	69		

動画や静止画を撮影する

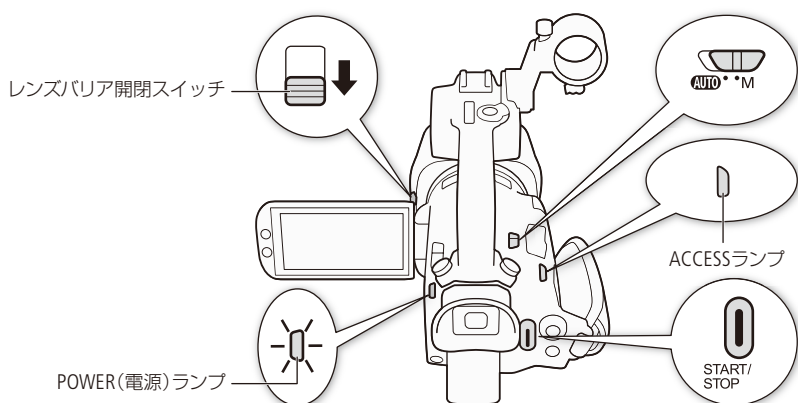
CAMERA MEDIA

ここでは基本的な撮影について説明します。音声の記録については、73ページをご覧ください。

カメラモード **AUTO** **M**

■ 撮影する

ビデオカメラにすべておまかせで気軽に撮影できる **AUTO** (オートモード) と、フォーカスや露出などの撮影設定を自分で設定して撮影できる **M** (マニュアル) モードがあり、用途に応じて切り換えることができます。



1 レンズバリアを開ける

- ① レンズバリア開閉スイッチを下げて、レンズバリアを開ける。



2 カメラモードを **AUTO** または **M** にする (26)



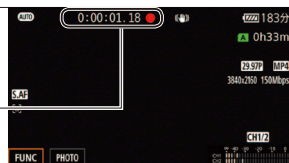
3 電源スイッチを「CAMERA」にする

- POWER(電源)ランプが緑色に点灯する。



4 START/STOP(スタート/ストップ)ボタンを押す

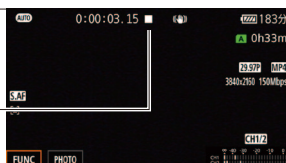
- 撮影が始まり、画面に●が表示される。
- ハンドルユニット (別売) を装着しているときは、タリーランプが点灯する。
- ハンドルユニット (別売) のSTART/STOPボタンを押して、撮影開始することもできる。





5 撮影を停止するとき もう一度START/STOP (スタート/ストップ)ボタンを押す

- 画面の●が■に変わる。
- 1クリップ*の動画が記録され、撮影停止状態になる。
* 本書では、一回の撮影操作で記録された動画を「クリップ」と呼びます。
- ハンドルユニット (別売)のタリーランプは消灯する。



6 静止画を撮るとき 動画の撮影停止中にPHOTOを押す

- 画面の右上に📷➤ [A] (または [B]) が、画面の下部に●が表示される。



7 レンズバリアを閉じて、電源を切る

- ① レンズバリア開閉スイッチを上げて、レンズバリアを閉じる。
- ② ACCESSランプが消えていることを確認する。
- ③ 電源スイッチをOFFにする。
- ④ 液晶モニターを垂直にしてから閉じる。ビューファインダーを引き出しているときは元の位置に戻す。

ご注意

- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

MEMO

- ハンドルユニット (別売) のSTART/STOPボタンには、誤操作防止用のロックレバーがあります。使用しないときや撮影状態を保持したいときは、ロックレバーを🔒側にしてください。レバーを元の位置に戻すとロックは解除されます。
- 📷 記録設定メニュー ➤ 「記録コマンド」と「HDMI タイムコード」を「入」にして、本機のHDMI OUT端子にHDMIの記録コマンド対応機器をつなぐと、本機の撮影/撮影停止操作 (START/STOPボタンの操作) と連動して、他機の記録/記録停止を行うことができます。
- 1つのクリップには6時間まで記録できます。それを超えると、自動的に別のクリップを生成して記録します。

AUTO オートモードについて

カメラモードが**AUTO** (オート) のときは、シーンに応じて、フォーカスや露出 (絞り、シャッタースピード、ゲイン)、ホワイトバランスなどを自動的に調整します。また、人物の顔を検出すると、検出した顔に合わせてフォーカス/露出を自動的に調整します。

分割して記録されるクリップについて

次の場合、撮影した映像は別々のクリップとして記録されます。

- 撮影中にリレー記録 (□ 34)が発生した。
- クリップ内の映像ファイル (ストリーム)が約4GBに達した (本機での再生時は、連続して再生可能)。

クリップをパソコンに取り込んだあと、ソフトウェアMP4 Join Toolを使うと、このように分割されたクリップを1つのファイルに結合することができます (□ 112)。

静止画について

- **AUTO** (オート)モードまたは**M** (マニュアル)モードで、動画の撮影停止中に、静止画を記録できます。
- プレ記録中は、静止画を記録できません。

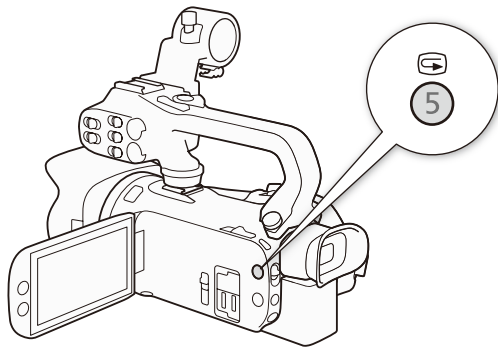
- 画面に光が当たって映像がよく見えないときは、ビューファインダーを使うか画面の明るさを調節してください (□ 124)。

画面を閉じて撮影する

三脚に取り付けて長時間撮影する場合は、画面を閉じてビューファインダーで撮影するとバッテリーの持ちが良くなります (□ 24、151)。

■ レックレビューを確認する

直前に撮ったクリップを再生して、録画状態をチェックすることができます。なお、レックレビュー中の音声は内蔵スピーカーからは出力されません。



1 撮影が終了したあと、 (レックレビュー)ボタンを押す。

- 直前に撮ったクリップの最後の4秒間が再生される。

映像の信号形式を選ぶ

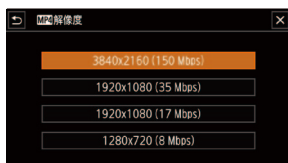
CAMERA MEDIA

解像度／フレームレート

記録される映像の信号形式を切り換えることができます。信号形式は、解像度、ビットレート、フレームレートの組み合わせからなります。また、カラーサンプリングはYCbCr 4:2:0 8 bitです。音声については「音声を記録する」(P.73)をご覧ください。

カメラモード **AUTO** M

解像度	ビットレート	フレームレート		
		59.94P	29.97P	23.98P
3840×2160	150 Mbps	—	●	●
1920×1080	35 Mbps	●	●	●
1920×1080	17 Mbps	●	●	●
1280×720	8 Mbps	●	—	—



1 解像度を選ぶ

- ① 記録設定メニュー ▶ 「MP4 解像度」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ 右を選ぶ。



2 フレームレートを選ぶ

- ① 記録設定メニュー ▶ 「MP4 フレームレート」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ 左を選ぶ。

MEMO

- 記録可能時間の目安については150ページをご覧ください。

撮
影

スロー&ファストモーション記録を行う

CAMERA

MEDIA

動きのある映像をスローで記録したり、自然観察など時間の経過に伴う変化を間欠的に記録（ファスト記録）したりすることができます。設定できる記録速度は解像度とフレームレートの設定によって異なります。なお、音声は記録されません。

選択できる記録速度

解像度	フレームレート	記録速度
3840×2160	29.97P	x2、x4、x10、x20、x60、x120、x600、x1200
	23.98P	x0.8
1920×1080	59.94P	x2、x4、x10、x20、x60、x120、x600、x1200
	29.97P	x0.5
	23.98P	x0.4、x0.8
1280×720	59.94P	x2、x4、x10、x20、x60、x120、x600、x1200

カメラモード **AUTO** M

1 記録速度を選ぶ

- ① 1 記録設定メニュー ▶ 「Slow & Fastモーション」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **X**を選ぶ。

MEMO

- 同時記録、リレー記録、プレ記録、カラーバーと同時に使用することはできません。
- スロー記録の場合、1回の撮影操作で記録できる時間は、再生時間における約6時間です。それを越えると自動的に停止します。ファスト記録のときは、停止しません。
例) 記録速度が「x0.5」の場合、記録時間は3時間（再生時間は6時間）。
- 記録信号形式を変更すると、スロー&ファストモーション記録モードは解除されます。
- スロー&ファストモーション記録モード中は、HDMI OUT端子から記録コマンドを出力しません。

スロー&ファストモーション記録中のタイムコード

- スロー&ファストモーション記録中のタイムコードは「Rec Run」または「Regen.」で記録される。
- 「Free Run」に設定している状態でスロー&ファストモーション記録モードにすると、強制的に「Rec Run」に設定され、「Slow & Fastモーション」を「切」にすると、元のカウントアップ方式に戻る。
- タイムコードはHDMI OUT端子から出力されない。

撮影モードを選ぶ

CAMERA

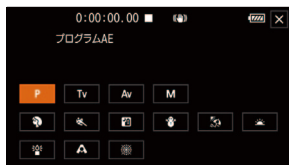
MEDIA

カメラモードが**M**(マニュアル)モード(□ 38)のときは、露出の制御方法(撮影モード)を選択できます。選んだ撮影モードに応じて、絞り、シャッタースピード、ゲインそれぞれの動作方法(オートまたはマニュアル)が決まります。いずれかがオートのときは、明るさが適正になるように露出が自動的に調整されます。露出の調整のしかたは撮影モードによって異なり、スポーツやビーチ、夕焼けなど、撮影するシーンに応じた撮影モードが用意されています。赤外撮影(□ 87)がONのときは使用できません。

カメラモード **AUTO** **M**

1 撮影モードの選択画面を出す

- ① **P**(撮影モード)を選ぶ。



2 撮影モードを選ぶ

- ① いずれかを選ぶ ▶ **X**を選ぶ。

■ 選択可能な撮影モード

基本となる撮影モード

これらの撮影モードの詳細については、「明るさを調整する」(□ 45)をご覧ください。

撮影モード	内容	□
P (プログラムAE)	絞り、シャッタースピード、ゲインがすべてオート調整	46
Tv (シャッター優先AE)	シャッタースピードがマニュアル調整。 絞りとゲインがオート調整	46
Av (絞り優先AE)	絞りとNDフィルターの濃度がマニュアル調整。 シャッタースピードとゲインがオート調整	46
M (マニュアル露出)	絞り、シャッタースピード、ゲインがすべてマニュアル調整	45

AEはAuto Exposure(自動露出)、TvはTime value(時間量)、AvはAperture value(開口量)の略です。

撮影するシーンに合わせた調整を行う撮影モード

 ポートレート 背景をぼかして、被写体を引き立たせる。		 スポーツ 動きの速い被写体を撮る。	
 夜景 夜景をきれいに撮る。		 スノー 照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。	
 ビーチ 照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。		 夕焼け 夕焼けを色鮮やかに撮る。	
 ローライト 暗い場所で被写体を明るく撮る。		 スポットライト スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。	
 打上げ花火 打上げ花火をきれいに撮る。			

MEMO

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレートのときにズームを **T** 側にすると、より効果的に背景がぼけます。
- スノー／ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎる場合があります。画面で映像をご確認ください。

ローライトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
- 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- 画面に白い点などが出る場合があります。
- 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください (P.61)。

- ローライトや打上げ花火を使うときは、手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。

明るさを調整する

CAMERA MEDIA

露出

絞り、シャッタースピード、ゲインをすべてオートで調整するか、一部をマニュアルで調整するか、すべてマニュアルで調整するかを、撮影モードで選択できます。撮影環境や被写体に応じて、露出調整が可能です。

カメラモード **AUTO** **M**

撮
影

M(マニュアル露出)で調整する

絞り、シャッタースピード、ゲインを手動で調整できます。

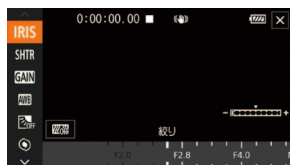
設定可能な値

調整項目	設定値
絞り*1	F1.8、F2.0、F2.2、F2.4、F2.6、F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0
NDフィルター	絞りがF4.0以上のみ： 1/2、1/4、1/8
シャッタースピード*2	1/6*3、1/8、1/9、1/10、1/12、1/15、1/17、1/20、1/24、1/25、1/30、1/34、1/40、1/48、1/50、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000
ゲイン	0.0dB ～ 24.0dB(1dB刻み)

*1 設定可能な値はズーム位置によって異なる。また、画面上は目安の絞り値が表示される。

*2 スロー＆ファストモーション記録の場合、設定できる値は記録速度によって変わる。

*3 「フレームレート」が「23.98P」時のみ。



- ① 撮影モードを**M**(マニュアル露出)に設定する(43)。
- ② **[FUNC]** ▶ **IRIS**(絞り)、**SHTR**(シャッタースピード)、**GAIN**(ゲイン)のいずれかを選ぶ。
● メーターが出る。
- ③ メーターを左右にドラッグして値を調整する。
● からゼブラパターンを表示することもできる(50)。
- ④ 必要に応じて、②～③を繰り返して他の調整値を設定する。
- ⑤ **X**を選ぶ。

露出バー



撮影モードが**M**のときは、画面に露出バー*が表示され、現在の露出位置を指標で確認できます。

* 1/2段の刻み幅で-2段～+2段までで表示でき、この範囲を超えると指標が点滅します。

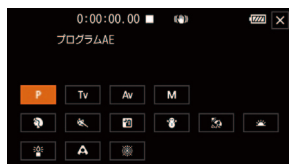
MEMO

- システム設定メニュー ▶ 「CUSTOMダイヤル&ボタン」に「**Tw/Av/M** (Tv / Av / M)」を割り当てると、CUSTOM(カスタム)ボタンで調整項目(絞り、シャッタースピード、ゲイン)を切り換え、CUSTOM (カスタム)ダイヤルで選んだ項目の数値を調整できます (42)。

オート (AE) で調整する

P (プログラムAE) で調整する

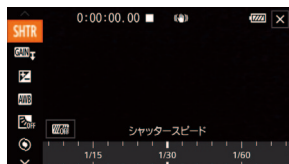
明るさが適正になるように、絞り、シャッタースピード、ゲインを常にオートで調整します。



- ① 撮影モードを**P** (プログラムAE) に設定する (43)。

Tv (シャッター優先AE) で調整する

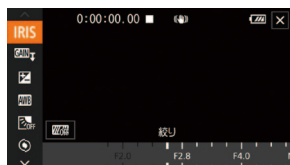
シャッタースピードをマニュアルで調整し、絞りとゲインはオートで調整します。シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体 (スポーツや乗り物など) を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。



- ① 撮影モードを**Tv** (シャッター優先AE) に設定する (43)。
- ② **[FUNC]** ▶ **SHTR** (シャッタースピード) を選ぶ。
 - メーターが出る。
- ③ メーターを左右にドラッグしてシャッタースピードを調整する。
参考 ▶ 「**M** (マニュアル露出) で調整する」(45) の「設定可能な値」
 - **Off** からゼブラパターンを表示することもできる (50)。
- ④ **X** を選ぶ。

Av (絞り優先AE) で調整する

絞りをマニュアルで調整し、シャッタースピードとゲインはオートで調整します。被写界深度を変えて背景や周囲をぼかし、被写体を引き立たせたいときは絞り値を小さく、近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときは、絞り値を大きく設定します。



- ① 撮影モードを **Av** (絞り優先AE) に設定する (□ 43)。
- ② **[FUNC]** ▶ **IRIS** (絞り) を選ぶ。
 - メーターが出る。
- ③ メーターを左右にドラッグして絞りを調整する。

参考 ▶ 「**M** (マニュアル露出) で調整する」 (□ 45) の「設定可能な値」

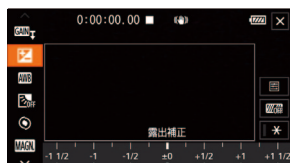
 - **1/200** からゼブラパターンを表示することもできる (□ 50)。
- ④ **X** を選ぶ。

MEMO

- **☞** システム設定メニュー ▶ 「CUSTOMダイヤル&ボタン」に「**TV/Av/M** (Tv/Av/M)」を割り当てると、CUSTOM (カスタム) ダイヤルでシャッタースピードまたは絞りを調整できます (□ 92)。
- 被写体の明るさによっては、適正な露出に調整できず、画面上のシャッタースピードや絞り値が点滅することがあります。そのときは、シャッタースピードや絞り値を調整してください。

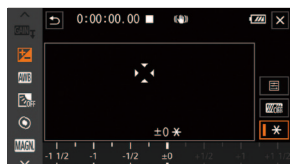
タッチした被写体に露出を合わせる (タッチ露出)

画面上でタッチした被写体に自動的に露出を合わせます。画面の中の明るい部分 (ハイライト) にタッチして、その部分の出力輝度レベルが100%になるように自動調整することもできます (ハイライトAE)。調整後は露出を固定します。撮影モード (□ 43) が **M** と **🎆** (打上げ花火) のときは使用できません。



1 タッチ露出のタイプを選ぶ

- ① **[FUNC]** ▶ **☑** (露出補正) ▶ **☑** を選ぶ。
- ② 「ノーマル」または「ハイライト」を選ぶ ▶ **☑** を選ぶ。



2 露出を調整する

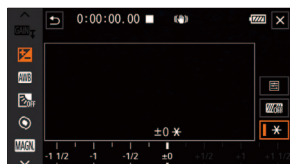
- ① 画面上の露出を合わせたい被写体をタッチする。
 - タッチした場所に **✱** が点滅して、明るさが自動で調整され、露出が固定される。
 - 画面の枠内に **±0** (露出補正值) と ***** (AEロック) が出て、***** ボタンがONになる。
- ② 必要に応じて、メーターを左右にドラッグして、さらに補正する。
 - 露出固定時は、**±3** 段、1/4 段刻みで補正できる。

露出の固定を解除するとき ***** ボタンを押す。

- ③ **X** を選ぶ。
 - 画面に露出補正值と ***** が出る。

露出を固定する (AEロック)

オート (AE) で露出調整を行っているときに、現在の露出で固定します。撮影モード (43) が **M** と **⦿** (打上げ花火) のときは使用できません。



1 露出を固定する

- ① **[FUNC]** > **露出補正** > ***** (AEロック) を選ぶ。
 - 露出が現在の設定で固定される。
 - 画面の枠内に ±0 (露出補正值) と ***** (AEロック) が出て、***** ボタンがONになる。

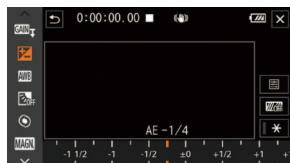
露出の固定を解除するとき 再度、***** ボタンを押す。

2 必要に応じて、露出を補正する

- ① メーターを左右にドラッグして補正する。
 - 露出固定時は、±3段、1/4段刻みで補正できる。
 - 明るさによっては数値がグレーになり、調整可能な範囲が変わる。
- ② **×** を選ぶ。
 - 画面に露出補正值と ***** が出る。

オート (AE) で調整する露出の目標値を補正する

オート (AE) で露出調整を行う際の、露出の目標値を補正することができます。撮影モード (43) が **P**、**Tv**、**Av** のときに使用できます。



- ① **[FUNC]** > **露出補正** を選ぶ。
- ② 露出が固定されているとき ***** ボタンを押してAEロックを解除する。
- ③ メーターを左右にドラッグして補正する。
 - 画面の枠内に「AE」と露出補正值が出る。
 - AE中は、±2段、1/4段刻みで補正できる。
- ④ **×** を選ぶ。
 - 画面に「AE」と露出補正值が出る。

MEMO

- 赤外線撮影がONの場合、露出調整は行えません。
- システム設定メニュー ▶ 「CUSTOMダイヤル&ボタン」に「 (露出補正)」を割り当てると、CUSTOM (カスタム) ボタンでAEロックのON / OFFを、CUSTOM (カスタム) ダイヤルで露出値を調整できます (□ 92)。

露出の固定が解除される場合

- 電源スイッチ、カメラモード切り換えスイッチ、INFRARED切り換えスイッチを操作したとき。
- 撮影モードを変更したとき。
- 解像度、フレームレートを変更したとき。

NDフィルターを使う

NDフィルターを使用することにより、明るい屋外の撮影でもアイリスを開けて被写界深度の浅い映像表現が可能となります*。本機のNDフィルターは、絞りがF4.0になると使用できます。撮影モード (□ 43) が**P**、**Tv**、**Av**、**M**のときに使用できます。

* アイリスを絞り込んだときに発生する「小絞りによるボケ」の回避にも使用できます。

撮影モードとNDフィルターの動作

「NDフィルター」の設定	撮影モード	動作
 オート	Av 、 M	F4.0のときにNDフィルターを手動で選択できる
	P 、 Tv	自動的にNDフィルターを使用して自動露出調整 (AE) を行う
 OFF 切	Av 、 M	NDフィルターは使用できない
	P 、 Tv	NDフィルターを使用しないで、自動露出調整 (AE) を行う



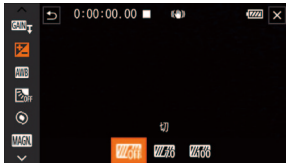
- ①  3 カメラ設定メニュー ▶ 「NDフィルター」を選ぶ。
- ②  (オート) または  (切) を選ぶ ▶  を選ぶ。

MEMO

- 撮影モードが (打上げ花火) のときはNDフィルターを使用しません。また、カメラモードが**AUTO**のとき、および撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**、**M**、 (打上げ花火) 以外のときは、常に「オート」の動作となります。

■ ゼブラパターンを使う

ゼブラパターンを使うと、映像の明るい部分に縞模様が表示されます。「100%」は白とびするような明るさの部分に、「70%」はそれに近い明るさの部分に縞模様が表示されます。明るさのバランスを確認したいときに使うと安心です。



- ① **FUNC** ▶ **IRIS** (絞り)、**SHTR** (シャッタースピード)、**GAIN** (ゲイン)、**露出補正** (露出補正)のいずれかを選ぶ。
- ② **OFF** を選ぶ。
- ③ いずれかを選ぶ ▶ **ON** または **X** を選ぶ。
 - 映像上の露出オーバーの部分にゼブラパターンが表示される。

MEMO

- ゼブラパターンを表示しても、記録される映像に影響はありません。

■ 強制逆光補正を使う

逆光の被写体を撮影するとき、逆光補正を使うと、映像全体、特に暗い部分を明るく撮影することができます。撮影モード (43) が 花火 (打上げ花火) のときは使用できません。

カメラモード **AUTO M**



- ① **FUNC** ▶ **強制逆光補正** (強制逆光補正) を選ぶ。
- ② **OFF** を選ぶ ▶ **X** を選ぶ。
 - 逆光に適した露出調整を行う。

MEMO

- アサインボタンに「強制逆光補正」を割り当てると、アサインボタンを押して「強制逆光補正」のON / OFFを切り換えられます (93)。
- カメラ設定メニュー ▶ 「自動逆光補正」で、自動的に逆光を検出して補正することもできます (118)。
- 赤外線撮影がONのときは使用できません。

強制逆光補正が解除される場合

- 電源スイッチ、カメラモード切り換えスイッチ、INFRARED切り換えスイッチを操作したとき。
- 撮影モードを変更したとき。
- フレームレートを変更したとき。

AGCリミットを設定する

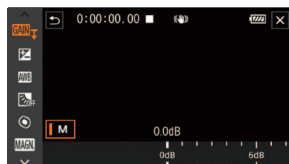
CAMERA

MEDIA

本機は、被写体の明るさに応じて映像アンプの増幅量（ゲイン）を自動的に調整（AGC*）しますが、ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。ゲインの上限（AGCリミット）を設定すると、映像に含まれるざらつきの量を調整することができます。撮影モード（ 43）が、**P**、**Av**、**Tv**のときに使用できます。

* Auto Gain Control。

カメラモード **AUTO M**



1 AGCリミットを選ぶ

- ① **[FUNC]** > **[GAIN]**（AGCリミット）> **M**を選ぶ。
 - メーターが出る。

AGCリミットを解除するとき もう一度**M**を選ぶ。

2 ゲインの上限を選ぶ

- ① メーターを左右にドラッグしてゲインの上限を選ぶ。
 - 値は、0.0 dB ~ 23.0 dBの範囲で設定できる。
 - 数値を小さくするほど、ゲインの上限が低くなる。
- ② **X**を選ぶ。
 - 画面に **[GAIN]** と設定値（dB）が出る。

MEMO

AGCリミットが使用できない場合

- AEロック中のとき（ 48）。
- 赤外撮影がONのとき。
-  システム設定メニュー > 「CUSTOMダイヤル&ボタン」に「**[GAIN]**（AGCリミット）」を割り当てると、CUSTOMボタンでAGCリミットのON / OFFを変更でき、CUSTOM（カスタム）ダイヤルでAGCリミットの値を調整できます（ 92）。

ホワイトバランスを調整する

CAMERA MEDIA

照明や太陽光などの光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを設定することができます。ホワイトバランスの調整方法は次の5種類があります。撮影モード(43)が**P**、**Tv**、**Av**、**M**のときに調整できます。

AWB オート

通常は**AWB**(オート)*を選択。自動的に自然な色合いに調整される。

オート ホワイト バランス
* AWBはAuto White Balanceの略です。

太陽光

晴天の屋外で撮影するときに選択。

電球

電球や電球色タイプ(3波長型)の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。

K 色温度

2000K ~ 15000Kの範囲で色温度を設定する。

セット1、 セット2

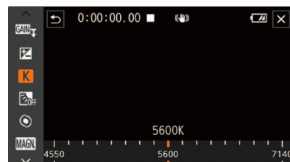
実際に白い紙などを写して設定し、設定値を「セット1」または「セット2」として登録する。

カメラモード **AUTO M**



1 調整方法を選ぶ

- ① **FUNC** ▶ **AWB** (ホワイトバランス)を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ
 - 撮影する環境に合わせて、目的の調整方法を選ぶ。



2 **K** (色温度)を選んだとき 色温度を調整する

- ① を選ぶ ▶ メーターを左右にドラッグして調整する。



3 (セット1)または (セット2)を選んだとき 基準白色を取り込む

- ① グレーカードや白い無地の被写体を画面の枠内に写す。
- ② (白取り込み)を押す。
 - 枠内に が点滅→消灯に変わったら調整完了。
 - 調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

4 **X**を選ぶ

MEMO

 (セット1)または  (セット2)を選んで調整するとき

- デジタルズームのズーム領域で調整しないでください。
- 場所や明るさが変わったときは再調整してください。
- 光によっては、ごくまれに  が点滅→消灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。
- アサインボタンに「WB白取り込み」を割り当てると、アサインボタンを押して基準白色の取り込みを開始できます (p.93)。

AWB (オート)でうまくいかないとき

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば  (セット1)または  (セット2)で調整してください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
 - クローズアップ撮影。
 - 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
 - 水銀灯や一部の蛍光灯、LED照明のもとでの撮影。
- 赤外撮影がONのときは使用できません。
 - 良く使う調整方法を  カメラ設定メニュー ➤ 「優先WB登録」で設定しておけば、「優先WB」を割り当てたアサインボタンを押して、切り換えることができます。

好みの画質にする

CAMERA

MEDIA

ルック

撮影映像のシャープネス、コントラスト、色の濃さを調整できます。撮影モード (📖 43) が **P**、**Tv**、**Av**、**M** のときに設定できます。

設定項目	設定値	内容
シャープネス	0 ～ 7	輪郭強調の強さを調整する。 0：控えめ 7：強め
コントラスト	-4 ～ +4	明暗差を調整する。 -4：明暗差・弱 +4：明暗差・強
色の濃さ	-4 ～ +4	色の濃さを調整する。 -4：薄い +4：濃い

カメラモード

AUTO

M



- ① **[FUNC]** ➤ **⚙️** (ルック) ➤ **📷** を選ぶ。
- ② いずれかの項目の「+」または「-」を押して調整する ➤ **✕** を選ぶ。

MEMO

- 赤外撮影がONのときは使用できません。

ズームを操作する

CAMERA MEDIA

ズームは、フォーカス／ズームリング、グリップズームレバー、ハンドルズームレバー *1、ズーム画面で操作します。光学ズームで20倍まで拡大でき、デジタルズーム*2を使うと400倍まで拡大できます (□ 118)。また、リモートコントローラー RC-V100 (別売) でズームを操作することもできます (□ 88)。

*1 ハンドルユニット (別売) 装着時のみ。

*2 ❶ カメラ設定メニュー ▶ 「デジタルズーム」で有効にします。❷ **AUTO** (オート) モードのときと ❸ カメラ設定メニュー ▶ 「コンバージョンレンズ」で「WA-H58」を設定しているときは、使えません。

カメラモード **AUTO M**

撮
影

フォーカス／ズームリングで操作する



1 フォーカス／ズームリング切り換えスイッチをZOOMにする



2 フォーカス／ズームリングを回して調整する

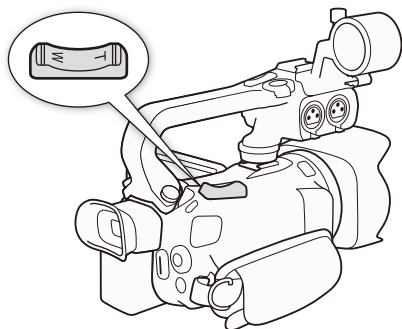
- ズームスピードは、フォーカス／ズームリングをゆっくり回すと低速になり、速く回すと高速になります。
- ズーム操作を行うと、ズーム位置の目安となるズームバーが画面に表示されます。

MEMO

- フォーカス／ズームリングの有効／無効や操作方向をメニューで変更することができます (□ 118)。
- フォーカス／ズームリングをすばやく操作すると、レンズの移動が追いつかなくなることがあります。このとき、フォーカス／ズームリングの操作終了より遅れてレンズの移動が完了します。

グリップズームレバーで操作する

広角にするときは **W** (ワイド) 側を押し、望遠にするときは **T** (テレ) 側を押します。



W側 (広角)



T側 (望遠)

MEMO

- 1 カメラ設定メニュー ▶ 「グリップズーム操作」で、グリップズームレバーを無効にすることもできます。

グリップズームレバーのズームスピードを設定する

グリップズームレバーの押しかた（操作量）に応じてズーム速度が変わる **VAR**（可変速）と、一定の速度でズームする **CONST**（固定速）とを切り換えることができ、ズームスピードは「ズームスピードレベル」との組み合わせで決まります。

ズームスピードにかかわる設定と、ワイド端→テレ端のズーム移動にかかる時間

グリップズーム スピード	CONST の速度設定 (16段階)	ズームスピードレベル		
		ロー	ミドル	ハイ
VAR （可変速）	—	約3.0秒～約3分25秒	約2.5秒～約2分10秒	約1.8秒* ～約45秒
CONST （固定速）	速度1（最低速）	約3分25秒	約2分10秒	約45秒
	速度16（最高速）	約3.0秒	約2.5秒	約1.8秒*

* ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。



1 ズームスピードレベルを選ぶ

- ① 1 カメラ設定メニュー ▶ 「ズームスピードレベル」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ➡ を選ぶ。



2 グリップズームスピード

- ① 1 カメラ設定メニュー ▶ 「グリップズームスピード」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ。



3 **CONST**（固定速）を選んだとき ズームの速度を設定する

- ① ◀ / ▶ を押して設定する。

4 ✕ を選ぶ

MEMO

- ズームスピードレベルを「ハイ」にすると、ズーム音が記録されることがあります。
- 外部マイクを使って撮影する場合、ズーム音が記録されることがあります。

撮影停止中のズームスピードを速くする（ハイスピードズーム）

撮影停止中のグリップズームのズームスピードレベルを強制的に「ハイ」にします。グリップズームスピードが**VAR**（可変速）のときに使用できます。撮影中は「ズームスピードレベル」の設定が有効になります。



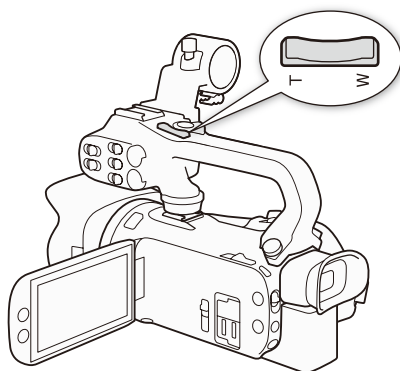
- ① **2** カメラ設定メニュー ▶ 「ハイスピードズーム」を選ぶ。
- ② 「ON（入）」 ▶ **X**を選ぶ。

MEMO

- ブレ記録（**85**）をONに設定していると、撮影停止中でも「ズームスピードレベル」で選んだ速度になります。
- 「ズームスピードレベル」を「ハイ」に設定しているときは、撮影停止中でもズーム速度は変わりません。

■ ハンドルズームレバーで操作する

広角にするときは**W**（ワイド）側を押し、望遠にするときは**T**（テレ）側を押します。ハンドルズームレバーを使用するときは、あらかじめハンドルユニットHDU-1（別売）を取り付けてください（**21**）。



ハンドルズームレバーのズームスピードを設定する

ズームのしかたは一定の速度でズームする固定速です。ズームスピードは「ズームスピードレベル」との組み合わせで決まります。

ズームスピードにかかわる設定と、ワイド端→テレ端のズーム移動にかかる時間

ハンドルズーム スピード (16段階)	ズームスピードレベル		
	ロー	ミドル	ハイ
速度1(最低速)	約3分25秒	約2分10秒	約45秒
速度16(最高速)	約3.0秒	約2.5秒	約1.8秒*

* ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。

1 ズームスピードレベルを選ぶ (📖 56)



2 ズームの速度を設定する

- ① 📷2 カメラ設定メニュー ▶ 「ハンドルズームスピード」を選ぶ。
- ② ◀ / ▶ を押して、ズームの速度を設定する。
- ③ ✕ を選ぶ。

MEMO

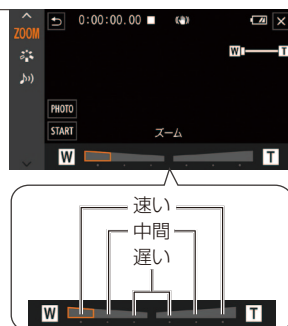
- 📷 カメラ設定メニュー ▶ 「ハンドルズーム操作」で、ハンドルズームレバーを無効にすることもできます。

ズーム画面で操作する

FUNC
ZOOM

1 ズーム画面を表示して、ズーム操作する

- ① **FUNC** ▶ **ZOOM** (ズーム) を選ぶ。
● ズーム画面が出る。
- ② 画面下部の **W** 側または **T** 側のバー上を押して、ズーム操作をする。
● ズームスピードは、押す場所によって、「速い」、「中間」、「遅い」を選べる。
- ③ **X** を選ぶ。



リモートコントローラー RC-V100(別売)などで操作する

REMOTE(リモート)端子 (㊦ 88) に接続したリモートコントローラー RC-V100(別売)／市販のリモコンを使ってズームを調整できます。

使用するリモコン	ズームの動作
リモートコントローラー RC-V100(別売)	RC-V100のZOOM(ズーム)ダイヤルを中央から右に回すとテレ側、中央から左に回すとワイド側にズームする(初期状態)。 ダイヤル操作の中央からの回転角度が大きいくほど高速になる。
市販のリモコンなど	リモコンの説明書をご覧ください。 リモコンに可変速ズーム機能がないときは固定速。可変速ズーム機能があるときはリモコンの設定に従う。

ズームの操作を滑らかにする(ソフトズームコントロール)

ズームスタート時の加速、ズームストップ時の減速を緩やかにします。



- ① **1** カメラ設定メニュー ▶ 「ソフトズームコントロール」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **X** を選ぶ。

START (スタート)	スタート時のみ有効にする。
STOP (ストップ)	ストップ時のみ有効にする。
START STOP (スタート&ストップ)	スタートとストップの両方有効にする。

■ デジタルテレコンを使う

デジタルテレコンを使うと、デジタル処理によって焦点距離を2倍にして、映像を拡大して撮影できます。

カメラモード **AUTO M**



1 デジタルテレコンを選ぶ

- ① **FUNC** 1 カメラ設定メニュー ▶ 「デジタルズーム」を選ぶ。
- ② **2.0x** (デジタルテレコン) ▶ **X**を選ぶ。



2 デジタルテレコンを有効にする

- ① **FUNC** ▶ **ZOOM** (ズーム)を選ぶ。
- ② **2.0x** (デジタルテレコン)を選ぶ。
 - 画面の中央が約2倍に拡大される。
- 解除するとき もう一度 **2.0x** を選ぶ。
- ③ **X**を選ぶ。

MEMO

- 別売のテレコンバーターをあわせて使用すると、さらに拡大した映像を記録できます。
- 撮影中や、メニューの「コンバージョンレンズ」で「WA-H58」を選択しているときは設定できません。
- 映像をデジタル処理するため、ズーム全域で映像が粗くなります。
- 解像度を3840×2160とそれ以外で切り換えると、「デジタルズーム」の設定が解除されます。

フォーカスを調整する

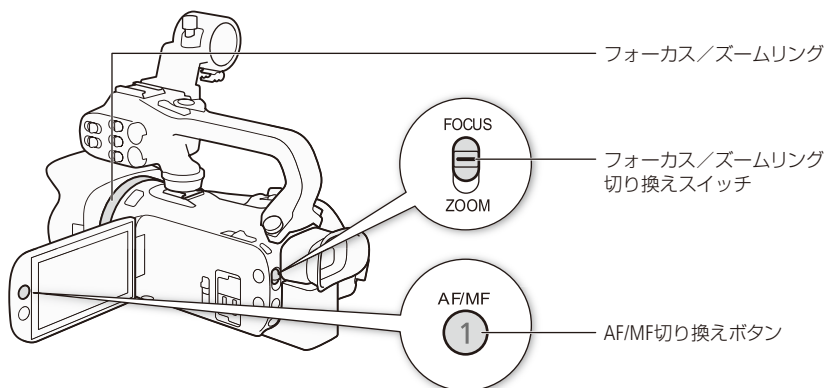
CAMERA MEDIA

フォーカス調整のしかたには、マニュアルフォーカスとオートフォーカスがあります。マニュアルフォーカスでは、フォーカス位置のプリセットが使用でき、オートフォーカスでは、人物の顔を検出してフォーカスを自動的に合わせる「フェイスキャッチ&追尾」が使用できます。

MF(マニュアルフォーカス)で調整する

フォーカス/ズームリングを回して、手でフォーカス調整を行います。フォーカス/ズームリングの回転速度に応じてフォーカスが移動します。フォーカス/ズームリングの操作方向、感度をメニューで設定することができます(118)。画面上の被写体をタッチしてフォーカスを自動調整した後で、手で微調整することもできます。

撮
影



カメラモード **AUTO* M**

* フォーカス/ズームリングによる調整のみ可能。



1 フォーカス/ズームリング切り換えスイッチをFOCUSにする



2 フォーカス/ズームリングだけで調整するとき AF/MF切り換えボタンを押す

- マニュアルフォーカスに切り換わると、画面にMFが表示される(操作5へ)。

[FUNC]

画面の被写体をタッチしてフォーカス調整するとき **[FUNC]** を選ぶ



3 フォーカスを選ぶ

- ① (フォーカス)を選ぶ。
 - フォーカス調整画面が出る。



4 画面上の被写体をタッチする

- ① 画面の枠内の、ピントを合わせたい被写体をタッチする。
 - タッチした場所に が点滅してピントが自動で調整された後、マニュアルフォーカスになる。



オートフォーカスに戻すとき **A** を選ぶ。



5 フォーカス／ズームリングを回して、フォーカスを調整する

- 操作中は、操作方向の目安として被写体との距離表示が数秒間出る。



6 フォーカス画面が表示されているとき **X** を選ぶ

MEMO

- ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- 電源を入れたままで放置するとピントがボケることがあります。これはレンズとカメラ内部の温度上昇によってピント面がわずかに移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。
- フォーカス／ズームリングの有効／無効や操作方向、敏感度をメニューで変更することができます (118)。

フォーカスプリセットを使う

マニュアルフォーカスのときはフォーカス位置をプリセットでき、プリセットしたフォーカス位置にフォーカスを合わせることができます。

カメラモード **AUTO** **M**

フォーカス位置をプリセットする

FUNC



1 FUNCメニューでマニュアルフォーカスにする

- ① 「MF(マニュアルフォーカス)で調整する」の操作1～5を行う。
 - フォーカス調整後の被写体までの距離が、枠内とフォーカスプリセットボタンに表示される。

2 フォーカスプリセットボタンを押す

- フォーカスプリセットボタンの指標がオレンジに変わり、被写体までの距離が保持される。
- もう一度フォーカスプリセットボタンを押すと設定が解除される。



フォーカスプリセットボタン

プリセットしたフォーカス位置に戻る

PRESET

1 押す

- フォーカスがプリセットした位置に調整され、固定される。
- フォーカスやズームの調整中、**PRESET** は灰色になり押せない。



0.1m

プリセット位置をキャンセルするとき
フォーカスプリセットボタンを押す。

MEMO

- 電源を切るとプリセットしたフォーカス位置は解除されます。
- カメラ設定メニュー ▶ 「フォーカスP.スピード」で、プリセットした位置にフォーカスが移動するときの速さを選べます。

フォーカスアシスト機能を使う

フォーカスを調整するとき、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示を使うと、ピントが合わせやすくなります。ピーキングと拡大表示を同時に使うこともできます。

カメラモード **AUTO** **M**

ピーキングを使う

FUNC 🔍 📏	1 ピーキング色を選ぶ ① FUNC ▶ 🔍 (フォーカス) ▶ 📏 を選ぶ。 ② いすれかのピーキング色を選ぶ ▶ 🔄 を選ぶ。	
PEAK ✕	2 ピーキングを表示する ① PEAK を押す。 ● ピントの合った被写体の輪郭に色が表示される。 ● 「ピーキング時白黒」が「入」のときは、画面の映像が白黒になり、ピーキング色がさらに強調される。 ピーキングを使わないとき もう一度 PEAK を押す。 ② ✕ を選ぶ。	

拡大表示を使う

FUNC MAGN.	1 拡大表示を有効にする ① FUNC ▶ MAGN. (拡大表示) ▶ 「実行」を選ぶ。 ● 画面に MAGN. が表示され、画面の中心部が2倍*に拡大される。 * 顔検出枠や追尾枠が表示されているときは、枠を中心に拡大される。 ● 拡大領域の位置を示す表示が画面に出る。	
🔄 (SET)	2 必要に応じて拡大位置を移動させる ① 画面をドラッグするかジョイスティックを上下左右に押して、拡大位置を移動させる。 ● ✕ を選ぶと拡大表示が解除される。	

MEMO

- ピーキングと拡大表示は画面にのみ表示され、出力端子から出力される映像には表示されません。また、記録される動画／静止画には影響しません。
- カラーバーの表示中は拡大表示できません。
- アサインボタンに「拡大表示」を割り当てると、アサインボタンを押して拡大表示をON / OFFできます（□ 93）。
- 拡大表示は動画の撮影開始時に解除されますが、撮影中でもON / OFFすることができます。

AF(オートフォーカス)で調整する

オートフォーカスは、画面の中央部にある被写体にピントが合うように、フォーカスを常に自動調整します。自動的にピント合わせが可能なのは1cm（ワイド端、レンズ先端から）～∞（無限遠）または60cm（ズーム全域、レンズ先端から）です。

カメラモード **AUTO M**



1

MF(マニュアルフォーカス)モードのとき
AF/MF切り換えボタンを押してAFに切り換える

AF(オートフォーカス)のスピードを選ぶ



1 AFモードを選ぶ

- ① 2 カメラ設定メニュー ▶ 「AFモード」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **X**を選ぶ。

SAF (ハイスピードAF)

もっとも高速でAF動作を行います。高輝度、夜景などでも効果的です。外部センサーを併用します。

MAF (ミディアムスピードAF)

ハイスピードAFに比べてより滑らかな動作を行います。外部センサーを併用します。

AF (ノーマルAF)

安定したAF動作を行います。

MEMO

AFモードが設定できないとき

次の場合、AFモードはノーマルAFになります。

- カメラ設定メニュー ▶ 「コンバージョンレンズ」を「切」以外に設定しているとき。
- 赤外線撮影がONのとき。
- オートフォーカス中にフォーカス／ズームリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになり、操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。
- 撮影モードが 罨 (打上げ花火) の場合、ピントは ∞ (無限遠) で固定となります。
- フレームレートが「29.97P」または「23.98P」の場合、「59.94P」のときよりもフォーカスが合うまでに若干時間がかります。

小絞りボケについて

晴れた日の屋外など明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込まれ、小絞りによるボケが生じます。このボケは、テレ側よりワイド側の方が目立ちます (被写体が小さく撮影されるため)。この場合、撮影モードが **P**、**Tv**、**Av**、**M** のときは、NDフィルターを「オート」にしてください (118)。

- 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見えることがあります。

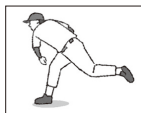
自動でピントが合いにくいときはどんなとき？



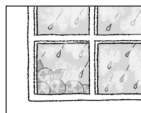
強い光が反射



画面の中央に
明暗の差がない



動きが速い



水滴が付いている
ガラス越しの撮影



夜景

- 遠近の被写体が同時に含まれるとき。

■ 顔を検出してAFやAEを合わせる（フェイスキャッチ&追尾）

オートフォーカスのときに、人物の顔を検出して自動的にピントや明るさを調整します。顔が検出されないときはオートフォーカスで調整します。複数の顔を検出した場合、メインの被写体を変えたいときは、その人物の顔をタッチします。人物以外にもペットなどの動いている被写体をメインの被写体にできます（追尾）。被写体を選ぶときはタッチパネルで操作してください。

カメラモード **AUTO** M



ON



1 フェイスキャッチ&追尾を選ぶ

- カメラモードが **AUTO**（オート）の場合、この操作は不要。

- ① 2 カメラ設定メニュー ▶ 「フェイスキャッチ&追尾」を選ぶ。
- ② **ON**（入） を選ぶ。

解除するとき **OFF**（切）を選ぶ。

- ③ **X** を選ぶ。



2 カメラを人物に向ける

- メインの被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。

特定の人やペットを選ぶとき

特定の人物をタッチする。

- タッチした被写体に白い2重枠が出る。
- 被写体が動くと、自動で枠も一緒に動く。

解除するとき

「 OFF」を押す。



フェイスオンリー AFを使う

オートフォーカスのときに、人物の顔を検出して自動的にピントや明るさを調整します。顔が検出されないときはマニュアルフォーカスになります。アサインボタンに「フェイスオンリー AF」を割り当て、アサインボタンを押して「フェイスオンリー AF」のON / OFFを切り換えます（ 93）。フェイスオンリー AFをONにすると が表示されます。

カメラモード **AUTO** M

MEMO

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。その場合は「フェイスキャッチ&追尾」を「切」にしてください。
- 「フェイスキャッチ&追尾」を「入」にしているとき、シャッタースピードは1/30秒以上*に設定されます。
* メニューの「フレームレート」を「23.98P」にしているときは、1/24秒以上。
- 被写体の特徴的な部分（色など）をタッチすると追尾しやすくなります。なお、タッチした被写体と特徴が似ている被写体が周囲にあると、別の被写体を追尾することがあります。そのときは、追尾対象の被写体を選び直してください。

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して、極端に小さいまたは大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔が上下逆さのとき、顔の一部が隠れたりしているとき。

フェイスキャッチ&追尾、フェイスオンリー AFが使用できない場合

- 撮影モードが  (夜景)、 (ローライト)、 (打上げ花火)のとき。
- シャッタースピードが1/30秒未満*のとき。
* メニューの「フレームレート」が「23.98P」のときは、1/24秒未満。
- デジタルズームで80倍を超えて拡大しているとき。
- 赤外線撮影がONのとき。

タッチ追尾が働かない場合

- 被写体が大きすぎるとき。
- 被写体が画面上で非常に小さいとき。
- 被写体と背景が似ているとき。
- 被写体のコントラストがないとき。
- 高速で動く被写体を撮影するとき。
- 暗い室内などで撮影するとき。

フェイスオンリー AFが解除される場合

- 電源スイッチ、カメラモード切り換えスイッチ、INFRARED切り換えスイッチを操作したとき。
- 「フェイスキャッチ&追尾、フェイスオンリー AFが使用できない場合」の条件を満たしたとき。
- AF / MFを切り換えたとき。
- 「フェイスオンリー AF」を割り当てたアサインボタン／タッチアサインボタンがなくなったとき。

手ブレ補正を使う

CAMERA

MEDIA

手持ちで撮影するときに手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。補正方式は次の2種類があり、撮影のしかたによって選べます。また、静止して望遠撮影するときは、パワードISを使うと大きな手ブレを抑えることができます。

- 📷切：三脚を使って撮影するときなど、手ブレ補正を使用しないとき。
- 📷スタンダード：静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。
- 📷ダイナミック：歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど効果が大きい。

カメラモード AUTO M



- 1 ① 3 カメラ設定メニュー ▶ 「手ブレ補正」を選ぶ。
② いずれかを選ぶ ▶ Xを選ぶ。

望遠撮影時の大きな手ブレをおさえる（パワードIS）

パワードISを使うと、静止して望遠撮影するときの大きな手ブレを抑えることができます。補正効果は、ズームを望遠側にするほど大きくなります。パンやチルトなどカメラを動かす撮影には向きません。パワードISを使うときは、アサインボタン (📷 93) に「パワードIS」を割り当てて操作します。

「パワードIS」を割り当てたアサインボタン*を押し続ける。

- 押している間、画面に📷が出る。

* 操作のしかたは、📷カメラ設定メニュー ▶ 「パワードISボタン」で選べます (📷 118)。



MEMO

- 手ブレが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- カメラを左右や上下に動かして撮るときは、手ブレ補正を「ダイナミック」または「スタンダード」にすることをおすすめします。
- 手ブレ補正を「切」に設定している場合でも、「パワードIS」を割り当てたアサインボタン (📷 93) の操作によりパワードISは有効になります。
- パワードISは、電源スイッチを操作するとOFFになります。

「ダイナミック」について

- 手ブレ補正を「ダイナミック」以外にしているときと、撮影画角が異なる。
- 大きな手ブレを補正すると、画像の周辺の画質が劣化（ゴースト、ひすみ、暗くなるなど）することがある。

タイムコードを設定する

CAMERA

MEDIA

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともにカードに記録されるほか、HDMI OUT端子に出力できます。HDMI OUT端子へのタイムコード出力は、メニューで入/切できます (M 121)。ドロップフレームとノンドロップフレームを選択することもできます。

カメラモード **AUTO** M

■ カウントアップ方式を選ぶ

タイムコードモード	タイムコードラン	内容
Preset (プリセット)	Rec Run (レックラン)	タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値 (タイムコードスタート値) は任意に設定可能。同一のカードに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。
	Free Run (フリーラン)	タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。
Regen. (リジェネ)	—	タイムコードは記録時に歩進する。カードに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。同一のカードに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。



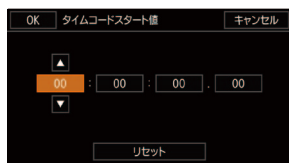
1 タイムコードモードを選ぶ

- ① 2 記録設定メニュー ▶ 「タイムコードモード」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ➡ を選ぶ。
 - 「Regen.」を選んだときは、✕を選んで終了する。



2 「Preset」を選んだとき タイムコードランを選ぶ

- ① 2 記録設定メニュー ▶ 「タイムコードラン」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ➡ を選ぶ。



3 タイムコードスタート値を設定する

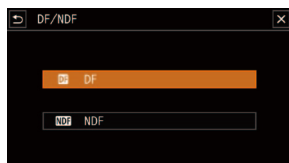
- ① ③ 記録設定メニュー ▶ 「タイムコードスタート値」を選ぶ。
 - 初期値の設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。
- ② ▲/▼を押して数値を選ぶ。
 - 「リセット」を押すと、タイムコードが「00:00:00.00」にリセットされ、1つ前の画面に戻る。「Free Run」を選んでいるときは、リセット後のタイムコードから歩進を続ける。
 - 設定を途中で中止するときは「キャンセル」を押す。
- ③ ②の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ ▶ 「OK」を押す。
 - 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。
- ④ ✕を選ぶ。

MEMO

- タイムコードのフレームカウントは、「フレームレート」が「23.98P」のときは0～23、それ以外は0～29となります。
- スロー&ファストモーション記録モードのときは「Free Run」は使用できません。また、プレ記録のときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- スロー&ファストモーション記録モードのときは、HDMI OUT端子にタイムコードを出力できません。
- 内蔵の充電式電池が充電されていれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。ただし、電源ON時に比べて精度が低下します。

ドロップ／ノンドロップフレームを切り換える

ドロップフレーム (DF) とノンドロップフレーム (NDF) を切り換えられます。なお、「フレームレート」が「23.98P」のときはNDFに固定されます。



- ① ③ 記録設定メニュー ▶ 「DF / NDF」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ✕を選ぶ。
 - DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。
 DFのとき 00:00:00.00
 NDFのとき 00:00:00.00

MEMO

- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。

ユーザービットを設定する

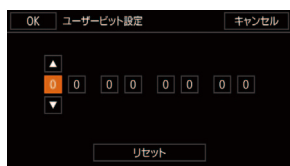
CAMERA

MEDIA

8桁の16進数(0～9、A～Fの英数字)をユーザービットとして設定し、HDMI OUT端子から出力できます。ユーザービットには撮影情報や映像の管理情報など、映像に付加したい情報を自由に設定することができます。また、時刻や日付(年月日)をユーザービットとして出力することもできます。

カメラモード **AUTO** M

■ 任意の16進数を設定する



- ① 記録設定メニュー ▶ 「ユーザービットタイプ」 ▶ 「**SET** 設定」 ▶ を選ぶ。
 - ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
- ② 変更したい桁を押したあと、▲/▼を押して数値を選ぶ。
 - 「リセット」を押すと、ユーザービットが「00 00 00 00」にリセットされ、1つ前の画面に戻る。
 - 設定を途中で中止するときは「キャンセル」を押す。
- ③ ②の操作を繰り返して、残りの桁の数値を選ぶ ▶ 「OK」 ▶ **×**を押す。

■ 時刻または日付を設定する



- ① 記録設定メニュー ▶ 「ユーザービットタイプ」を選ぶ。
- ② 「**TIME** 時刻」または「**DATE** 日付」を選ぶ ▶ **×**を選ぶ。

MEMO

- ユーザービットは、カードに記録するクリップには記録されません。

音声を記録する

CAMERA

MEDIA

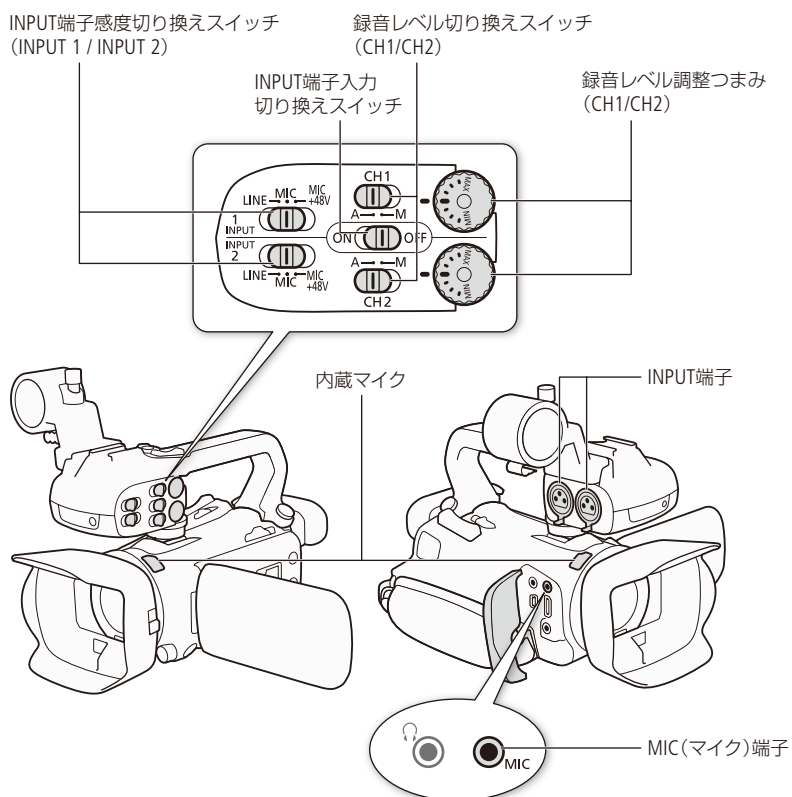
本機では、4チャンネルのリニアPCM記録方式または2チャンネルのAAC記録方式で、音声を記録／再生できます。サンプリング周波数は48 kHz、量子化ビット数は16ビットです。収録する音声は、内蔵マイク、外部マイク入力 (MIC端子／INPUT端子*)、外部ライン入力 (INPUT端子*) から選択できます。INPUT 1端子／INPUT 2端子の入力音声は、それぞれ個別に選択できます。

HDMI OUT端子から出力される映像信号には音声信号が重畳されます。この音声信号を外部レコーダーで記録することもできます。

* ハンドルユニットHDU-1 (別売) 装着時のみ。

カメラモード
AUTO M

撮影



■ 記録音声と必要な設定

各チャンネルに記録される入力音声は、オーディオ形式、ハンドルユニットの有無、INPUT端子入力切り換えスイッチの状態、MIC端子の接続の有無、メニューの設定から決まります。

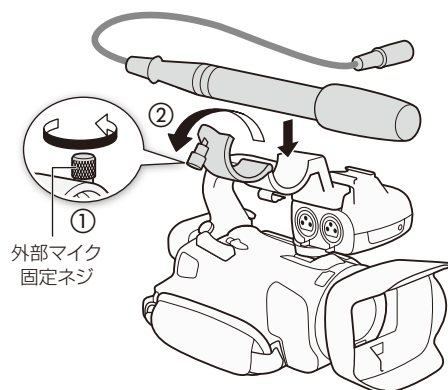
記録音声					必要な設定					
オーディオ形式	CH1	CH2	CH3	CH4	ハンドルユニットの装着	INPUT端子入力切り換えスイッチ	MIC端子のマイク接続	「CH2入力」*1		
LPCM 16bit 4CH*2	INPUT 1端子	INPUT 2端子	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)	有	ON	有	INPUT 2		
		INPUT 1端子						INPUT 1		
		INPUT 2端子	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)			無	OFF	無	INPUT 2
		INPUT 1端子								INPUT 1
	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)			有	—				
	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)			無					
	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)			有					
	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)			無					
AAC 16bit 2CH	INPUT 1端子	INPUT 2端子	—	—	有	ON	—	INPUT 2		
		INPUT 1端子						INPUT 1		
	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)				OFF	有	—		
	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)					無			
	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)			無	—	有	—		
	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)					無			

*1 ❶オーディオ設定メニュー > 「CH2入力」の設定 (123)。

*2 解像度が1280×720以外のときのみ。

■ 外部マイク／外部ライン入力機器を本機に接続する

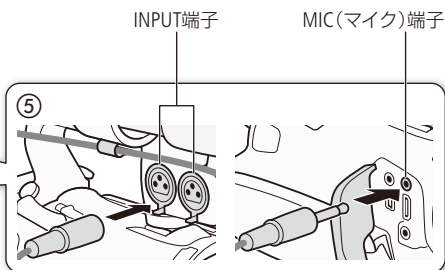
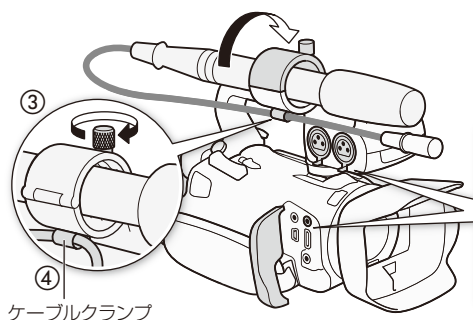
INPUT端子にはXLRコネクタの外部マイク／外部ライン入力機器を、MIC（マイク）端子にはΦ3.5mmステレオミニプラグの外部マイクを接続できます。マイクホルダーやINPUT端子を使用するときは、ハンドルユニットHDU-1(別売)を取り付けてください(□ 21)。



1 マイクのとき 外部マイク固定ねじをゆるめ (①)、外部マイクホルダーを開く (②)

2 マイクのとき 外部マイクを取り付けて固定し (③)、ケーブルをクランプにとめる (④)

3 外部マイク／外部ライン入力機器のケーブルを本機に接続する (⑤)



■ 音声記録形式を選ぶ

音声の記録形式を、リニアPCM記録方式（4ch、16ビット）とAAC記録方式（2ch、16ビット）から選択できます。解像度が1280×720のときは、AAC記録方式のみのため、音声記録形式は選択できません。



- ① 1 記録設定メニュー ▶ 「MP4 オーディオ形式」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **X**を選ぶ。

MEMO

- 汎用性を優先するときはAAC記録方式を、音質を優先するときはリニアPCM記録方式を使用してください。

■ 外部マイク（INPUT端子）／外部ライン入力（INPUT端子）の音声を選択する



1 INPUT端子入力切り換えスイッチをONにする

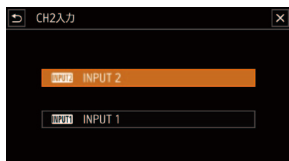


2 INPUT 1端子とINPUT 2端子のINPUT端子感度切り換えスイッチをLINE（ライン）またはMIC（マイク）にする

- ファンタム電源が必要なマイクを使うときはMIC+48Vに切り換える。ファンタム電源をONにするときはマイクを接続してから行い、OFFにするときは接続したまま行う。

CH2に記録する入力音声を選ぶ

CH2に録音する入力音声をINPUT 1端子とINPUT 2端子から選択できます。CH1にINPUT 1端子の音声を記録し、CH2にINPUT 1端子の音声のバックアップを記録するときなどに使用します。その場合、CH1 / CH2の録音レベルを独立して設定することもできます。



- ① 1 オーディオ設定メニュー ▶ 「CH2入力」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **X**を選ぶ。

INPUT 2 INPUT 1 / INPUT 2端子の入力をそれぞれCH1 / CH2として録音する。

INPUT 1 INPUT 1端子の入力をCH1 / CH2の両方に録音する。
INPUT 2端子の音声は録音されない。

MEMO

- 「CH2入力」に「INPUT 1」を選んだときのCH2に記録される音声は、CH2の設定（オート／マニュアル、録音レベル）が適用されます。

■ 外部マイク（INPUT端子）の録音レベルを調整する

INPUT端子の録音レベルはチャンネルごとにオート／マニュアルを個別に設定できます。

オートで調整する



1 録音レベル切り換えスイッチをA（オート）にする

- そのチャンネルの録音レベルがオートになり、自動調整されます。

INPUT端子のCH1とCH2の録音レベル調整を連動させる

INPUT 1 / INPUT 2端子が同じ音声入力（外部ラインまたは外部マイク）に設定されている場合、**🔊**オーディオ設定メニュー ➤ 「INPUT 1/2 ALCリンク（📖 123）」を「連動」にすると、両端子のレベル調整を連動させることができます。

「連動」に設定した場合、CH1の録音レベル切り換えスイッチと録音レベル調整つまみで、2チャンネル分をまとめて調整できます。

マニュアルで調整する

CH1/CH2の録音レベルをそれぞれ個別に手動調整できます。調整は $- \infty \sim +18$ dBの範囲で行うことができます。



1 録音レベル切り換えスイッチをM（マニュアル）にする



2 録音レベル調整つまみを回して、調整する

- つまみのMIN(−∞) ～ 中央の調整位置 (0dB) ～ MAX(+18 dB)の範囲で録音レベルを調整する。
- レベルメーターの表示が−18dB(−20dBのひとつ右隣)より右が時々点灯する状態を目安に調整することをおすすめします。

MEMO

- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- レベルメーターが適切に表示されているのに音がひずむときは、アッテネーターを使用してください(☞ 79)。
- 録音レベルを調整したり、アッテネーターを使用したりしているときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします(☞ 83)。

音声信号レベルを制限する

過大な音声入力によるひずみを防止するために、音声信号レベルを制限することができます。録音レベルをマニュアルで調整するときに、入力信号がひずみ始めるレベルになると自動的に信号レベルを制限してひずみを低減します。CH1とCH2のいずれかがマニュアルレベル調整のときに設定できます。設定は、🎧1 オーディオ設定メニュー ▶ 「INPUT 1/2 リミッター」(☞ 123)で行います。

外部マイク (INPUT端子)の入力感度を選ぶ

INPUT 1 / INPUT 2端子の入力感度を選択します。INPUT端子感度切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに、使用できます。



- ① 🎧1 オーディオ設定メニュー ▶ 「INPUT 1マイクトリミング」または「INPUT 2マイクトリミング」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ✕を選ぶ。

外部マイク (INPUT端子)のアッテネーターを使う

INPUT 1 / INPUT 2端子の信号に対し、アッテネーター (20dB) を使用します。INPUT端子感度切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに、使用できます。



- ① **🔊**1 オーディオ設定メニュー ▶ 「INPUT 1マイクアッテネーター」または「INPUT 2マイクアッテネーター」を選ぶ。
- ② 「**ON (入)**」を選ぶ ▶ **✕**を選ぶ。
 - マイク信号は20dB減衰する。

内蔵マイク／外部マイク (MIC端子)の音声を選択する

MIC端子にマイクを接続すると、内蔵マイクからMIC端子へ自動的に切り換わります。

- | | |
|--|---|
| | 1 ハンドルユニット (別売)を装着していて、INPUT端子を使用しないとき INPUT端子入力切り換えスイッチをOFFにする |
| | 2 プラグインパワー対応外部マイクを使うとき MICパワーを有効にする <ol style="list-style-type: none"> ① 🔊3 オーディオ設定メニュー ▶ 「MICパワー」を選ぶ。 ② 「入」 ▶ ✕を選ぶ。 |

ご注意

- 電源供給が不要な外部マイクを接続して、「MICパワー」を「入」にすると、外部マイクが故障する恐れがあります。

外部マイク (MIC端子)の2つのチャンネルの録音レベルを独立して調整する

🔊オーディオ設定メニュー ▶ 「MIC ALCリンク」(123)を「独立」にすると、外部マイク (MIC端子)に割り当てた2チャンネル (LとR)のレベルを独立して調整することができます。

[FUNC] ▶ **🔊**(オーディオ)で、チャンネルごとに調整できます。

■ 内蔵マイク／外部マイク (MIC端子)の録音レベルを調整する

内蔵マイクや外部マイク (MIC端子)の録音時の音量 (マイクレベル)を手動で調整できます。



1 調整画面を出す

- ① **[FUNC]** ▶ **♪** (オーディオ)を選ぶ。



2 チャンネルと調整方法を選ぶ

- ① 「CH1/2」または「CH3/4」を選ぶ。
 - 「MIC ALCリンク」が「独立」のときは、外部マイク (MIC端子) が割り当てられたチャンネルのうち、調整するチャンネルを選ぶ。
- ② **♪A** (オート)または**♪M** (マニュアル)を選ぶ。

3 **♪M (マニュアル)**を選んだとき 録音レベルを調整する

- ① **◀ / ▶**を押して調整する。
 - レベルメーターの表示が-18dB (-20dBのひとつ右隣) より右が時々点灯する状態を目安に調整することをおすすめします。
 - 調整した位置で録音レベルが固定される。

4 **×**を選ぶ。

MEMO

- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- レベルメーターが適切に表示されているのに音がひずむときは、アッテネーターを使用してください (□ 79)。
- 録音レベルを調整したり、アッテネーターを使用したりしているときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします (□ 83)。

内蔵マイクの入力感度を選ぶ

収録する音に合わせて感度を選択できます。



- ① 2 オーディオ設定メニュー ▶ 「内蔵マイク感度」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **X**を選ぶ。

NORM ノーマル 通常のレベルの音を録音するとき。

HIGH ハイ より大きな音量 (+6 dB) で録音するとき。

内蔵マイク／外部マイク (MIC端子) のアッテネーターを使う

内蔵マイク／外部マイク (MIC端子) の信号に対して、大音量の音声が入りすぎないようにアッテネーター (20 dB) を使用します。



- ① 2 オーディオ設定メニュー ▶ 「内蔵マイクアッテネーター」または「MICアッテネーター」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **X**を選ぶ。

A (オート) カメラがマイク音量に合わせて、アッテネーターを自動的に入／切する。大音量は入りすぎない音量に、大音量以外は最適な音量で記録できる。

ON (入) アッテネーターが常に働き、音の強弱をより忠実に記録できる。「入」にすると画面に **ATT** が出る。

OFF (切) アッテネーターは常に働かない。「切」にすると画面に **A OFF** が出る。

内蔵マイク／外部マイク（MIC端子）のローカットを使う

屋外で撮影するときに発生する風の音や、低音を低減します。風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは、「切」を選びます。



- ① 2 オーディオ設定メニュー ▶ 「内蔵マイクローカット」または「MICローカット」を選ぶ。
- ② 「ON 入」を選ぶ ▶ **X**を選ぶ。

ヘッドホンを使う

CAMERA MEDIA

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。

カメラモード **AUTO** M

■ ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する

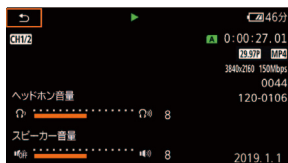
ヘッドホンを○(ヘッドホン)端子に接続して、撮影／再生時の音声をヘッドホンでモニターできます。



- ① ④ 3 オーディオ設定メニュー ▶ 「ヘッドホン音量」を選ぶ。
- ② ○または○を押して調整する。
 - メーターを左右にドラッグしても調整できる。
- ③ ✕を選ぶ。
 - 調整した位置で音量が固定される。

■ 再生中にヘッドホン音量を調整する

CAMERA MEDIA



1 再生中 音量を調整する

- ① 画面上をタッチして、操作ボタンを出す。
- ② ○/○を選ぶ。
- ③ ヘッドホン音量の○または○を押して音量を調整する。

ご注意

- ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。

カラーバー／テストトーンを記録する

CAMERA

MEDIA

カラーバー & テストトーン

テレビや外部モニターの色や明るさの調整用に、カラーバーを出力／記録することができます。また同時に1kHzのテストトーンを出力／記録することもできます。カラーバーとテストトーンは次の端子にも出力されます。

	カラーバー	1 kHzテストトーン
HDMI OUT端子	●	●
Ω(ヘッドホン)端子	—	●

カメラモード **AUTO** M

カラーバーを記録する

出力／記録するカラーバーは、SMPTE準拠とARIB準拠のいずれかを選べます。



- ① 記録設定メニュー ▶ 「カラーバー」を選ぶ。
- ② 「SMPTE」または「ARIB」を選ぶ。
 - 画面にカラーバーが表示される。
- ③ ✕を選ぶ。
 - START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーを記録できる。

MEMO

- スロー&ファストモーション記録と同時に使用することはできません。

テストトーンを記録する

カラーバーとともに1 kHzのテストトーンを出力／記録することができます。本機を他機につないで再生する場合、本機のテストトーンを使って接続した機器のレベルを調整することができます。テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて、-12dB、-18dB、-20dBから選べます。



- ① 記録設定メニュー ▶ 「1 kHz トーン」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ✕を選ぶ。
 - 選択したレベルのテストトーンが出力される。
 - START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーとテストトーンを記録できる。

プレ記録を行う

CAMERA

MEDIA

START/STOP(スタート/ストップ)ボタンを押して撮影を開始する約3秒前からの映像と音声を記録することができます。

カメラモード **AUTO** M

PRE REC



1 押す

- 画面に📷が出る。_____
- 解除するとき
もう一度PRE RECボタンを押す。

START/
STOP

2 押す

- ボタンを押す3秒前からの映像が記録される。

撮
影

MEMO

- プレ記録の設定直後や撮影終了後から約3秒以内に撮影を始めると、3秒前からの映像は記録されません。
- スロー&ファストモーション記録と同時に使用することはできません。

プレ記録が解除される場合

- 電源スイッチ、カメラモード切り換えスイッチを操作したとき。
- メニューを表示したとき。
- 撮影モード、ホワイトバランス、ルックの設定を変更したとき。
- カードカバーを開けたとき。カードの空き容量がなくなったとき。

プレ記録中のタイムコード

- タイムコードの記録は、撮影開始操作からプレ記録時間分さかのぼった時点から行われる。
- Free Run(フリーラン)で記録される。
- Rec Run(レックラン)またはRegen.(リジェネ)に設定しているときにプレ記録モードにすると、強制的にFree Runに設定される。
- プレ記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。

画面の表示を切り換える

CAMERA MEDIA

画面に表示する撮影情報などを切り換えられます。

カメラモード **AUTO** M



1 押す

- 表示される撮影情報は、押すたびに切り換わる。

表示される内容や切り換わりかた

動画撮影中	すべて表示 → (マーカー表示) *1	→ 表示なし
動画再生中*2 静止画再生中*2	▶ 再生設定メニュー ▶ 「データコード表示」の設定情報を表示	→ すべて表示

*1 ☒表示設定メニュー ▶ 「マーカー表示」を設定しているときのみ表示される。

*2 DISPボタンを押したり、画面をタッチしたりすると、設定内容にかかわらず操作ボタンが出る。

赤外撮影 (Infrared)を行う

CAMERA MEDIA

Infrared (赤外撮影) モードを使うと、通常の撮影に比べて近赤外線の受光感度が上がるため、暗い撮影シーンでも明るく撮影できます。また、ハンドルユニットHDU-1(別売)装着時は、HDU-1に付属の赤外ライトを使えば、より明るく撮影できます。なお、赤外撮影色(高輝度部分色)は、白または緑から選択できます。

カメラモード **AUTO M**

撮
影

	1 INFRARED(赤外撮影)切り換えスイッチをONにする	● Infraredモードになり、画面に IR が表示される。
	2 赤外撮影色を選ぶ	①  5 カメラ設定メニュー ▶ 「赤外撮影色」を選ぶ。 ② いずれかを選ぶ。
	3 必要に応じて、赤外ライトを点灯する	①  を選ぶ。 ②  4 カメラ設定メニュー ▶ 「赤外ライト」▶ 「ON」(入)を選ぶ。
	4 ×を選ぶ	● 赤外ライトを点灯すると、画面に  ON が表示される。

MEMO

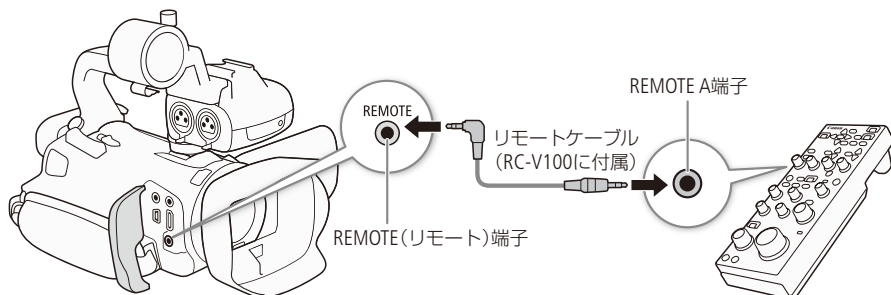
Infraredモード中の設定

- 絞りは開放に固定、NDフィルターは退避状態で固定、シャッタースピードとゲインはオートになる。
 - 露出補正、AGCリミット、自動逆光補正、強制逆光補正、フェイスキャッチ&追尾はOFFに固定。
 - フォーカスはinfraredモード移行時にAF(ノーマルAF)*になり、AFモードは固定。距離表示は灰色表示となる。
* AF / MFの切り換えは可能。
 - ホワイトバランスは赤外撮影用設定に固定。
 - 撮影モード、ルックは設定不可。
-
- 光源の種類によっては、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。
 - 赤外撮影時は近赤外光の感度を大幅にアップしているため、赤外撮影に切り換えるときには、強い光や熱源をレンズに向けしないでください。強い光や熱源が被写体内にある状態で赤外撮影に切り換えるときは、レンズを遮光した状態での切り換えを推奨します。
 - アサインボタン(□ 93)に「赤外ライト」を割り当てて、赤外ライトのON / OFFを切り換えることもできます。

RC-V100でリモート撮影する

CAMERA MEDIA

本機のREMOTE端子 (12) にリモートコントローラー RC-V100 (別売) を接続すると、リモートで操作できます。電源の入／切やメニュー操作に加えて、撮影時は、アイリス、シャッタースピードなどのカメラ設定ができます。接続のしかたやRC-V100の詳細については、RC-V100の説明書をご覧ください。



カメラモード **AUTO** **M**



1 POWER (電源) スイッチをOFFにして、RC-V100を本機につなぐ



2 POWER (電源) スイッチをCAMERAにする



3 RC-V100を有効にする

- ① ② システム設定メニュー ▶ 「REMOTE 端子」を選ぶ。
- ② 「RC-V100 RC-V100 (REMOTE A)」 ▶ ✕ を選ぶ。



MEMO

本機で動作しないボタン／ダイヤル

- CANCEL ボタン
- SHUTTER SELECT ボタン
- AUTO KNEE ボタン
- BLACK GAMMA LEVEL ダイヤル
- MASTER BLACK R / B ダイヤル
- AUTO IRIS ボタン
- AGC ボタン
- KNEE POINT ダイヤル
- SHARPNESS LEVEL ダイヤル
- MASTER PEDESTAL ダイヤル
- ND 切り換え ボタン
- CUSTOM PICT. ボタン
- KNEE SLOPE ダイヤル
- WHITE BALANCE R / B ダイヤル

GPSレシーバー GP-E2を使う

CAMERA MEDIA

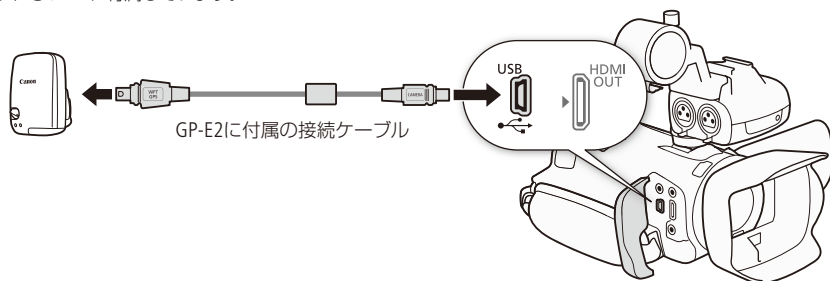
本機のUSB端子にGPSレシーバー GP-E2(別売)を接続して撮影すると、GPSから取得した位置情報(経度、緯度、標高)と協定世界時(UTC)からなるGPS情報を動画や静止画に記録できます。記録されたGPS情報は、クリップ情報画面または静止画再生画面に表示されます。

カメラモード **AUTO M**

■ GPSレシーバーを接続する

GP-E2の電源を切り、接続ケーブル*を使って本機のUSB端子に接続します。撮影時は、携帯用ケース*に入れ、本機のグリップベルトまたは腰に取り付けて使用することをお勧めします。GP-E2の取り付け方や詳細については、GP-E2の説明書をご覧ください。

* いずれもGP-E2に付属しています。



■ GPSを有効にする

① GP-E2 電源を入れる。

- GPS機能が有効になる。画面に✧が点滅表示されGPS衛星を探索する。
- 衛星を捕捉すると✧が点灯し、以降に記録するクリップ/静止画にGPS情報が付加される。

日時を自動的に設定する

GPSから取得した時刻情報を使って本機の日時を自動的に設定できます。



- ① 3 システム設定メニュー ▶ 「GPS自動時刻設定」を押す。
- ② 「ON 自動更新」▶ ✕を押す。
 - 以降、本機を起動後、最初に時刻設定可能な衛星捕捉状態になったときに日時を自動設定する。
 - GPS自動時刻設定が有効のときは1 システム設定メニュー ▶ 「日付/時刻」を変更できません。

撮
影

ご注意

- GPSレシーバーは、使用する国／地域の法令等の規制に従って使用してください。国／地域によってはGPSの使用などが規制されていることがあります。国外で使用するときは特にご注意ください。
- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分ご注意ください。
- 記録されるGPS情報には、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS情報が記録された動画／静止画を他人に渡したり、インターネットなどの不特定多数の人々が閲覧可能な環境に掲載したりするときは、十分ご注意ください。
- GPSレシーバーは、磁石やモーターの近くなど強い磁気を発生する場所には絶対に置かないでください。

MEMO

- 動画の撮影中は時刻設定を行いません。
- 動画に記録されるGPS情報は、撮影開始時点の位置情報です。
- HDMI OUT端子に接続したケーブルを、GPSレシーバーの近くに配置しないでください。GPS情報に影響することがあります。
- GPSレシーバーにおいて、電池を交換したり、電源を長時間切ったりすると、GPS衛星からの信号の受信に時間がかかることがあります。
- 本機は、GP-E2の次の機能には対応していません。
 - 「自動時刻設定」の「今すぐ実行」
 - 「位置情報の更新間隔」
 - 「電子コンパス」(方位情報)



カスタマイズ

CUSTOMダイヤル／ボタンを使う 92

アサインボタンの機能を変更する 93

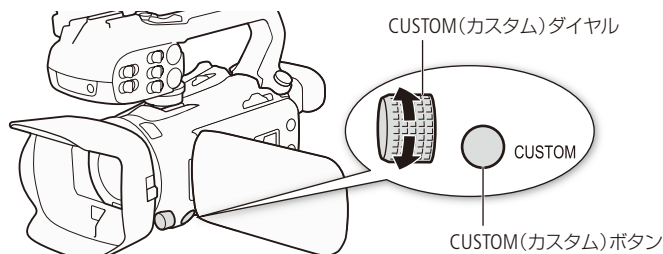
設定データの保存と読み出し..... 95

CUSTOMダイヤル／ボタンを使う

CAMERA

MEDIA

CUSTOM (カスタム) ボタンとCUSTOM (カスタム) ダイヤルに良く使う機能を割り当てておくと、CUSTOM ボタンとCUSTOMダイヤルを操作して、割り当てた機能の調整を行うことができます。

カメラモード **AUTO** **M**

割り当て可能な機能と操作

機能	CUSTOMボタン	CUSTOMダイヤル
TV/Av/M Tv / Av / M	撮影モードが M の場合： シャッタースピード、絞り値、ゲインを切り換える。	撮影モードが Tv または Av の場合： シャッタースピード／絞り値を調整する。 撮影モードが M の場合： CUSTOMボタンで選んだ項目の値を調整する。
AGC AGCリミット	AGCリミットのON / OFFを切り換える。	AGCリミットがONのとき、AGCリミット値を調整する。
露出補正	AEロックのON / OFFを切り換える。	露出補正値を調整する。



1 長押しする

- ① CUSTOMボタンを長押しする (約1秒)。



2 機能を選ぶ

- ① CUSTOMダイヤルを回して、いずれかの機能を選ぶ。
- ② CUSTOMボタンを押す。



設定した機能を解除するとき ①で **OFF** を選択する。



3 機能を調整する

- CUSTOMボタンとCUSTOMダイヤルを操作して、操作2で割り当てた機能を調整する。
- CUSTOMダイヤルの調整対象になっている値は、画面上ではオレンジ色で表示される。



MEMO

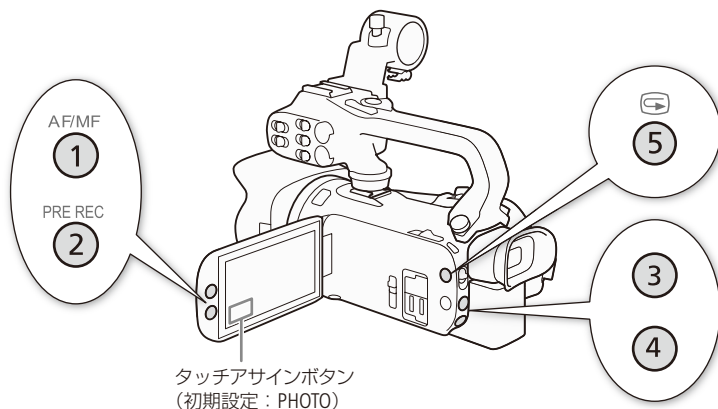
- **システム設定メニュー** ▶ 「CUSTOMダイヤル&ボタン」で機能を割り当てることもできます。

アサインボタンの機能を変更する

CAMERA MEDIA

カメラ本体に5個のアサインボタン、画面上に1個のタッチアサインボタンがあります。使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。

カメラモード **AUTO M**



割り当て可能な機能

機能名	内容
AF/MF AF/MF	AF(オートフォーカス)とMF(マニュアルフォーカス)を切り換える。
FS フェイスオンリー AF	フェイスオンリー AFのON / OFFを切り換える。
MAGN 拡大表示	拡大表示のON / OFFを切り換える。
IS 強制逆光補正	強制逆光補正のON / OFFを切り換える。
DIS パワードIS	パワードISのON / OFFを切り換える。
WB 白取り込み	ホワイトバランスの基準白色の取り込みを実行する。アサインボタンのみに割り当て可能。
WB 優先WB	優先ホワイトバランスのON / OFFを切り換える。
IR 赤外ライト*	Infraredモードのときに、赤外ライトのON / OFFを切り換える。
PRE REC	プレ記録のON / OFFを切り換える。
REVIEW レックレビュー	直前に撮ったクリップを再生する。
PHOTO Photo	静止画を記録する
CH/CH モニターチャンネル	Ω(ヘッドホン)端子から出力される音声のチャンネルを切り換える。押すたびに出力チャンネルが切り換わる。
MENU メニュー	メニューを表示／消去する。
OFF 切	機能割り当てなし。

* 使用するときには、ハンドルユニットHDU-1(別売)を取り付けてください(□ 21)。

■ 機能を変更する

CAMERA MEDIA

アサインボタンに割り当てる機能はカメラモードで変更できます。

例 アサイン3ボタンにフェイスオンリー AFを割り当てる場合



1 機能を割り当てる

- MENUボタンを押しながらアサイン3ボタンを押す。
 - アサイン3ボタンに割り当てる機能選択画面が表示される。
 - 🔍2 システム設定メニュー ➤ 「アサインボタン3」を選んで表示できる。
- 「🔍フェイスオンリー AF」を選ぶ ➤ ✕を選ぶ。



■ アサインボタンを使う

CAMERA MEDIA

必要なときに、機能を割り当てたアサインボタン／タッチアサインボタンを押して使用します。なお、「CH/CH モニターチャンネル」と「MENU メニュー」は、メディアモードでも使用できます。

設定データの保存と読み込み

CAMERA

MEDIA

FUNCメニュー、メニューで行った各種の設定情報を設定データとしてカードBに保存することができます。設定データは必要に応じて本機に読み込んで再利用できます。複数のカメラを同じ設定にするとときに便利です。

カメラモード **AUTO** M

■ 設定データをカードBに保存する

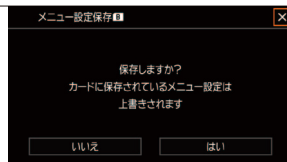


1 カードスロット **B** に保存先となるカードを入れる



2 設定データを保存する

- ① 3 システム設定メニュー > 「メニュー設定保存 **B**」 > 「保存」 > 「はい」を選ぶ。
 - 現在のメニュー設定がカードBに保存される。
- ② 「OK」 > **X** を選ぶ。



カメラメニュー

■ 設定データをカードから読み込む

カードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。

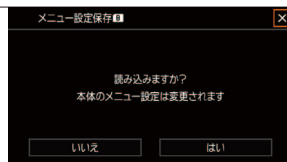


1 カードスロット **B** に読み込み元となるカードを入れる



2 設定データを読み込む

- ① 3 システム設定メニュー > 「メニュー設定保存 **B**」 > 「読み込み」 > 「はい」を選ぶ。
 - 本機が、カードから読み込んだ設定データの内容に設定される。
 - 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニュー画面は閉じます）。



5 再生／編集

クリップや静止画を再生する..... 98

クリップや静止画を消す 102

クリップを切り取る..... 104

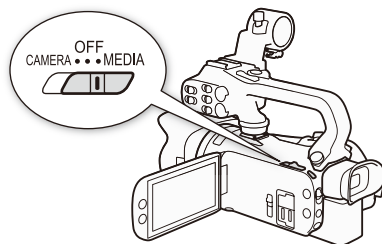
クリップや静止画を再生する

CAMERA MEDIA

ここでは、撮影したクリップ／静止画の再生について説明します。外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」をご覧ください（P 105）。

1 電源スイッチを「MEDIA」にする

- インデックス画面が表示される。



2 再生するデータ（動画／静止画）とカード（[A] / [B]）を切り換える



① [A] を選ぶ。

② いずれかを選ぶ。

- 選択に応じてインデックス画面が切り換わる。

3 インデックス画面で見たいクリップ／静止画を探す



4 クリップ／静止画をタッチする ▶ 再生開始

動画のとき

- タッチしたクリップが再生される。再生が終わると、インデックス画面の最後のクリップまで自動的に再生される。

静止画のとき

- 静止画が再生される（1枚表示画面）。
- 再生中、左右にドラッグで次または前の静止画に切り換わる。
- 別売のGP-E2を使って撮影した場合はGPS情報も表示される。

5 画面上をタッチして操作ボタンを表示する

- 操作ボタンは、操作しないと数秒で消える（再生中のみ）。もう一度タッチしても消える。
- 再生を終了するには、動画は■を、静止画は■を押す。

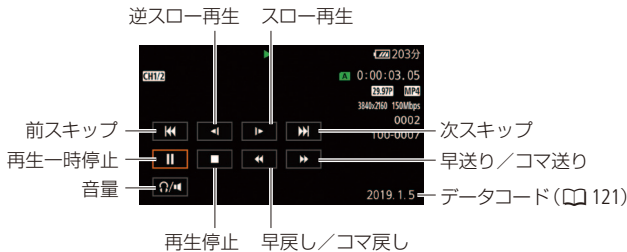
ご注意

- 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
 - 本機以外の製品で記録したとき。
 - パソコンで作成や加工をしたとき。
 - パソコンでファイル名を変更したとき。

MEMO

- 再生画面の日時表示を消すときは、▶再生設定メニュー ▶「MP4データコード表示」または「📷データコード表示」を「切」にします。表示内容を変更することもできます（📖 121）。表示される情報は、撮影データの種類によって異なります。
- 撮影条件によっては、クリップが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。

動画再生時の操作



機能	操作	ボタン	説明
早送り*	再生中に	▶▶	押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる。
早戻し*	再生中に	◀◀	
コマ送り*	一時停止中に	⏮▶	押すたびに1コマ進む。
コマ戻し*	一時停止中に	◀⏭	押すたびに1コマ戻る。
スキップ再生	再生中に	▶▶	次のクリップの先頭から再生。
	再生中に	◀◀	現在のクリップの先頭から再生。
	再生中に2回押す	◀◀	前のクリップの先頭から再生。
スロー再生*	再生中に	▶	押すたびに再生速度が1/4倍→1/8倍に切り換わる。
逆スロー再生*	再生中に	◀	
再生一時停止	再生中に		再生が一時停止する。
再生	一時停止中に	▶	再生する。
再生停止	再生中/ 再生一時停止中	■	再生を終了し、インデックス画面に戻る。

* これらの再生中、音声は聞こえません

MEMO

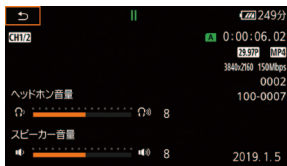
- 早送りや早戻し中に▶ ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。
- 早送り/早戻し中やスロー再生/逆スロー再生中は、画面が乱れることがあります。
- 画面に出る倍速表示は目安です。
- 逆スロー再生は、連続したコマ戻しのように再生されます。

静止画再生時の操作

画面上のアイコン	内容
❏ (インデックス画面)	静止画再生中にインデックス画面に切り換える。
⏮ (ジャンプ)	ジャンプのつまみを左右にドラッグすると他の静止画にジャンプする。⏮ を選んで終了。

音声を聞く

音声をヘッドホンまたは内蔵スピーカー（モノラル）で聞くことができます。



- ① 再生中に画面をタッチ→「🔊/🔊」を選ぶ。
● ヘッドホン音量とスピーカー音量の調整バーが出る。
- ② 調整バーの左右のマークを押すか、バー上を左右にドラッグして調節する→🔄を選ぶ。

クリップ情報を表示する

クリップ情報を表示することができます。



解像度/ビットレート/スロー&ファスト
モーション記録の記録速度

- ① 動画インデックス画面で*i*を選ぶ。
- ② クリップを選ぶ。
● ◀/▶を押すと前後のクリップに移動できる。
- ③ 🔄を2回選ぶ。
● 別売のGP-E2を使って撮影した場合はGPS情報も表示されます。

クリップや静止画を消す

CAMERA

MEDIA

不要なクリップや静止画は消去できます。日付を指定して一括消去したり、表示しているメモリー内のすべてのクリップ／静止画を消したりすることもできます。

■ クリップ／静止画をまとめて消す

1 消去するクリップ／静止画を含むインデックス画面に切り換える (📖 98)

特定の日に撮った全クリップ／静止画を消すとき

左右にドラッグして、消去するクリップ／静止画の日付を画面に出す。

FUNC

2 消去を選ぶ

① FUNC ▶ 「消去」を選ぶ。

3 いずれかの消去方法を選ぶ

特定の日に撮った全クリップ／静止画を消すとき*

クリップ／静止画を選んで消すとき

すべてのクリップ／静止画を消すとき

* 「100_0101」のように日付ごとに作成されたフォルダー名が表示される。



実行

4 クリップ／静止画を選んで消すとき クリップ／静止画を選ぶ

① 消すクリップ／静止画を選ぶ。

● ✓が付く。もう一度選ぶと解除される。

② ①の操作を繰り返して、消すクリップ／静止画をすべて選ぶ。

選択をすべて解除するとき 「全解除」 ▶ 「はい」を選ぶ。

③ 実行を選ぶ。

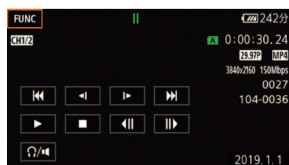


5 消去を実行する

① 「はい」 ▶ 「OK」を選ぶ。

中止するとき 「中止」を選ぶ。一部のクリップ／静止画は消去される。

再生一時停止中のクリップを消す



1 消去する

- ① クリップ再生中 画面上をタッチ ▶ **||**を押す。
● 再生が一時停止する。
- ② **[FUNC]** ▶ 「消去」 ▶ 「はい」を選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ。

再生中の静止画を消す



1 消去を選ぶ

- ① 静止画再生中 画面をタッチする。
● 操作ボタンが出る。
- ② **[FUNC]** ▶ 「消去」を選ぶ。
● 消去画面が出る。
● 左右にドラッグで別の静止画を選ぶこともできる。
- ③ 「**実行**」 ▶ 「はい」を選ぶ。
- ④ **×**を選ぶ。

ご注意

- 一度消したクリップ／静止画は元に戻りませんので、消す前にクリップ／静止画を確認してください。
- 大切なデータは、あらかじめバックアップしてください (□ 112, 113)。

MEMO

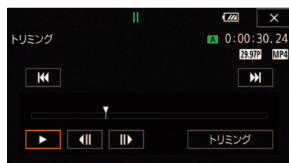
- 他機でプロテクトされている静止画は消せません。
- カードに記録されているすべてのクリップを消して容量を元に戻す場合は、カードを初期化します (□ 33)。

クリップを切り取る

CAMERA MEDIA

トリミング

クリップから不要な部分を切り取って消去できます。指定した位置より前、または後ろの部分を消去します。



1 切り取る位置を決める

- ① クリップ再生中 画面上をタッチする ▶ IIを押す。
- ② [FUNC] ▶ 「トリミング」を選ぶ。
- ③ 位置を探す
 - ▶を押すと再生する。もう一度押すと一時停止になる。

再生中	◀◀ / ▶▶	早戻し／早送り
一時停止中	◀◀ / ▶▶	コマ戻し／コマ送り

- ④ 切り取る位置で一時停止にする。



2 クリップを切り取る

- ① 「トリミング」 ▶ 「前部を削除」または「後部を削除」を選ぶ。
- ② 「新規保存」または「上書き保存」を選ぶ。

「新規保存」を中止するとき 「中止」を選ぶ。

MEMO

- 「前部を削除」でトリミングしたクリップは、インデックス画面ではサムネイルに▶が表示されます。
- トリミングのコマ送りの間隔はフレーム単位、トリミングできる位置はGOP単位（約0.5秒）です。
- トリミングを指定した位置がGOPの境界でない場合は、指定しているフレームが含まれるようにGOPの境界でトリミングします。

6 接 続

出力信号形式	106
外部モニターを接続する	107
音声出力を選択する	109

出力信号形式

CAMERA MEDIA

HDMI™ OUT端子からの出力は、記録・再生の映像信号形式とメニューの設定によって切り換わります*。

* HDMI OUT端子の出力は、接続した外部モニターの能力によって変わります。

カメラモード **AUTO M**

撮影時の出力信号形式

記録信号形式		表示設定メニュー		HDMI OUT端子の出力信号形式		
解像度	フレームレート	「HDMI スキャンモード」	「HDMI最大解像度」	解像度	フレームレート	カラーサンプリング
3840×2160	29.97P 23.98P	P	1920×1080	1920×1080	記録信号形式と同じ*1	YCbCr 4:2:2 8 bit
			1280×720 (59.94P)	1280×720	59.94P	
		PsF	—	1920×1080	59.94i	
1920×1080	59.94P 29.97P 23.98P	P	1920×1080	1920×1080 720×480*2	記録信号形式と同じ*1	YCbCr 4:2:2 10 bit
			1280×720 (59.94P)	1280×720	59.94P	
		PsF	—	1920×1080	59.94i	
1280×720	59.94P	—	—	1280×720	59.94P	

*1 スロー&ファストモーション記録のときは、59.97Pとなる。

*2 記録信号形式のフレームレートが59.94Pのときのみ。モニターの能力に応じて自動的に選択される。

再生時の出力信号形式

再生信号形式		表示設定メニュー		HDMI OUT端子の出力信号形式		
解像度	フレームレート	「HDMI スキャンモード」	「HDMI最大解像度」	解像度	フレームレート	カラーサンプリング
3840×2160	29.97P 23.98P	P	3840×2160	3840×2160	記録信号形式と同じ	YCbCr 4:2:2 8 bit*
			1920×1080	1920×1080	記録信号形式と同じ	
			1280×720 (59.94P)	1280×720	59.94P	
		PsF	—	1920×1080	59.94i	
1920×1080	59.94P 29.97P 23.98P	P	3840×2160	1920×1080	記録信号形式と同じ	
			1920×1080	1920×1080	記録信号形式と同じ	
			1280×720 (59.94P)	1280×720	59.94P	
		PsF	—	1920×1080	59.94i	
1280×720	59.94P	—	—	1280×720	59.94P	

* カードにYCbCr 4:2:0形式で記録した映像を、YCbCr 4:2:2形式で出力する。

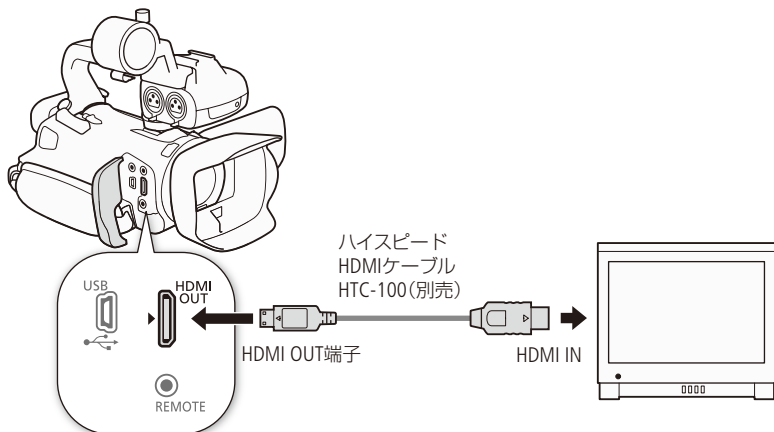
外部モニターを接続する

CAMERA MEDIA

撮影・再生映像をモニターに表示するときは、本機のHDMI OUT端子と外部モニターを接続し、出力信号形式をメニューで設定します。

HDMI OUT端子は、映像と音声をデジタル信号で出力し、音声は2chリニアPCM (16ビット、48kHz) で出力します。HDMI OUT端子の出力に画面表示を重畳することもできます (124)。

カメラモード **AUTO M**



接
続

MEMO

- コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) を使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。



1 最大解像度を選ぶ

- ① ☒ 1 表示設定メニュー ▶ 「HDMI最大解像度」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ。



2 必要に応じてスキャンモードを選ぶ

- ① ☒ 5 を選ぶ。
- ② ☒ 1 表示設定メニュー ▶ 「HDMIスキャンモード」を選ぶ。
- ③ いずれかを選ぶ。



3 カメラモードのとき 必要に応じてタイムコードの重畳を有効にする

- ① 入を選ぶ。
- ② 記録設定メニュー ▶ 「HDMIタイムコード」を選ぶ。
- ③ いずれかを選ぶ。

4 ×を選ぶ

MEMO

HDMI OUT端子について

- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。
- 設定した出力信号形式にモニターが対応していない場合、HDMI出力は停止します。

HDMI OUT端子のタイムコード出力

- 記録設定メニュー ▶ 「HDMIタイムコード」を「入」にすると、タイムコードを重畳できます（カメラモードのみ）。
 - 次の場合、タイムコードは重畳されません。
 - ・ メディアモードのとき
 - ・ スロー&ファストモーション記録時
 - ・ 出力が720×480 / 59.94Pのとき
 - フレームレートが23.98Pでかつ、次のいずれかの場合は、タイムコードのフレームカウントを、「0～23」から「0～29」に変換して出力します。
 - ・ HDMIスキャンモードがPsFのとき。
 - ・ 出力解像度が1280×720のとき。
- 記録設定メニューの「記録コマンド」と「HDMI タイムコード」を「入」にして、本機と他機をHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（START/STOPボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。タイムコードも重畳されます。

音声出力を選択する

CAMERA MEDIA

HDMI OUT端子と○ (ヘッドホン) 端子、内蔵スピーカー (モノラル。メディアモードのみ) から音声を出
力できます。記録／再生する4チャンネルの音声のうち、出力する2チャンネルを選択できます。

カメラモード **AUTO M**

音声の出力信号形式

記録信号形式		撮影／再生時
記録方式	量子化ビット数／ ビットレート	HDMI OUT端子
4ch リニアPCM	16 bit	2ch リニアPCM 16 bit
2ch AAC	256 kbps	

○ (ヘッドホン) 端子／スピーカーの出力チャンネルを選ぶ

○ (ヘッドホン) 端子から出力する2チャンネルの音声を選択することができます。



- ① 3 オーディオ設定メニュー ▶ 「モニターチャンネル」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **X**を選ぶ。
 - 「CH1+2」はCH1とCH2のミックスした信号であることを示す。「CH1+3」、「CH3+4」なども同様。

接
続

MEMO

- 「モニターチャンネル」を割り当てたアサインボタンを押して、出力チャンネルを切り換えることもできます。

HDMI OUT端子の出力チャンネルを選ぶ

HDMI OUT端子からは、2chのリニアPCM形式 (16bit)の音声を出します。



- ① 3 オーディオ設定メニュー ▶ 「HDMIチャンネル」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **X**を選ぶ。

撮影データの保存

クリップをパソコンに保存する 112

クリップ／静止画をカードに
コピーする 113

クリップをパソコンに保存する

CAMERA MEDIA

本機でカードに記録したクリップは、パソコンまたはパソコンに接続したカードリーダー／ライターのスロットを使って、パソコンに取り込みます。カード内のファイルの取り込み方については、パソコンまたはOSの説明書をご覧ください。

また、本機で分割して記録されたクリップは、ソフトウェアMP4 Join Toolを使って結合することができます。

クリップをパソコンに取り込む

- 1 クリップが記録されたカードを、パソコンまたはパソコンに接続したカードリーダー／ライターに入れる
- 2 パソコンのOSの案内に従って操作する
- 3 カード内の撮影データをパソコンにコピーする

- 「DCIM¥100_mmdd」* という名称のフォルダーに撮影データ（クリップ、静止画）が保存されている。

* 「100」は100～999の番号、「mmdd」は撮影した月日を表わす。

分割されたクリップを結合する

クリップ内の映像ファイル（ストリーム）が約4GBに達したり、リレー記録が発生したりすると、クリップが分割して記録されます。分割して記録されたクリップは、ソフトウェアMP4 Join Tool（Windows / macOS）を使って結合することができます。

MP4 Join Toolは、キヤノンのホームページからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアの動作環境および最新の情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。ソフトウェアのインストールについては、ダウンロードしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれるPDFファイルをご覧ください。ソフトウェアの使いかたの詳細については、ソフトウェアの使用説明書（PDFファイル）* をご覧ください。

* ソフトウェアと一緒にインストールされます。

クリップ／静止画をカードにコピーする

CAMERA MEDIA

カードに記録されたクリップや静止画を、もう一方のカードへコピーできます。選んだクリップや静止画、すべてのクリップや静止画をまとめてコピーします。日付ごとに作成されたフォルダーごとコピーすることもできます。

クリップ／静止画をまとめてコピーする



1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 コピー元となるカードのインデックス画面を出す (98)

特定の日に撮ったクリップ／静止画をコピーするとき
左右にドラッグして、コピーするクリップ／静止画の日付を画面に出す。

FUNC

3 コピーを選ぶ



① FUNC ▶ 「コピー [A ▶ B)」または「コピー [B ▶ A)」を選ぶ。

4 いずれかのコピー方法を選ぶ

特定の日に撮った全クリップ／静止画をコピーするとき*
クリップ／静止画を選んでコピーするとき
すべてのクリップ／静止画をコピーするとき



* 「100_0101」のように日付ごとに作成された
フォルダー名が表示される。

保
存

実行

5 クリップ／静止画を選んでコピーするとき クリップ／静止画を選ぶ

① コピーするクリップ／静止画をすべて選ぶ。
● ✓が付く。もう一度選ぶと解除される。

選択をすべて解除するとき
「全解除」▶ 「はい」を選ぶ。

② 実行)を選ぶ。



6 カードにコピーする

① 「はい」を選ぶ。

中止するとき 「中止」を選ぶ。

② 「OK」を選ぶ。



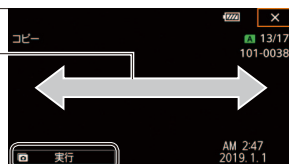
再生中の静止画をコピーする

1 静止画再生中 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

2 コピーする

- ① **FUNC** > 「コピー [A → B]」または「コピー [B → A]」を選ぶ。
 - コピー画面が出る。
 - 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。
- ② 「実行」→ 「はい」を選ぶ。
- ③ **×**を選ぶ。



MEMO

コピーできない場合

- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているとき。
- カード内のフォルダー数とファイル数が最大になり、新しくファイル番号が作成できないとき (122)。
- 静止画の場合、カードの空き容量が足りなくなると、コピーを中止します。
- 4GB以上の映像ファイル (ストリーム) はSDHCメモリーカードにはコピーできません。

メニュー

FUNCメニューの紹介 116

メニューの紹介 118

FUNCメニューの紹介

FUNCメニューは、撮影時の設定や再生時の編集操作に使用します。ご購入時、FUNCメニューは がついた内容に設定されています。各機能の詳細は、□欄のページをご覧ください。他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

■ 撮影時に使うFUNCメニュー

機能	設定内容	AUTO	M	□
IRIS 絞り	F1.8 ～ F8.0 ゼブラパターン： 切、 70%、 100%		●	45
SHTR シャッタースピード	1/6 ～ 1/2000 ゼブラパターン： 切、 70%、 100%		●	45
ゲイン	0.0dB ～ 24.0dB ゼブラパターン： 切、 70%、 100%		●	45
AGCリミット	M マニュアル：入、切 0.0 dB ～ 23.0 dB		●	51
露出補正	タッチ露出：[N] ノーマル、[H] ハイライト ゼブラパターン： 切、 70%、 100% ※ (AEロック)		●	47
ホワイトバランス*	AWB オート、 太陽光、 電球、 K 色温度、 セット1、 セット2		●	52
強制逆光補正*	切、 入		●	50
フォーカス	A オート、 M マニュアル タッチフォーカス			61
	PEAK ピーキング：入、切 ピーキング時白黒：切、入 ピーキング色：レッド、ブルー、イエロー		●	64
	フォーカス位置のプリセット/キャンセル PRESET プリセット位置へのフォーカス移動			62
拡大表示	実行		●	64
ZOOM ズーム	ズーム操作、START / STOP(動画撮影/停止)			59
	PHOTO(静止画撮影)	●	●	38
	2D (デジタルテレコン)：入、切			60
ルック	シャープネス、コントラスト、色の濃さ		●	54
オーディオ	チャンネル：CH1/2、CH3/4、CH1、CH2、CH3、CH4 録音レベル： A オート、 M マニュアル	●	●	80

* 選んだ設定値のアイコンが画面に表示される。

■ 再生時に使うFUNCメニュー

1クリップごと、選んだクリップ、全クリップ、特定の日に撮ったクリップなど、表示している画面によって、操作できるクリップ／静止画の数が異なります。

動画の機能	インデックス画面	再生一時停止中	
	 動画		
コピー [A] + [B] / [B] + [A]	撮影日付、選択、全クリップ	—	113
消去	撮影日付、選択、全クリップ	1クリップ	102
トリミング	—	●	104

静止画の機能	インデックス画面	再生中	
	 静止画		
コピー [A] + [B] / [B] + [A]	撮影日付、選択、すべての静止画	1枚	113
消去	撮影日付、選択、すべての静止画	1枚	102

メニューの紹介

撮影／再生のモードによって設定できる機能が異なります。設定できる機能は表中に●で示しています。ご購入時は、.....の内容に設定されています。各機能の詳細は、□欄のページかまたは欄外に説明があります。設定のしかたについては「メニューの設定を変える」(□ 28)をご覧ください。

📷 カメラ設定

機能	設定内容	📖
デジタルズーム	OFF 切、400x 400x 20x デジタルテレコン	— 60
ソフトズームコントロール	OFF 切、START スタート、STOP ストップ、START/STOP スタート&ストップ	59
ズームスピードレベル	≫≫ ハイ、≫ ミドル、> ロー	56 58
グリップズーム操作	Enable 有効、Disable 無効	55
グリップズームスピード	VAR (可変速)、CONST (固定速) / 固定速：1～16(8)	56
ハンドルズーム操作	Enable 有効、Disable 無効	57
ハンドルズームスピード	固定速：1～16(8)	58
ハイスピードズーム	ON 入、OFF 切	57
AFモード	SAF/ハイスピードAF、MAF ミディアムスピードAF、AF ノーマルAF	65
フェイスクォック&追尾	ON 入、OFF 切	67
フォーカスP.スピード	≫≫ ハイ、≫ ミドル、> ロー	—
自動逆光補正	ON 入、OFF 切	—
オートスローシャッター	ON 入、OFF 切	—
フリッカー低減	OFF 切、A オート	—
NDフィルター	A オート、OFF 切	49
コンバージョンレンズ	Tele TL-H58、Wide WA-H58、OFF 切	—
手ブレ補正	OFF 切、(ON) スタンダード、(ON) ダイナミック	69
パワードISボタン	ON 押し続け、(ON) ON/OFF切り換え	—
優先WB登録	AWB オート、☀ 太陽光、💡 電球、K 色温度、 セット1、 セット2	—
フォーカス／ズームリング操作	Enable 有効、Disable 無効	—
フォーカスリング操作方向	NORM ノーマル、REV リバース	—
フォーカスリング敏感度	≫≫ ハイ、≫ ミドル、> ロー	—
ズームリング操作方向	NORM ノーマル、REV リバース	—
赤外ライト	ON 入、OFF 切	—
赤外撮影色	WHITE 白、GREEN 緑	87

デジタルズーム

デジタルズームの倍率（最高倍率）を選びます。

- デジタルズームの倍率を設定してからズームを使うと、光学ズーム領域を越えた時点で自動的にデジタルズームになります。
- デジタルズーム領域では映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなります。
- カメラモードが **AUTO**（オート）のときと、メニューの「コンバージョンレンズ」が「WA-H58」のときは設定できません。

フォーカスPスピード

フォーカスプリセットのスピードを設定します。

自動逆光補正

「入」にすると、カメラが自動的に逆光の被写体を検出して補正します。被写体の順光／逆光の状態が変わるときに便利です。

- カメラモードが **AUTO** のときと、撮影モードが **M**、夜景、スノー、ビーチ、夕焼け、スポットライト、打上げ花火のとき、赤外撮影がONのときは使用できません。

オートスローシャッター

明るさが不足する場所（暗めの室内など）で撮影する場合、シャッタースピードを自動的に遅くして、より明るい映像を記録します。

- フレームレートが59.94Pのときは1/30秒まで、29.97Pのときは1/15秒まで、23.98Pのときは1/12秒までのスローシャッターにそれぞれ設定されます。
- **AUTO**（オート）モードや赤外撮影のとき、または撮影モードが **P** のときに設定できます。
- 動きのある被写体を撮る場合、尾を引いたような残像が出るときは、「切」を選びます。
- 三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。
- AGCリミットが有効の場合、オートスローシャッターは働きません。

フリッカー低減

蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正することができます。

- 蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制することがあります。電源周波数が50Hzのときは1/100秒を、60Hzのときは1/60秒を選んでください。

コンバージョンレンズ

別売のテレコンバーター TL-H58 (テレコン) やワイドアタッチメントWA-H58を取り付けるときに設定すると、それぞれのアクセサリーに合わせて手ブレ補正のしかた、最至近撮影距離が変わります。最至近撮影距離は、テレコンバーターの使用時においてズーム全域で約130cm、ワイドアタッチメントの使用時において約60cmです。「WA-H58」のときは、ズーム表示はズームバーの途中で止まります。

- テレコンバーター TL-H58を取り付けると約1.5倍の望遠撮影が、ワイドアタッチメントWA-H58を取り付けると約0.75倍までの広角撮影ができます。
- 設定に応じて、画面に表示される距離情報が変更されます。コンバージョンレンズを装着していない場合には設定を「切」にしてください。
- 「切」以外に設定すると、メニューの「AFモード」が自動的に「ノーマルAF」に設定されます。

パワードISボタン

アサインボタン (□ 93) に割り当てたパワードISの操作のしかたを選びます。

押し続け

ボタンを押している間だけ、パワードISが働く。

ON/OFF切り換え

ボタンを押すとパワードISがONになり、もう一度押すとOFFになる。

優先WB登録

ホワイトバランスの良く使う調整方法を登録します。アサインボタンの「WB 優先WB」を押したときに、現在のホワイトバランスの設定と「優先WB登録」で選んだ設定を切り換えることができます。

フォーカス／ズームリング操作

フォーカス／ズームリングによる操作の有効／無効を切り換えます。

フォーカスリング操作方向

フォーカスを調整するときのフォーカス／ズームリングの操作方向を設定します。フォーカス／ズームリング切り換えスイッチがFOCUSのときに有効です。

フォーカスリング敏感度

フォーカスを調整するときのフォーカス／ズームリングの敏感度を設定します。フォーカス／ズームリング切り換えスイッチがFOCUSのときに有効です。

ズームリング操作方向

ズームを調整するときのフォーカス／ズームリングの操作方向を設定する。フォーカス／ズームリング切り換えスイッチがZOOMのときに有効です。

赤外ライト

「入」にすると、Infraredモード中に赤外ライトが点灯します。赤外ライトを使用するときは、ハンドルユニットHDU-1(別売)を取り付けてください(□ 21)。

再生設定

機能	設定内容			
MP4 データコード表示	MP4 : OFF 切、 日付			
データコード表示	: OFF 切、 日付、 時刻、 日付&時刻、 カメラデータ	●	●	—

データコード表示

再生画面に撮影日付などを表示します。

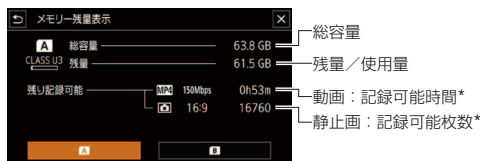
記録設定

機能	設定内容		/	
MP4 解像度	3840x2160 (150 Mbps)、1920x1080 (35 Mbps)、1920x1080 (17 Mbps)、1280x720 (8 Mbps)	●		41
MP4 フレームレート	59.94P 59.94P、 29.97P 29.97P、 23.98P 23.98P	●		41
MP4 オーディオ形式	2CH AAC 16bit 2CH、 4CH LPCM 16bit 4CH	●		76
記録先	動画記録先 : A カードA、 B カードB	●		33
	静止画記録先 : A カードA、 B カードB	●		
同時記録／リレー記録	通常記録、 同時記録、 A リレー記録	●		34
Slow & Fastモーション	OFF、x0.4、x0.5、x0.8、x2、x4、x10、x20、x60、x120、x600、x1200	●		42
メモリー残量表示	A 、 B	●		—
メモリー使用量表示	A 、 B		●	—
初期化	A カードA、 B カードB	●	●	33
記録コマンド	ON 入、 OFF 切	●		39
HDMIタイムコード	ON 入、 OFF 切	●		107
タイムコードモード	PRESET Preset、 REGEN Regen.	●		70
タイムコードラン	RECRUN Rec Run、 FREERUN Free Run	●		70
DF / NDF	DF DF、 NDF NDF	●		71

機能	設定内容	🔊	🔊 / 📷	📖
タイムコードスタート値	00:00:00.00 ~ 23:59:59.29	●		70
ユーザービットタイプ	SET 設定、 TIME 時刻、 DATE 日付 「設定」選択時： 8桁の16進数 (00 00 00 00)	●		72
カラーバー	OFF 切、 SMPTE SMPTE、 ARIB ARIB	●		84
1 kHz トーン	-12dB -12 dB、 -18dB -18 dB、 -20dB -20 dB、 OFF 切	●		84
MP4クリップ／ 静止画番号方式	📷 オートリセット、🔢 通し番号	●	●	—

メモリー残量表示／メモリー使用量表示

カードの総容量と使用量／残量、動画の記録可能時間、静止画の記録可能枚数を確認できます。カードのSDスピードクラスも確認できます。



例：メモリー残量表示のカードAを選択したときの画面例です。

* 現在設定している動画の記録信号形式をもとに算出します。

HDMIタイムコード

「入」にすると、HDMI信号にタイムコードを重畳します（カメラモードのみ）。

MP4クリップ／静止画番号方式

個々のクリップ／静止画に付けられる番号（MP4クリップ番号、静止画番号。以下、両者に共通の説明では「ファイル番号」と呼ぶ）の付けかたを選びます。クリップ／静止画のファイル名と、保存先のフォルダー名は、ファイル番号から作成されます。

フォルダー名

フォルダー名の上3桁は100～999の番号、「_」以下の下4桁は記録した月日を表します。

ファイル名

ファイル名の上4文字は「IMG_」の固定文字列、下4桁は静止画固有の番号（0001～9999）です。

MP4クリップ番号／静止画番号（ファイル番号）

- ファイル番号の上3桁はファイルが格納されるフォルダー名の上3桁（100～999）に、下4桁はクリップ／静止画固有の番号（0001～9999）に対応します。
- ファイル番号は、パソコンで見るときのSDカード内のファイルの場所も表します。6月1日に記録したファイル番号が「100-0007」のクリップは、「DCIM¥100_0601」というフォルダーの中に「MVI_0007.MP4」というファイル名で表示されます。
- 1つのフォルダーにはクリップと静止画を合わせて500個までのファイルを保存することができ、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。

オートリセット

初期化されたカードに記録する場合、常に100-0001から始まる。カード内にすでにクリップ／静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。

通し番号

最後に記録したクリップ／静止画の続き番号から始まる。ただし、カードに記録されているファイル番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。通常はこの設定をおすすめします。

J) オーディオ設定

機能	設定内容		 / 	
CH2入力	INPUT2 INPUT 2、 INPUT1 INPUT 1	●		76
INPUT 1 マイクトリミング	+12dB +12 dB、 +6dB + 6dB、 0dB 0 dB、 -6dB -6 dB、 -12dB -12 dB	●		78
INPUT 1 マイクアッテネーター	ON 入、 OFF 切	●		79
INPUT 2 マイクトリミング	+12dB +12 dB、 +6dB + 6dB、 0dB 0 dB、 -6dB -6 dB、 -12dB -12 dB	●		78
INPUT 2 マイクアッテネーター	ON 入、 OFF 切	●		79
INPUT 1/2 リミッター	ON 入、 OFF 切	●		78
INPUT 1/2 ALCリンク	LINK 連動、 SEP. 独立	●		77
内蔵マイク感度	NORM ノーマル、 HIGH ハイ	●		81
内蔵マイクアッテネーター	A オート、 ON 入、 OFF 切	●		81
内蔵マイクロカット	ON 入、 OFF 切	●		82
MICアッテネーター	A オート、 ON 入、 OFF 切	●		81
MICローカット	ON 入、 OFF 切	●		82
MIC ALCリンク	LINK 連動、 SEP. 独立	●		79
MICパワー	ON 入、 OFF 切	●		79

機能	設定内容		 / 	
ヘッドホン音量	 [0 ~ 15(8)]	●	●	83
スピーカー音量	 [0 ~ 15(8)]		●	101
モニターチャンネル	 CH1/CH2、  CH1/CH1、  CH2/CH2、  CH1+2/CH1+2、  CH3/CH4、  CH3/CH3、  CH4/CH4、  CH3+4/CH3+4、  CH1+3/CH2+4	●	●	109
HDMIチャンネル	 CH1/CH2、  CH3/CH4	●	●	109
おしらせ音	 大、  小、  切	●	●	—

おしらせ音

「 大」または「 小」を選べると、本機の操作に応じて音が鳴ります。

- プレ記録 (📖 85) を「ON」にしていると、おしらせ音は鳴りません。

表示設定

機能	設定内容		 / 	
HDMI最大解像度	3840x2160*、1920x1080、1280x720(59.94P) * メディアモードのみ	●	●	107
HDMIスキャンモード	 P、  PsF(強制1080i)	●	●	107
出力状態	—	●	●	—
液晶明るさ調整		●	●	—
液晶バックライト	 高輝度、  通常、  低輝度	●	●	—
VFバックライト	 高輝度、  通常	●	●	—
液晶対面ミラー	 入、  切	●		—
オンスクリーン表示	 入、  切	●	●	—
マーカー表示	 切、  水平(グレー)、  水平(白)、  グリッド(グレー)、  グリッド(白)	●		—
距離単位	 メートル、  フィート	●	●	—

出力状態

現在のHDMI出力端子の出力状態を確認できます。

液晶明るさ調整

- ※または※を押して、液晶モニターの明るさを調整します。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

液晶バックライト

VFバックライト

液晶モニターの明るさを3段階で、ビューファインダーの明るさを2段階でそれぞれ切り換えます。

- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。

液晶対面ミラー

液晶モニターの画面をレンズ側に向けると左右が反転し、被写体に鏡を見ているような映像（鏡像）を見せながら撮ることができます。

- 鏡像の表示中に、画面のタッチ、ボタンやスイッチの操作、リモートコントローラーなどのリモコン操作を行うと、一時的に鏡像表示を解除できます。約4秒後に鏡像表示に戻ります。

オンスクリーン表示

画面表示を出力端子の映像に重畳します。

マーカー表示

画面に水平線や格子状の線（グリッド）を表示します。被写体の水平・垂直を確認しながら撮影できます。

- マーカーは、拡大表示中には表示しません。また、撮影した動画／静止画には記録されません。

距離単位

以下のときに表示される単位を選びます。

- マニュアルフォーカスでピントを合わせたときの被写体までの距離。
- GPSレシーバー GP-E2 (別売) 使用時の標高表示。

システム設定

機能	設定内容	🔊	📷 / 📺	📖
言語 	日本語、English	●	●	—
エリア／サマータイム	エリア：🏠 (自宅)、✈️ (旅行先) ※サマータイム：ON、OFF	●	●	—

機能	設定内容	🔊	🔊 / 📷	📖
日付／時刻	日付/時刻：2019.1.1 AM 12:00 日時スタイル：Y.M.D、M.D、Y、D.M.Y 24H表示：ON、OFF	●	●	27
POWER LED	ON 入、OFF 切	●	●	26
タリーランプ	ON 入、OFF 切	●	●	—
ACCESS LED	ON 入、OFF 切	●	●	32
REMOTE端子	RC-V100 RC-V100 (REMOTE A)、Std. スタンダード	●	●	88
アサインボタン1～アサインボタン5	AF/MF AF/MF、 フェイスオンリー AF、 MAGN. 拡大表示、 強制逆光補正、 パワードIS、 WB白取り込み、WB 優先WB、 赤外ライト、 プレREC、 レックレビュー、 PHOTO Photo、 モニターチャンネル、 MENU メニュー、 OFF 切 初期設定： アサインボタン1： AF/MF AF/MF アサインボタン2： プレREC アサインボタン3： 切 アサインボタン4： 切 アサインボタン5： レックレビュー	●		93
タッチアサインボタン	タッチアサインボタン： PHOTO Photo			
CUSTOMダイヤル&ボタン	Tv / Av / M、 AGCリミット、 露出補正、 OFF 切	●		92
バッテリー情報	—	●	●	—
メニュー設定保存	保存、読み込み	●		95
GPS自動時刻設定*	OFF 切、ON 自動更新	●		—
GPS情報表示*	緯度、経度、標高、UTC、衛星補足状態のリアルタイム表示	●		—
認証情報表示	—	●	●	—
Firmware	—	●		—
設定初期化	—	●	●	—

* GPSレシーバー GP-E2 (別売) を取り付けているときのみ。

言語

画面に表示されるメニューやメッセージなどの言語を選びます。

エリア／サマータイム

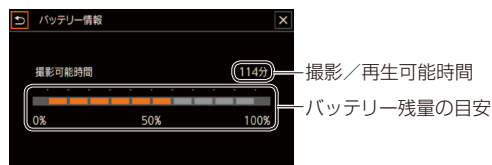
住んでいる地域と旅先の地域をそれぞれ設定できます。設定は、またはを選んだあと、またはを押して地域を選びます。選んだ地域がサマータイムを導入しているときは（サマータイム）をONにします。

タリーランプ

「入」にすると、撮影時、バッテリー消費時、およびカード空き容量がないときに、タリーランプが点灯または点滅します。「切」にすると、タリーランプは点灯／点滅しません。ハンドルユニットHDU-1（別売）を取り付けているときに使用できます。

バッテリー情報

バッテリーの残量（％）と撮影／再生可能時間（分単位まで）を確認できます。



- バッテリーが消耗していると表示されないことがあります。

GPS自動時刻設定

GPSレシーバー GP-E2（別売）の装着時に、GPSから得られる時刻情報を使って、本機の「日付/時刻」を自動的に更新します。日時の更新は、GP-E2に接続したときに一度だけ行われます。動画撮影中は更新しません。機能の詳細については、GP-E2の使用説明書「GPSの時刻をカメラに設定する」のページも合わせてご確認ください。

GPS情報表示

機能の詳細については、GP-E2の使用説明書「GPSの信号を受信する」の「GPS情報を表示する」のページも合わせてご確認ください。

認証情報表示

本機が対応している認証情報の一部を確認できます。

Firmware

ビデオカメラの、現在のバージョンを確認できます。通常は灰色で表示されます。

設定初期化

本機の設定を初期状態に戻します。

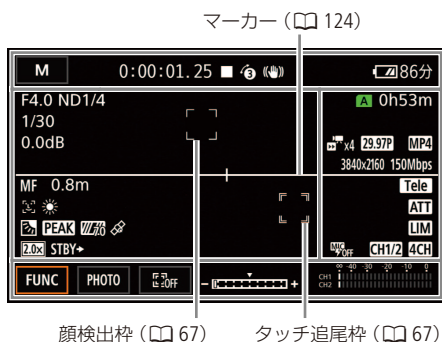
その他

画面の見かた	130	アクセサリ紹介	146
トラブルシューティング	133	主な仕様	148
メッセージが出たら?	138	索引	153
安全上のご注意	140	修理対応について	157
取り扱い上のご注意	142		

画面の見かた

撮影中や再生中に表示される情報です。

■ 撮影時の画面表示



画面の左側と中央

アイコン／表示	説明
F00 ND1/0000	F値／NDフィルター (45)
☀OFF、☀ON	赤外ライト (87)
1/000000	シャッタースピード (45)
00.0dB	ゲイン (45)
AE +/- 0 0/0 +/- 0 0/0 ✱	露出補正 (48)
AGC 00.0dB	AGCリミット (51)
SAF、MAF、AF、MF	フォーカス／AFモード (61、65)
0.0m、000m、∞	フォーカス距離 (61)
☺、☺	フェイスキャッチ&追尾／フェイスオンリーAF (67)

アイコン／表示	説明
☀、☀、K、	ホワイトバランス (52)
1、2	強制逆光補正 (50)
PEAK、PEAK	ピーキング (64)
70、100	ゼブラパターン (50)
GPS	GPS (89)
	GPSレシーバー GP-E2 (別売) 装着時のみ。
2.0x	デジタルテレコン (60)
REC ➡、STBY ➡	記録コマンド (39)

画面の上側

アイコン／表示	説明
	オートモード (□38)
P、Tv、Av、M、 、、、、、 /	撮影モード (□43) / Infraredモード (□87)
00:00:00.00 00:00:00.00	タイムコード (時:分:秒:フレーム数) (□70)
■、●	撮影状況 (□38) ■: 撮影停止中、 ●: 撮影 (録画)
	ブレ記録 (□85)
、、 (黄色)	手ブレ補正/パワードIS (□69)
、、 、、 (黄色)、 (赤色) 000分	バッテリー残量の目安 (黄色)は残量少、 (赤色)は残量なし。充電したバッテリーと交換する。本機/バッテリーの状態により、実残量と表示が異なることがあります。
▷ (緑色) (または)	静止画記録 (□38) 黄色の / は残量少、 赤色の / は記録失敗
▷ (黄色) (または)	
、 (赤色)	

画面の右側

アイコン／表示	説明
/ 000h00m	撮影可能時間
/ 000h00m (黄色)	カード残量少
/ END (赤色)	カード残量なし
/ (赤色)	カードなし
/ 000h00m	リレー記録/撮影可能時間 (□34)
——	ズームバー (□55) 水色部分: デジタルズーム領域

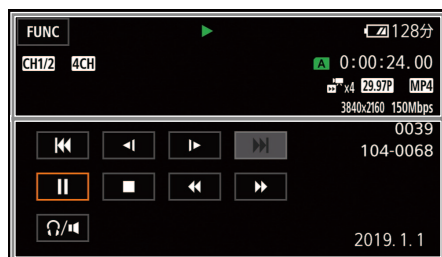
アイコン／表示	説明
x0.0 x0000	スロー & ファストモーション記録/記録速度 (□42)
59.94P、29.97P、 23.98P	フレームレート (□41)
MP4	動画形式
0000×0000	解像度 (□41)
000Mbps	ビットレート (□41)
Tele、Wide	コンバージョンレンズ (□118)
ATT、AOff	マイクアッテネーター (□73)
IM	INPUT 1/2リミッター (□78)
MIC Off	MIC/パワー OFF (□79)
CH0/0、 CH0+0/0+0	モニターチャンネル (□109)
4CH	オーディオ形式 (□76)

画面の下側

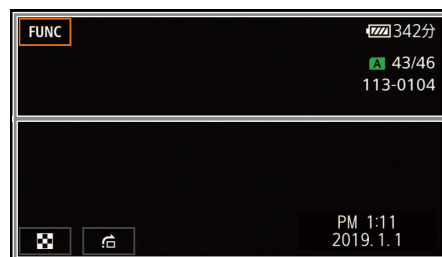
アイコン／表示	説明
[FUNC]、[PHOTO]	[FUNC] ボタン (□28) / タッチアサインボタン (□93)
	追尾解除ボタン (□67)
	露出バー (□45)
	レベルメーター (□77、80)

■ 再生時の画面表示

動画のとき



静止画のとき



画面の上側

アイコン／表示	説明
FUNC	FUNC ボタン (128)
▶、▶▶、▶▶▶ / ▶▶▶▶、 ◀◀ x00、 x00 ▶▶▶、 ◀◀ x 1/0、x1/0 ▶▶	再生状況 ▶ : 再生、▶▶ : 再生一時停止、 ▶▶▶ / ▶▶▶▶ : コマ戻し / コマ送り、 ◀◀ x00、x00 ▶▶▶ : 早戻し / 早送りと倍速、 ◀◀ x 1/0、x1/0 ▶▶ : 逆スロー再生 / スロー再生と倍速
CH0/0、 CH0+0/0+0	モニターチャンネル (109)
4CH	オーディオ形式 (76)
A / B 00:00:00.00 00:00:00.00	カード / タイムコード
A / B 000000/000000	静止画の表示枚数 / 全枚数
x0.0 x0000	スロー & ファストモーション記録 / 記録速度 (42)
59.94P、29.97P、 23.98P	フレームレート (41)
MP4	動画形式

アイコン／表示	説明
0000×0000	解像度 (41)
000Mbps	ビットレート (41)
000000	再生クリップ番号
000-0000	動画 / 静止画のファイル番号 (122)

画面の下側

アイコン／表示	説明
◀◀、▶▶▶、▶▶▶▶、 ▶▶、■、◀◀◀、 ◀◀、▶▶▶▶、▶▶	操作ボタン (動画) (99)
🔊 / 🔊	ヘッドホン音量 (83) / スピーカー音量 (101)
🔍、🏠	操作ボタン (静止画) (100)
AM / PM 00:00 yyyy.mm.dd F00 1/00000	データコード (121)

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター（☎ 157）またはご購入になった販売店にご相談ください。

電源

こんなときは	どうするの？	📖
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	18
バッテリーが充電できない。	● 電源を切ってから充電する。 ● バッテリーの温度が使用温度（約0℃～40℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0℃～40℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● 本機と通信できないバッテリー（キヤノン推奨以外）が取り付けられているため、充電できない。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	— 18 — 157
コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）から音がする。	● コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	—
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	—

撮影中

こんなときは	どうするの？	📖
START/STOPボタンを押しても録画しない。	● 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。書き込み終了まで待つ。 ● ハンドルユニット（別売）のSTART/STOPボタンのロックレバーが🔒側になっている。ロックを解除する。	— 39
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたクリップの始めと終わりの時点が異なる。	● START/STOPボタンを押してから、録画の開始・終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	● 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● ビューファインダーの視度が合っていない。視度調整レバーで画面がはっきり見えるように調整する。 ● レンズやハイスピードAFセンサーが汚れているのでお手入れする。	61 24 145
グリップズームレバーが利かない。	● ❶カメラ設定メニュー ▶ 「グリップズーム操作」が「無効」になっている。「有効」にする。	118

こんなときは	どうするの？	📖
ハンドルズームレバーが利かない。	● ❶カメラ設定メニュー ▶ 「ハンドルズーム操作」が「無効」になっている。「有効」にする。	118
フォーカス／ズームリングが利かない。	● ❶カメラ設定メニュー ▶ 「フォーカス／ズームリング操作」が「無効」になっている。「有効」にする。	118
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の「●撮影／■撮影停止／▶再生」の切り換えに時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップと静止画をバックアップしてカードを初期化する。	33 112
動画や静止画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。クリップと静止画をバックアップしてカードを初期化する。	33 112
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使い続けると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	157

■ 再生中

こんなときは	どうするの？	📖
クリップや静止画の消去ができない。	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● 他機でプロテクトされた静止画は、本機では消去できない ● 他機で記録・編集したクリップは消去できないことがある。	—
クリップの消去に時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップと静止画をバックアップしてカードを初期化する。	33 112
クリップまたは静止画をコピーできない。	● 他機で記録したクリップや静止画はコピーできないことがある。	—
クリップまたは静止画を選択できない。	● クリップや静止画は、100個を超えて選択できない。「選択」ではなく、「全クリップ」または「すべての静止画」を使う。	—

表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面で🔴が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	18
画面に🔴が赤く点灯する。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
タリーランプが点灯しない。	● 📶システム設定メニュー ▶ 「タリーランプ」を「入」にする。	127
タリーランプが早く点滅する。 1秒間に4回の点滅	 (1秒に4回の点滅) ● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。 ● カードに空き容量がない、別のカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す	18 102
📶または📶が赤く点灯する。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す。	32 102
📶または📶が赤く点灯する。	● カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。	33
撮影を中断してもACCESSランプが点灯している。	● 撮影したクリップをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。	—
充電中にCHGランプが速く点滅する。 (0.5秒に1回の点滅)	● バッテリーの温度が使用温度 (約0℃～40℃) の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0℃～40℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)、バッテリーに異常があるため、充電が中止される。カメラ修理受付センターにご相談ください。	18 157
画面で📶が点滅し続ける。	● メディアモードでGPSレシーバー GP-E2 (別売) を接続した。GP-E2を取り外し、カメラモードで接続する	—

■ 画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
画面が暗い。	● 「液晶明るさ調整」または「液晶バックライト」で明るさを調整する。	125
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	18
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。	18
画面にノイズが出る。	● 磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所から離れて本機を使用する。	—
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。*📷カメラ設定メニュー ➤ 「フリッカー低減」を「 A オート」にするか、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがある。電源周波数が50Hzのときは1/100秒を、60Hzのときは1/60秒を選んでください。	118
ビューファインダーの画像がはっきりしない。	● 画像がはっきり見えるように視度調整レバーを動かす。	24
ビューファインダーに映像が出ない。	● 液晶モニターを閉じて、ビューファインダーを引き出す。	24
音声記録されない	● INPUT端子入力切り換えスイッチが正しく切り換えられてない。	76
	● INPUT端子にファンタム電源が必要な外部マイクを取り付けたときに、INPUT端子感度切り換えスイッチを「MIC+48V」に切り換えていない。	
	● MIC端子に接続している外部マイクの電源が入っていないか、電池が切れている。または、プラグインパワー対応マイクを取り付けていて、 🔊 オーディオ設定メニュー ➤ 「MIC/パワー」が「切」になっている。	79
	● 音声レベルが正しく設定されていない。	77 80
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。マイクアッテネーターを使うか、録音レベルを手動で調整する。	77 80
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「0」（OFF）になっているので、音量を調整する。 ● カメラモードのときと、ヘッドホンを接続しているときは、スピーカーから音声を出力しない。	101

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
カードが入らない。	● 正しい向きでカードを入れる。	32
カードに記録できない。	● 対応しているカードを確認する。 ● はじめて使用するとき、カードを初期化する。 ● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す。	31 33 32 102
リモートコントローラー RC-V100(別売)または市販のリモコンが動作しない。	● 🖱️システム設定メニュー ▶ 「REMOTE端子」を、RC-V100のときは「RC-V100(REMOTE A)」に、市販のリモコンのときは「スタンダード」に設定する。 ● 本機の電源を切ってリモコンを再接続したあと、本機の電源を入れる。	—

■ 他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプター (ACアダプター) を離す。	—
再生しても、外部モニターに映像が出ない。	● 本機と外部モニターとの接続が正しく行われていない。ケーブルの接続を確認する。 ● 外部モニターの設定を、接続した端子に切り換える	—
ハイスピードHDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。	● ハイスピードHDMIケーブル (別売) を抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。 ● 接続したモニターが、設定した出力信号形式に対応していない。対応する出力信号形式に設定。	— 106
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 静止画インデックス画面を表示中に、USB接続を行う。 ● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。	—
クリップや静止画をパソコンに取り込めない。	● カードに記録されているクリップ／静止画が多すぎる。総数が以下になるように消して、カードリーダーなどを使って取り込む (Windows : 2500未満。macOS : 1000未満)。	—

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。なお、メッセージの冒頭に、「**A**」、「**B**」などが表示されることがあります。これは、エラーが発生した記録メディアを表わします。

メッセージ	どうするの？	📖
カードカバーが碍いて います	● カードを入れたらカードカバーを閉じる。	32
カードがありません	● カードを本機に入れる。	32
カードがいっぱいです	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す。	32 102
カードにアクセス中です カードを取り出さない でください	● カードにアクセスしているときに、カードカバーを開けた。またはカードカバーを開けたときにアクセスし始めた。メッセージが消えるまでカードを絶対に抜かない。	—
カードの誤消去防止ツ マミを確認してくだ さい	● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	32
カードへの書き込みが間 に合わないため記録を中 止しました	● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中止した。解像度が3840×2160のときや、スロー&ファストモーション記録のときは、UHSスピードクラス3のカードを、それ以外のときは、SDスピードクラス6、10、UHSスピードクラス1、3のカードを使用する。 ● 撮影や編集を繰り返しているカードでは、データの書き込み速度が低下して、記録が停止することがある。本機でカードを初期化してから使用する。	31 33
カードを確認してくだ さい	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。 ● 「カードを確認してください」が4秒後に消えて A または B が赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。 A または B が緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、クリップと静止画をバックアップして初期化する。	32 31 32 33 112
画像がありません	● 静止画を撮影する。	38
記録を中止しました	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。	32
クリップがありません	● 動画を撮影していないならば、撮影する。	38
このカードでは動画記 録できないことがあり ます	● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。	32
このカードは記録でき ません	● 512 MB以下のカードは動画の記録／再生ができない。推奨のカードを入れる。	31
再生できません		

メッセージ	どうするの？	
再生できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	33
消去ができないクリップがありました	● 他機でプロテクトや編集したクリップは消去できない。	—
処理中です 電源をはずさないでください	● カードに書き込んでいる。書き込みが終わるまで、そのまま待つ。	—
静止画とMP4動画の総数が多すぎます USBケーブルを抜いてください	● カードに記録されているクリップ／静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、カードにコピーしたあと、カードリーダーなどを使用してクリップ／静止画をパソコンに移動する。または総数が以下になるように消す (Windows: 2500枚未満。macOS: 1000枚未満)。その後、USBケーブルを接続し直す。 ● OSの設定によってはパソコンのモニターにメッセージが出ることもある。メッセージを閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	—
動画／静止画データのバックアップは定期的に行ってください	● 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。	112
トリミングできません	● 他機で記録したり、コピーしたりしたクリップはトリミングできない。	—
バッテリー通信エラー ご使用のバッテリーにCanonロゴはありますか	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	157
バッテリーパックを充電してください	● バッテリーが消耗している。バッテリーを充電する。	18
非対応バッテリーです 電源を切ります	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。4秒後に自動的に電源が切れる。	—
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号やファイル番号が最大になった。クリップと静止画をバックアップしてから、  記録設定メニュー ▶ 「MP4クリップ／静止画番号方式」を「オートリセット」に設定して、カードを初期化する。	33 112 122
本機で初期化してお使いください	● カードを本機で初期化する。	33

安全上での注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

警告 死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。

破損したときは、内部に触れない。

液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。

雷が鳴り出したら、コンセントにつながれた製品に触れない。ぬらさない。

感電の原因となります。

分解や改造をしない。

強い衝撃や振動を与えない。

バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。

- 指定外の製品で使わない。
- 熱したり、火中投入しない。
- 指定外の製品で充電しない。
- 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 液漏れしたものは使わない。

液漏れて身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐ医師に相談してください。

- 廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。
- 感電、破裂、火災の原因となります。

指定外の電源は使わない。

バッテリーチャージャーやACアダプター（コンパクトパワーアダプター）を使うときは、次のことに注意する。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。
- 使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。
- コードを引っ張って電源プラグを抜かない。
- 電源に長時間つないだままにしない。

長時間、身体と同じ部位に触れさせたまま使わない。

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

乳幼児の手の届くところに置かない。



禁止



強制

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。



注意 傷害、物的損害を負う恐れがある内容です。



禁止

製品を高温や低温となる場所に放置しない。
製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。



強制

三脚を使うときは、十分に強度があるものを使う。
長い時間、ファインダーや画面を見続けない
乗り物酔いのような症状をおこすことがあります。すぐに製品の使用を中止して休息をとってください。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

■ ビデオカメラ本体

データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンやDVD、ビデオ機器などにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。

強い光源にレンズやビューファインダーを向けない

ビデオカメラやビューファインダーを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときやショルダーストラップを使って持ち運ぶときは、本体またはファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズバリアを閉じてください。

液晶モニターを...

つかんでもちあげない

→ 画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない

→ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ボールペンなど、とがったものでタッチしない

→ タッチパネルが破損することがあります。

強くタッチしない

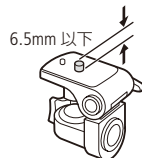
→ タッチパネルの表示がムラになったり、画面の接合部が破損することがあります。

保護シートなどを貼らない

→ タッチパネルは静電容量方式のため、正しく動作しなくなることがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが6.5 mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。



■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

正しく残量表示されない場合は

バッテリーをフル充電してください。ただし、バッテリーの使用回数が多いとき、フル充電後に放置したとき、高温下で長時間使ったときは、正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

- インテリジェントシステム（□ 147）に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャー CG-800D（別売）に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

海外で使用するときは

海外でも付属のACアダプター（AC100～240V 50/60Hzまでの電源に対応）を使用できます。お使いになる国のコンセント形状にあった変換プラグを使用してください。

- ACアダプターを変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

■ カード

データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

ていねいに扱う

落とす、めらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

- ① 電源を切る
- ② 本機にコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

■ その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

カードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度カードの初期化（□ 33）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態ですと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、カードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

■ ビデオカメラ本体を清掃する（日常のお手入れ）

大切なビデオカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

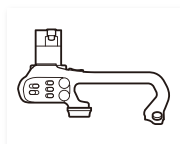
レンズは常にきれいに保つようにしてください。レンズにホコリや汚れがついたときは、最初にブローアーで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

液晶モニターについて

- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

アクセサリ紹介

本機の付属品または別売品について紹介しています。



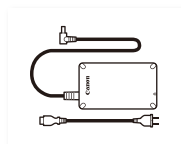
ハンドユニット
HDU-1



バッテリー
BP-820*1 / BP-828



バッテリー
チャージャー *2
CG-800D



コンパクトパワー
アダプター
(ACアダプター) CA-570*1



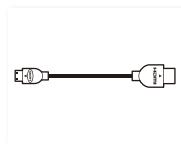
ワイドアタッチメント
WA-H58*3



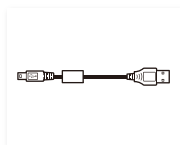
テレコンバーター
TL-H58*3, *4



PROTECTフィルター
58mm、
ND4Lフィルター 58mm、
ND8L フィルター 58mm



ハイスピード
HDMIケーブル
HTC-100



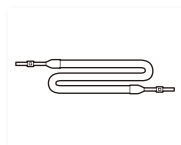
USBケーブル
IFC-400PCU



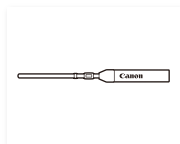
リモートコントローラー
RC-V100



GPSレシーバー
GP-E2



ショルダーストラップ
SS-600/SS-650



リストストラップ
WS-20



ソフトキャリングケース
SC-2000

*1 本機の付属品です。

*2 改正電気用品安全法の要求により、これ以外のバッテリーチャージャーは本機で使用できません。

*3 本機に付属のレンズフードと同時に使用できません。

*4 本機に取り付けると、ピントの合う距離はズームのT端で約1.3 mとなります。

MEMO

インテリジェントリチウムイオンバッテリーについて

バッテリーパックBP-820/BP-828(別売)は、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラがバッテリーチャージャー CG-800D(別売)でのみ使用／充電できます。



このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

主な仕様

XA40

システム

記録方式	動画： MP4準拠 映像： MPEG-4 AVC/H.264 音声： MPEG-2 LPCM (4ch)、MPEG-2 AAC-LC (2ch) 静止画： DCF準拠、Exif Ver2.3準拠 画像タイプ： JPEG
記録信号形式	解像度／ビットレート／フレームレート 3840×2160： 150 Mbps / 29.97P、23.98P 1920×1080： 35 Mbps、17 Mbps / 59.94P、29.97P、23.98P 1280×720： 8 Mbps / 59.94P カラーサンプリング： YCbCr 4:2:0 8 bit
記録メディア	SD／SDHC／SDXCメモリーカード (2スロット)
撮像素子	1/2.3型、CMOS 総画素数 約2114万画素 有効画素 約829万画素
液晶モニター	3.0型TFTワイドカラー液晶 (約46万ドット、視野率100%)、 静電容量式タッチパネル
ビューファインダー	0.24型ワイドカラー液晶 (約156万ドット相当、視野率100%)
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク、Att：20dB
レンズ	f=3.67－73.4 mm F=1.8－2.8、光学20倍ズーム、8枚羽根円形絞り 35 mmフィルム換算時の焦点距離： 解像度が3840×2160のとき： 約30.6－612 mm (手ブレ補正が「ダイナミック」のとき) 約29.3－601 mm (手ブレ補正が「ダイナミック」以外のとき) 解像度が3840×2160以外のとき： 約32.0－640 mm (手ブレ補正が「ダイナミック」のとき) 約30.5－627 mm (手ブレ補正が「ダイナミック」以外のとき)
レンズ構成	10群12枚、非球面2面使用
焦点調整	TTL自動焦点 (TTL＋外部測距：ハイスピードAF、ミディアムスピードAF選択時)、マニュアル調整可
フィルター径	58 mm
最短撮影距離	ワイド端1 cm、ズーム全域60 cm
ホワイトバランス	オート、太陽光、電球、色温度、セット1 / セット2 (白取り込み)
最低被写体照度	約0.3ルクス (ローライト (撮影モード)、シャッタースピード1/2秒時) 約5.0ルクス (P (プログラムAE) モード、59.94P、シャッタースピード1/30秒、 オートスローシャッター ON時)
推奨被写体照度	100ルクス以上

システム

手ブレ補正機能	光学式＋電子式
静止画サイズ	3840×2160 (約3080 KB)、1920×1080 (約880 KB)、1280×720 (約420 KB) 括弧内は、1枚あたりのファイルサイズ (目安)

入・出力端子

HDMI OUT端子	HDMIミニコネクタ、出力のみ
USB端子	mini-B Receptacle、Hi-Speed USB (出力のみ)
MIC端子	Φ3.5mm ステレオミニジャック (不平衡、プラグインパワー対応)、 感度：－65 dBV (ボリュームオート、フルスケール－12 dB) / 1.5 kΩ 以上 Att：20dB 供給電圧：DC2.4 V (バイアス抵抗2.2 kΩ)
ハンドルユニットHDU-1 (別売)	INPUT端子：INPUT (3ピンジャック) (①シールド、②ホット、③コールド)、 2系統、平衡 感度 (MIC時)：－60 dBu (マニュアルボリュームセンター、 フルスケール－18 dB) / 600 Ω 感度 (LINE時)：+4 dBu (マニュアルボリュームセンター、 フルスケール－18 dB) / 10kΩ Att：20dB
ヘッドホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック －24 dBV (32Ω負荷、ボリューム最大) / 100 Ω
REMOTE端子	Φ2.5mm ステレオミニミニジャック (入力のみ)

電源その他

電源電圧	DC7.4 V (バッテリーパック)、DC8.4 V (DC IN)
消費電力	約4.2W 液晶モニターを使用し、150 Mbps、AF合焦、明るさ「通常」のとき
動作温度	約0℃～＋40℃
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約109×84×182 mm (本体のみ) 約115×84×231 mm (レンズフード装着時) 約131×180×231 mm (レンズフード、ハンドルユニットHDU-1 (別売) 装着時) いずれもグリップベルトを含まない
撮影時総質量	約870 g 約1120 g (ハンドルユニットHDU-1 (別売) 装着時) いずれも、レンズフード、BP-820、メモリーカード (1枚) を含む
本体質量	約730 g (グリップベルトを含む)

■ 付属品

コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) CA-570	
電源	AC 100 V－240 V、50 / 60 Hz
出力／消費電力	公称DC8.4 V、1.5 A/29 VA(100 V) ～ 39 VA(240 V)
使用温度	約0℃ ～ +40℃
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約52×29×90 mm
本体質量	約135 g

バッテリーバック BP-820	
使用電池	リチウムイオン (インテリジェントリチウムイオンバッテリー)
使用温度	約0℃ ～ +40℃
公称電圧	DC7.4 V
公称容量	1780 mAh
定格 (最小) 容量	13 Wh / 1700 mAh
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約30.7×39.4×40.2 mm
質量	約85g

■ 動画の記録可能時間の目安

1回の記録操作で、カードの空き容量がなくなるまで記録したときの記録時間の目安は、次のとおりです。

		容量				
MP4 オーディオ形式	ビットレート	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
AAC 16bit 2CH	150 Mbps	約5分	約10分	約25分	約55分	約110分
	35 Mbps	約25分	約55分	約115分	約240分	約485分
	17 Mbps	約55分	約120分	約245分	約495分	約995分
	8 Mbps	約120分	約255分	約520分	約1,055分	約2,120分
LPCM 16bit 4CH	150 Mbps	約5分	約10分	約25分	約55分	約110分
	35 Mbps	約25分	約50分	約110分	約220分	約445分
	17 Mbps	約45分	約100分	約205分	約420分	約845分

- 録画時間は撮影する被写体によって変化します。被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR (Variable BitRate)方式を採用しているためです。

■ バッテリーの充電時間の目安

充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。

バッテリーパック	充電時間	
	コンパクトパワーアダプター CA-570(付属)	バッテリーチャージャー CG-800D(別売)
BP-820	約3時間30分	約3時間10分
BP-828	約5時間	約4時間20分

■ バッテリーの使用時間の目安

付属のバッテリー BP-820と別売のBP-828をフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

解像度	ビットレート	使用時間	BP-820	BP-828
3840×2160	150 Mbps	連続撮影時間	2時間50分	4時間25分
		実撮影時間	1時間35分	2時間25分
		再生時間	4時間40分	6時間55分
1920×1080	35 Mbps	連続撮影時間	3時間20分	5時間5分
		実撮影時間	1時間50分	2時間45分
		再生時間	4時間50分	7時間15分
1280×720	8 Mbps	連続撮影時間	2時間55分	4時間30分
		実撮影時間	1時間40分	2時間30分
		再生時間	5時間	7時間40分

* 液晶モニターを使用した場合の目安です。

* 実撮影時間とは撮影、撮影停止、電源の入/切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。

* 画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。

* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

バッテリーは予定撮影時間の2～3倍分をご用意ください

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

索引

ア

アサインボタン	93
安全上のご注意	140
色の濃さ	54
インデックス画面	98
打上げ花火 (撮影モード)	44
液晶モニター	13, 23
エリア	27
オートスローシャッター	119
オートモード	38
おしらせ音	124
お手入れ	145
音声出力チャンネル	109
音声を記録する	73
音量	
: 再生時	101
: 撮影時	83

カ

カードを入れる	32
海外で使う	127, 143
解像度	41
外部マイク	75
外部モニター	106, 107
拡大表示	64
画質	54
カメラモード	26
カメラモード切り換えスイッチ	14, 26
画面の見かた	130
カラーバー	84
強制逆光補正	50
記録コマンド	39
記録先	33
記録時間	150
グリップズーム	55

グリップベルト	25
クリップを消す	102
ゲイン	45
結露	145
小絞りボケ	66
コピー	113
コントラスト	54
コンバージョンレンズ	118
コンパクトパワーアダプター	10, 18

サ

再生する	98
撮影する	38
撮影日付	98, 122
撮影モード	43
サマータイム	27
三脚	14
自動逆光補正	118
視度調整	24
絞り	45
シャープネス	54
シャッタースピード	45
充電	18
充電時間	151
充電式内蔵電池	144
修復	35
修理対応	157
出力信号形式	106
ジョイスティック	28
消去する	102
初期化する	33, 127
ショルダーストラップ	25
シリアル番号 (機番)	13
ズーム	55
ズームスピードレベル	56
ズームリング	11, 55

スキャンモード	106, 107
ストラップ	25
スノー (撮影モード)	44
スピーカー	101
スポーツ (撮影モード)	44
スポットライト (撮影モード)	44
スロー & ファストモーション記録	42
静止画番号	122
赤外撮影	87
赤外撮影色	87
設定データ	95
ゼブラパターン	50
ソフトズームコントロール	59

タ

ダイナミック (手ブレ補正)	69
タイムコード	70
タッチアサインボタン	93
タッチパネル	13, 28
タッチ露出	47
タリーランプ	15
データコード	121
デジタルズーム	118
デジタルテレコン	60
テストトーン	84
手ブレ補正	69
電源を入れる	26
同時記録	34
トラブルシューティング	133
取り扱い上のご注意	142
トリミング	104

ナ

内蔵スピーカー	101
内蔵マイク	14, 73

ハ

ハイスピードAF	65
ハイスピードズーム	57
ハイライトAE	47
バッテリーの残量	20
バッテリーの使用時間 (目安)	151
パワードIS	69
ハンドルズーム	57
ハンドルユニット (別売)	15, 21
ピーキング	64
ピーチ (撮影モード)	44
日付・時刻	27
ビューファインダー	24
ファイル番号	122
ファンタム電源	76
フェイスオンリー AF	67
フェイスキャッチ&追尾	67
フェライトコア	18
フォーカスアシスト	64
フォーカス/ズームリング	11, 55, 61
フォーカス (ピント合わせ)	61
フォーカスプリセット	62
フォルダー名	122
プラグインパワー	79
フリッカー低減	119
フレームレート	41
ブレ記録	85
ヘッドホン	83
ポートレート (撮影モード)	44
保存する	112
ホワイトバランス	52

マ

マーカー	125
マイクホルダー	75

マニュアルフォーカス	61
マニュアル露出	45
メッセージ	138
メニュー	28
メニュー一覧	118
メニューを設定する	28
メモリー残量	121

ヤ

夜景 (撮影モード)	44
ユーザービット	72
優先WB	93
優先WB登録	118
夕焼け (撮影モード)	44

ラ

リモートコントローラー (別売)	88
リレー記録	34
ルック	54
レックレビュー	40
レベルメーター	77, 80, 131
レンズキャップ	22
レンズバリア	38
レンズフード	22
ローライト (撮影モード)	44
録音レベル	77, 79
露出	45
露出補正	47

その他

4ch	76
4K	2, 41
4チャンネル	73
ACアダプター	18

AE	46
AEロック	48
AF (オートフォーカス)	65
AGCリミット	51
AUTO (オート) モード	26
Av (絞り優先AE)	43, 46
CAMERAモード	26
CUSTOMダイヤル&ボタン	92
DC IN端子	18
FUNCメニュー	28, 116
GPSレシーバー	89
HDMI OUT端子	106, 107
HDU-1 (別売)	15, 21
Infraredモード	87
INPUT端子	15, 73
MEDIAモード	26
MENU (メニュー) ボタン	28
MF (マニュアルフォーカス)	61
MICパワー	79
MIC (マイク) 端子	73
MP4 Join Tool	112
MP4クリップ番号	122
MP4形式	41
M (マニュアル) モード	26
Psf	106
P (プログラムAE)	43, 46
RC-V100 (別売)	88
SD / SDHC / SDXCメモリーカード	31
SDスピードクラス	31
Tv (シャッター優先AE)	43, 46
UHSスピードクラス	31
USB端子	89
Ω (ヘッドホン) 端子	83

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- macOSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA) の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

本機は、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

本機は、Exif 2.3(愛称「Exif Print」)に対応しています。ExifPrintは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。ExifPrint対応のプリンターで印刷することで、撮影時のカメラ情報を生かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

アクセサリは、キヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

修理対応について

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理対応期間は、製品製造打ち切り後7年間です。なお、弊社の判断により、修理対応として同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、見本となる撮影データを記録した記録メディアを添付するなど、修理箇所を明確にご指示の上、お送りください。

修理のお問い合わせ・お申し込み

- Webでのお申し込み：引取修理サービス
canon.jp/repair
- 電話でのお申し込み：050-555-99077

引取修理サービス



■本書の記載内容は2019年6月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。
最新の使用説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6



リチウムイオン電池の
リサイクルにご協力ください。